

令和 4年 10月 (第14.0版)

電子媒体届書作成仕様書
(CD/DVD仕様書)

CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)

(健康保険・厚生年金保険適用関係届書)

厚生労働省
日本年金機構

変更履歴表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁	変更 項番	変更内容（変更理由）	記 事
1.0	H15.04		—		初版発行	
2.0	H15.10	変更	はじめ に 目次 1, 6, 7, 9, 17, 18, 20, 22, 24, 32, 59, 82, 104 113, 138, 158, 164, 169, 173, 174, 177, 178, 179, 180, 183, 185, 187, 189, 197, 200, 204	1	電子申請に関する改善 <ul style="list-style-type: none"> ・FD提出に加えて電子申請による届書作成方法についての記載 ・電子申請の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・1申請1事業所のみ収録（社労士） ・1申請20,000件以内収録 ・1申請4.5MB以内収録 	
		追加	4-1	2		
		変更	77, 79, 83, 85, 89, 91	3	健康保険証のカード化に伴う項目名変更	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁 変更頁	変更 項番	変更内容（変更理由）	記 事
3.0	H16.04	変更	52,57, 58,60, 65,66, 67,72, 76,77, 80-1, 81,83, 87,88, 89, 92-1, 97,98, 102, 103, 105, 111, 112, 114, 120, 121, 122, 128, 131, 132, 136-1, 137, 139, 144, 145, 146, 151, 154	1	備考欄の追加に伴う変更	
		変更	35～3 8, 177～1 79, 198～2 09	2	社労士作成媒体に収録できる事業所数の変更	
		変更	はじめ に, 目次, 1～7, 9, 10, 173～1 80	3	光磁気ディスクの対応に伴う変更	
4.0	H18.05	変更	110, 119, 127, 135, 142, 149	1	支払基礎日数の見直しに伴う変更	

変更履歴表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁	変更 項番	変更内容（変更理由）	記 事
5.0	H20.10	変更	はじめ に, 103, 104	1	全国健康保険協会設立に伴う変更	
		変更	136-1, 144, 151	2	月額変更届データレコード設定内容について 記述修正	
6.0	H21.04	変更	57, 65, 72, 110, 119, 127, 136, 143, 150, 158, 164, 169	1	厚生労働大臣が社会保険・労働保険の現物給 与の価値を統一して定めることとしたことに 伴う変更	
6.1	H24.04	変更	4-2, 55, 57, 59, 59-1, 78, 82, 82-1, 84, 90, 100, 102, 104, 107, 113, 116, 124, 133, 138, 140, 147, 156, 160, 162, 167	1	6.0版の誤記に伴う修正	
6.2	H24.07	変更	111, 120, 128, 136-1, 144, 151	1	記載内容の変更	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)						
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容 (変更理由)	記 事
7.0	H25.10	変更	78, 79, 84, 85, 90, 91	1	喪失原因の追加に伴う変更	
		追加	はじめに, 目次, 2, 9	2	「国民年金第3号被保険者資格取得届」等の電子媒体届書への追加に伴う変更・新規追加 年金事務所提出用レコードのみ対象 ・健康保険扶養者(異動)届 ・国民年金第3号被保険者関係届(資格取得) ・国民年金第3号被保険者関係届(資格喪失) ・国民年金第3号被保険者関係届(死亡)	
		変更	172-1 ～ 172-63			
		変更	40, 44, 48, 53, 55, 57, 61, 63, 65, 68, 70, 72, 73, 80, 86, 92, 101, 108, 111, 111-1, 117, 120, 120-1, 125, 128, 128-1, 134, 136-1, 141, 144	3	記述内容の変更	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁	変更 項番	変更内容（変更理由）	記 事
7.0	H25.10	変更	148 151 157 163 168 199 203 207	3	記述内容の変更	
7.1	H27.1	変更	表紙	1	7.0版から7.1版の記載変更	
		追加	2-2 5-1 174-2	2	CD/DVDの媒体追加に伴う変更・新規登録	
		変更	はじめ に 1 2-1 4 5 6 7 10 17 174 174-1 177 ～ 180			
		追加	目次 172-64 ～ 172-72	3	国民年金第3号被保険者被扶養配偶者非該当届の追加に伴う変更・新規追加 ・年金事務所提出用レコードのみ対象	
		変更	2 8 9 172-7 172-61 172-62			
変更	107 109 110 116 118 119 124 126 127	4	届書作成プログラムの改善に伴う対応 ・算定基礎届の「改定予定月」を省略項目へ変更 ・算定基礎届の「改定予定月」を省略項目へ変更したことに伴い「支払基礎日数」・「通貨によるものの額」・「現物によるものの額」の設定内容を変更			

変更履歴表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)						
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容 (変更理由)	記事
8.0	H28.10	変更	表紙	1	7.1版から8.0版の記載変更	
		変更	52 58 59 60 65-1 66 67 73 74 75 76	2	短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応 (資格取得届) P52: 図4.5.1-1 資格取得届データレコード (年金事務所提出) の項目構成 P57-1: 表4.5.1-1 資格取得届データレコード (年金事務所提出) の項目説明項番37「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P58: 図4.5.1-3 資格取得届データレコード (年金事務所提出) の作成例 P59: 図4.5.1-2 健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届 (平成28年10月現在) P60: 図4.5.2-1 資格取得届データレコード (健康保険組合提出) の項目構成追加	
		追加	57-1		P65-1: 表4.5.2-1 資格取得届データレコード (健康保険組合提出) の項目説明項番37「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P66: 図4.5.2-2 資格取得届データレコード (健康保険組合提出) の作成例 P67: 図4.5.3-1 資格取得届データレコード (厚生年金基金提出) の項目構成 P73: 表4.5.3-1 資格取得届データレコード (厚生年金基金提出) の項目説明項番37「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P76: 図4.5.3-2 資格取得届データレコード (厚生年金基金提出) の作成例	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）							
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記 事	
9.0	H29.1	変更	表紙	1	8.0版から9.0版の記載変更		
		変更			2	短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応（算定基礎届・月額変更届） P110:表4.8.1-1 算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 項番34 設定内容を変更 P111:表4.8.1-1 算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 項番36「短時間労働者(特定適用事業所のみ):「2」」を追加 P112:図4.8.1-3 算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の作成例 P113:健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届(平成29年1月現在) P119:表4.8.2-1 算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 項番34 設定内容を変更 P120:表4.8.2-1 算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 項番36「短時間労働者(特定適用事業所のみ):「2」」を追加 P121:図4.8.2-2 算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の作成例 P127:表4.8.3-1 算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 項番34 設定内容を変更 P128:表4.8.3-1 算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 項番36「短時間労働者(特定適用事業所のみ):「2」」を追加	
		追加			144-1	P131:図4.8.3-2 算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の作成例 P135:表4.9.1-1 月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 項番21、22、23 設定内容を変更 P136-1:表4.9.1-1 月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 項番44 設定内容を変更 P137:図4.9.1-3 月額変更届データレコード(年金事務所提出)の作成例 P142:表4.9.2-1 月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 項番21、22、23 設定内容を変更 P144:表4.9.2-1 月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 項番44 設定内容を変更 P145:図4.9.2-2 月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の作成例 P149:表4.9.3-1 月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 項番21、22、23 設定内容を変更 P151:表4.9.3-1 月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 項番44 設定内容を変更 P154:図4.9.3-2 月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の作成例	

変更履歴表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)						
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容 (変更理由)	記事
9.0	H29.1	変更	65-1 66	3	<p>個人番号利用に伴う健保固有項目設定内容変更 (資格取得届)</p> <p>P65-1:表4.5.2-1 資格取得届データレコード (健康保険組合提出) の項目説明項番40 設定内容を変更</p> <p>P66: 図4.5.2-2 資格取得届データレコード (健康保険組合提出) の作成例</p>	
9.0	H29.5	追加	111 111-1 120 120-1 128 128-1	1	<p>短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応 (算定基礎届)</p> <p>P111、120、128:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明項番35「また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合」を追加</p> <p>P111、120、128:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明項番36「算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は以下の区分を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の被保険者⇔ パート扱いする者:「1」 ・一般の被保険者⇔ 短時間労働者:「0」 ・パート扱いする者⇔ 短時間労働者:「1」 ・一般の被保険者⇔ パート扱いする者⇔ 短時間労働者:「1」」を追加 <p>P111-1、120-1、128-1:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明</p> <p>項番45「算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力してください。</p> <p>パート扱いする者 (短時間就労者) 及び短時間労働者について入力してください。</p> <p>《入力例》</p> <p>4月はパート扱いする者、5、6月は短時間労働者の場合:パート4月短時間労働者5、6月」を追加</p>	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)							
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容 (変更理由)	記 事	
10.0	H30.3	変更	1~209	1	頁採番ルールの変更 なお、10.0版に係る変更履歴については、10.0の頁で記載することを原則とするが、新規登録部分は10.0版の頁 (末尾に※のあるもの) で記載する。		
		変更	表紙	2	9.0版から 10.0版の記載変更		
		削除	2-1, 3-1, 4-1, 5	3		FD/MOの媒体削除に伴う変更・削除	
		変更	はじめに, 目次, 1, 2, 2-2, 3, 4, 5-1, 6~ 10, 16~ 32, 178~ 197				
		削除	52~ 172-72	4		番号制度の創設及び紙媒体届書の統合・様式変更にあわせた、電子媒体に収録して提出できる届書の全面的な整理に伴う、削除・追加	
		追加	4.5-1 ~4.11 -10※				
		変更		5		番号制度の創設及び紙媒体届書の統合・様式変更に伴う変更	
追加	H30.10	追加	4.8-7 ~4.8-8, 4.8-17~ 4.8-18, 4.8-27 ~ 4.8-28	1	標準報酬月額の時改定における新たな保険料算定の追加対応		

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁 変更頁	変更 項番	変更内容 (変更理由)	記 事
11.0	H31.4	変更	表紙	1	10.0版から 11.0版の記載変更	
		変更	4-5-3, 4-5-5, 4-5-1 2, 4-5- 14, 4-5- -20, 4- 5-22, 4- -5-25, 4-6-3, 4-6-4, 4-6-5, 4-6-1 0, 4-6- 11, 4-6- -17, 4- 6-18, 4- -6-19, 4-7-4, 4-7-1 5, 4-7- 16, 4-7- -26, 4- 7-27, 4- -8-4, 4- -8-5, 4- -8-14, 4-8-1 5, 4-8- 24, 4-8- -25, 4- 9-4, 4- 9-12, 4- -9-19, 4-10- 3, 4-10- -4, 4-1 0-6, 4- 10-7, 4- -10-1 0, 4-10- -11, 4- 10-12, 4-10-1 3, 4-10- -14, 4- 10-16, 4-11- 2, 4-11- -3, 4-1 1-5, 4- 11-6, 4- -11-9, 4-11-1 0, 4-11- -11	2	新元号対応に伴う変更	
		変更	4.8-8 , 4.8- 18, 4.8 -28	3	標準報酬月額 of 随時改定における新たな保険料 算定の追加対応	

変 更 履 歴 表

電子媒体届書作成仕様書（CD/DVD仕様書） CSV形式届書作成仕様書（電子申請）						
版数	変更年月日	変更 区分	変更頁 変更頁	変更 項番	変更内容（変更理由）	記 事
11.0	H31.4	変更	4.5-4	4	項目名及び項目設定内容変更	
11.1	R1.8	変更	4.6-5 4.6-12 4.6-19	1	社会保障協定発効に伴う設定内容変更	
			5.4-22 5.4-26 5.4-30	2	記述内容の変更	
11.2	R2.4	変更	4.10-9, 4.10-12, 4.10-16 4.11-8, 4.11-11	1	被扶養者における国内居住要件の追加対応	
		変更	1.3-1	2	記述内容の変更	
12.0	R2.12	変更	4.10-1 4.10-2 4.10-9 4.10-12 4.10-13 4.10-14 4.10-16 4.10-17 4.10-18 4.10-21 4.10-22 4.10-23 4.10-24 4.10-26 4.10-27 4.11-12 4.11-13 4.11-14 4.11-15	1	被扶養者における国内居住要件の追加対応	
			4.6-4 4.6-7 4.6-11 4.6-18	2	社会保障協定による喪失に係る喪失原因の追加対応	

変更履歴表

電子媒体届書作成仕様書 (CD/DVD仕様書) CSV形式届書作成仕様書 (電子申請)							
版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容 (変更理由)	記事	
13.0	R4.3	変更	3.3-3 3.3-4	1	CSVファイルの容量等の上限拡大に伴う変更		
			4.6-4 4.6-11 4.6-18	2	資格喪失届の喪失原因欄の記述変更		
14.0	R4.10	変更	4.10-1 4.10-2 4.10-24 4.10-26 4.11-1 4.11-14	1	届出意思確認済項目の追加に伴う変更		
			追加	4.12 4.13	2	「産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届」、 「育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届」 の新規追加	
			変更	はじめに 目次 1.2-2 3.3-2 3.3-3 3.3-4 5.3-2	3	「産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届」、 「育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届」 の追加に伴う記述内容の変更	

はじめに

本書は、日本年金機構事務センター（年金事務所）（以下「年金事務所」という。）、健康保険組合、厚生年金基金に「紙」で提出している以下の届出内容を媒体に収録する方法を規定するものである。

本書では以降、コンパクトディスクをCD、デジタルバーサタイルディスクをDVDと記述する。

本書で規定する媒体は、以下の3つの媒体である。

- (1) 電子媒体届書CD
- (2) 電子媒体届書DVD
- (3) CSV形式届書ファイル（電子申請用ファイル）

以下の3種類の提出先について規定する。

- (1) 年金事務所提出
- (2) 健康保険組合提出
- (3) 厚生年金基金提出

提出可能な届出内容については以下の通りである。

(1) 年金事務所提出

下記の届出内容が電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルに混在して収録することが可能である。

- ・健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／厚生年金保険70歳以上被用者該当届
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届／厚生年金保険70歳以上被用者不該当届
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬月額算定基礎届／厚生年金保険70歳以上被用者算定基礎届
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬月額変更届／厚生年金保険70歳以上被用者月額変更届
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届／厚生年金保険70歳以上被用者賞与支払届
- ・健康保険被扶養者（異動）届／国民年金第3号被保険者関係届 ※1
- ・国民年金第3号被保険者関係届 ※2
- ・健康保険・厚生年金保険産前産後休業取得者申出書／変更（終了）届
- ・健康保険・厚生年金保険育児休業等取得者申出書（新規・延長）／終了届

(※1) 全国健康保険協会（協会けんぽ）管掌健康保険の届出が対象

(※2) 健康保険組合に加入の事業所が対象

(2) 健康保険組合提出

以下の5種類の届出内容が電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルに収録可能である。

- ・健康保険被保険者資格取得届
- ・健康保険被保険者資格喪失届
- ・健康保険被保険者標準報酬月額算定基礎届
- ・健康保険被保険者標準報酬月額変更届
- ・健康保険被保険者賞与支払届

(3) 厚生年金基金提出

以下の5種類の届出内容が電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルに収録可能である。

- ・厚生年金基金加入員資格取得届
- ・厚生年金基金加入員資格喪失届
- ・厚生年金基金加入員報酬標準給与月額算定基礎届
- ・厚生年金基金加入員報酬標準給与月額変更届
- ・厚生年金基金加入員賞与標準給与支払届

また、複数事業所を兼務している社会保険労務士が届出内容を作成する場合、同じ管轄内の複数事業所分の届出内容を1枚の提出先で利用可能な媒体（CDまたはDVD）に混在して収録することが可能である。

厚生労働省においては、「申請・届出等手続の電子化」サービスが利用可能となっており、現状CDまたはDVDに収録していたファイルを電子添付書類としてインターネットから年金事務所に申請することで届出を行うことが可能である。

事業所が1事業所分の届出内容を作成する場合は、1章から4章の記載内容に従い、社会保険労務士が複数事業所分の届出内容を作成する場合は、1章から4章に加えて5章の記載内容に従うこととする。

本書では、電子媒体届書CDまたは電子媒体届書DVDによる届出のことを「CD/DVD提出」、CSV形式届書ファイルによる届出のことを「電子申請」と呼ぶこととする。

目次

第1章 提出形態

- 1. 1 提出する媒体について 1. 1-1
- 1. 2 ラベルの記載内容 1. 2-1
 - 1. 2. 1 年金事務所提出 1. 2-2
 - 1. 2. 2 健康保険組合提出 1. 2-4
 - 1. 2. 3 厚生年金基金提出 1. 2-6
- 1. 3 電子申請について 1. 3-1

第2章 ハード仕様

- 2. 1 CD/DVDのハード規定 2. 1-1

第3章 ソフト仕様

- 3. 1 ファイル名 3. 1-1
 - 3. 1. 1 年金事務所提出 3. 1-1
 - 3. 1. 2 健康保険組合提出 3. 1-1
 - 3. 1. 3 厚生年金基金提出 3. 1-2
- 3. 2 CD/DVD提出時のファイル
格納方法及び電子申請時の申請単位 3. 2-1
- 3. 3 ファイル形式 3. 3-1
- 3. 4 コード規定 3. 4-1

第4章 項目構成・項目説明・作成例

4. 1	媒体管理レコード	4. 1-1
4. 1. 1	媒体管理レコード(年金事務所提出)	4. 1-1
4. 1. 2	媒体管理レコード(健康保険組合提出)	4. 1-4
4. 1. 3	媒体管理レコード(厚生年金基金提出)	4. 1-8
4. 2	事業所識別符号	4. 2-1
4. 3	事業所管理レコード	4. 3-1
4. 3. 1	事業所数情報	4. 3-2
4. 3. 2	事業所情報	4. 3-5
4. 3. 2. 1	事業所情報(年金事務所提出)	4. 3-5
4. 3. 2. 2	事業所情報(健康保険組合提出)	4. 3-9
4. 3. 2. 3	事業所情報(厚生年金基金提出)	4. 3-13
4. 4	データ識別符号	4. 4-1
4. 5	資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード	4. 5-1
4. 5. 1	資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード (年金事務所提出)	4. 5-1
4. 5. 2	資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード (健康保険組合提出)	4. 5-9
4. 5. 3	資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード (厚生年金基金提出)	4. 5-18
4. 6	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード	4. 6-1
4. 6. 1	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード (年金事務所提出)	4. 6-1
4. 6. 2	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード (健康保険組合提出)	4. 6-7
4. 6. 3	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード (厚生年金基金提出)	4. 6-13
4. 7	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード	4. 7-1
4. 7. 1	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード (年金事務所提出)	4. 7-1
4. 7. 2	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード (健康保険組合提出)	4.
4. 7. 3	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード (厚生年金基金提出)	4.
4. 8	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード	4. 8-1
4. 8. 1	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード (年金事務所提出)	4. 8-1
4. 8. 2	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード (健康保険組合提出)	4. 8-11
4. 8. 3	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード (厚生年金基金提出)	4. 8-20
4. 9	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード	4. 9-1
4. 9. 1	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード (年金事務所提出)	4. 9-1
4. 9. 2	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード (健康保険組合提出)	4. 9-7
4. 9. 3	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード (厚生年金基金提出)	4. 9-12
4. 10	被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届 データレコード	4. 10-1
4. 10. 1	被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届 データレコード(年金事務所提出)	4. 10-1
4. 11	3号関係届データレコード	4. 11-1
4. 11. 1	3号関係届データレコード(年金事務所提出)	4. 11-1
4. 12	産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届データレコード	4. 12-1
4. 12. 1	産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届データレコード (年金事務所提出)	4. 12-1

- 4. 13 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコード ・ 4. 13-1
- 4. 13. 1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届
データレコード(年金事務所提出) ・ ・ ・ ・ ・ 4. 13-1

第5章 社会保険労務士がファイルを作成する場合 ・ ・ ・ ・ ・ 5-1

- 5. 1 提出形態 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 1-1
- 5. 1. 1 年金事務所提出 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 1-1
- 5. 1. 2 健康保険組合提出 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 1-3
- 5. 1. 3 厚生年金基金提出 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 1-5
- 5. 2 ハード仕様 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 2-1
- 5. 3 ソフト仕様 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 3-1
- 5. 4 項目構成・項目説明・作成例 ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-1
- 5. 4. 1 媒体管理レコード ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-2
- 5. 4. 1. 1 媒体管理レコード(年金事務所提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-2
- 5. 4. 1. 2 媒体管理レコード(健康保険組合提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-5
- 5. 4. 1. 3 媒体管理レコード(厚生年金基金提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-9
- 5. 4. 2 事業所管理レコード ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-20
- 5. 4. 2. 1 事業所情報(年金事務所提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-20
- 5. 4. 2. 2 事業所情報(健康保険組合提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-24
- 5. 4. 2. 3 事業所情報(厚生年金基金提出) ・ ・ ・ ・ ・ 5. 4-28

- 参考資料1 J I Sコード→J I Sコードシフト方法
- 参考資料2 使用可能文字一覧(2バイト文字)
- 参考資料3 都道府県コード一覧

第1章 提出形態

CD/DVD提出を行う場合は、「1. 1 提出する媒体について」「1. 2 ラベルの記載内容」に従い、電子申請を行う場合は、「1. 3 電子申請について」に従うこととする。

1. 1 提出する媒体について

作成した媒体（CD/DVD）をコピーし、コピー元の媒体を（正）として各提出先に提出する。コピーした媒体は（副）として事業所にて保管する。

※利用可能な媒体（CD/DVD）は、提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）に確認すること。

1. 2 ラベルの記載内容

媒体（CD/DVD）を年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金に提出する際は、収録されている内容を明確にするため、収録内容をラベルに記載し、ケースに貼付する。

またディスク本体にもラベルの記載内容と同等のものを記載すること。

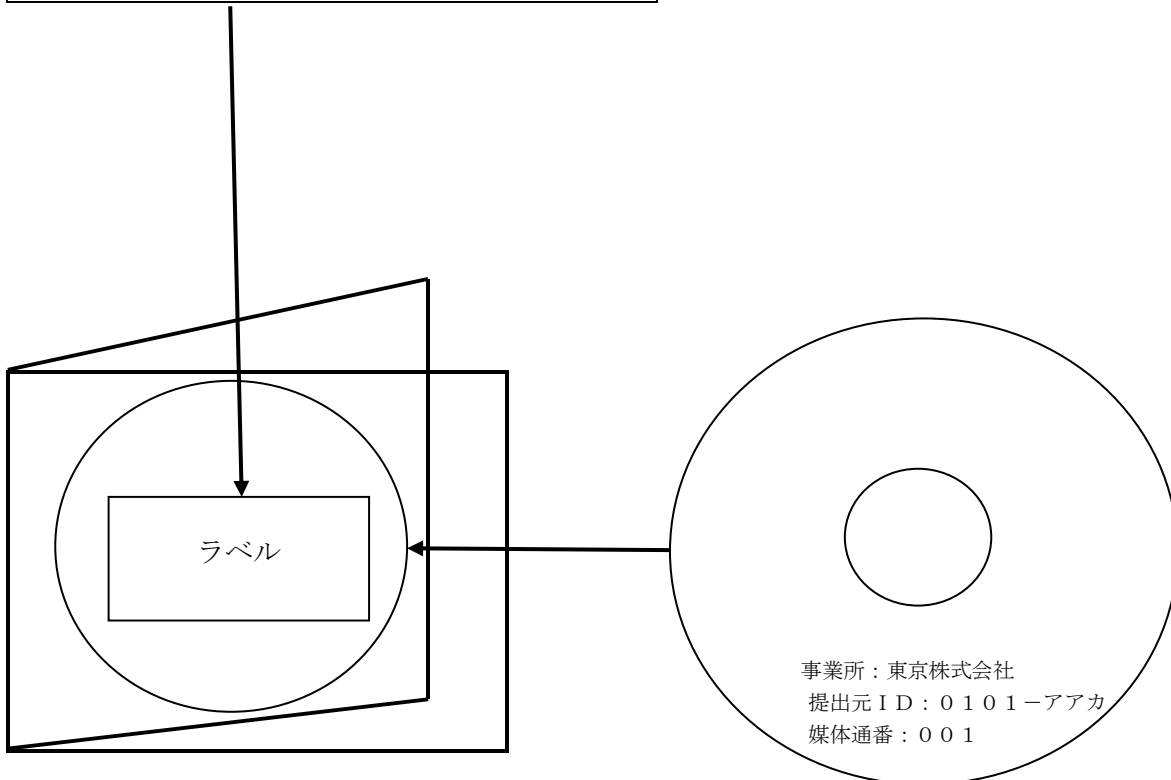
1. 2. 1 年金事務所提出

- ・ラベルの各項目の記載内容は、表1. 2. 1-1のとおりである。
- ・CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図1. 2. 1-1のとおりである

表1. 2. 1-1 ラベル（年金事務所提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記 載 内 容
1	タイトル		健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）と記載する
2	年金事務所		媒体の提出先である年金事務所名称を記載する
3	事業所 健保組合 国保組合		媒体の提出元である事業所名称を記載する ※健康保険組合、国民健康保険組合から提出する場合、「健保組合名称」、 「国保組合名称」を記載する
4	識 別 情 報	提出元ID	媒体を作成する際に設定した提出元IDを記載する (提出元IDの設定内容は表4. 1. 1-1 項番1、2、3 のとおりである)
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する (媒体通番の設定内容は表4. 1. 1-1 項番4 のとおりである)
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード ・3号関係届データレコード ・産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・育児休業等取得者申出書(新規・延長) /終了届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）		
年金事務所：新宿		
事業所：東京株式会社		
識別情報	提出元ID	媒体通番
	0101-アアカ	001
届書総件数	980件	
作成年月日：令和1年5月1日		



CD/DVDの表面には①事業所、②提出元ID、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図1. 2. 1-1 CD/DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例

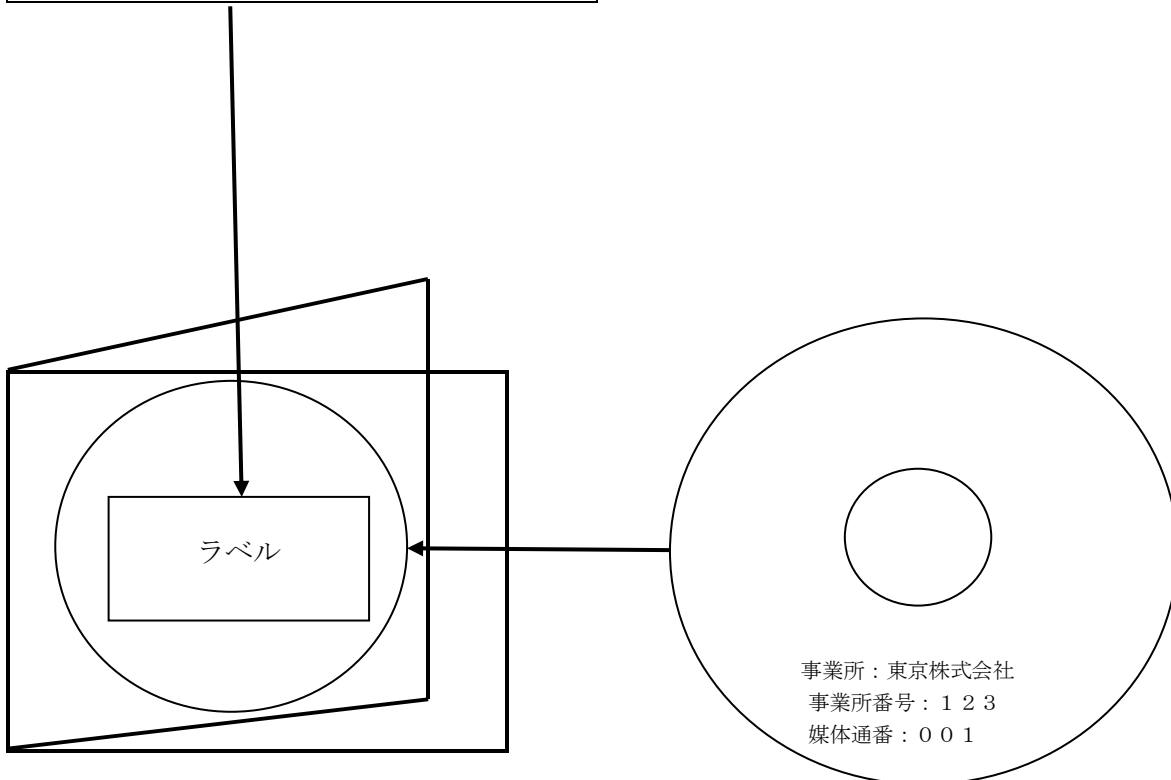
1. 2. 2 健康保険組合提出

- ・ラベルの各項目の記載内容は、表 1. 2. 2-1 のとおりである
- ・CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図 1. 2. 2-1 のとおりである

表 1. 2. 2-1 ラベル（健康保険組合提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記 載 内 容
1	タイトル		健康保険組合適用関係届書（正）と記載する
2	健康保険組合		媒体の提出先である健康保険組合名称を記載する
3	事業所		媒体の提出元である事業所名称を記載する
4	識 別 情 報	事業所番号	媒体を作成する際に設定した事業所番号を記載する （事業所番号の設定内容は表 4. 1. 2-1 項番 1 のとおりである）
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する （媒体通番の設定内容は表 4. 1. 2-1 項番 2 のとおりである）
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

健康保険組合適用関係届書（正）		
健康保険組合：東京健康保険組合		
事業所：東京株式会社		
識別情報	事業所番号	媒体通番
	1 2 3	0 0 1
届書総件数	9 8 0 件	
作成年月日：令和1年5月1日		



CD/DVDの表面には①事業所、②事業所番号、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図1. 2. 2-1 CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体（健康保険組合提出）の記載例

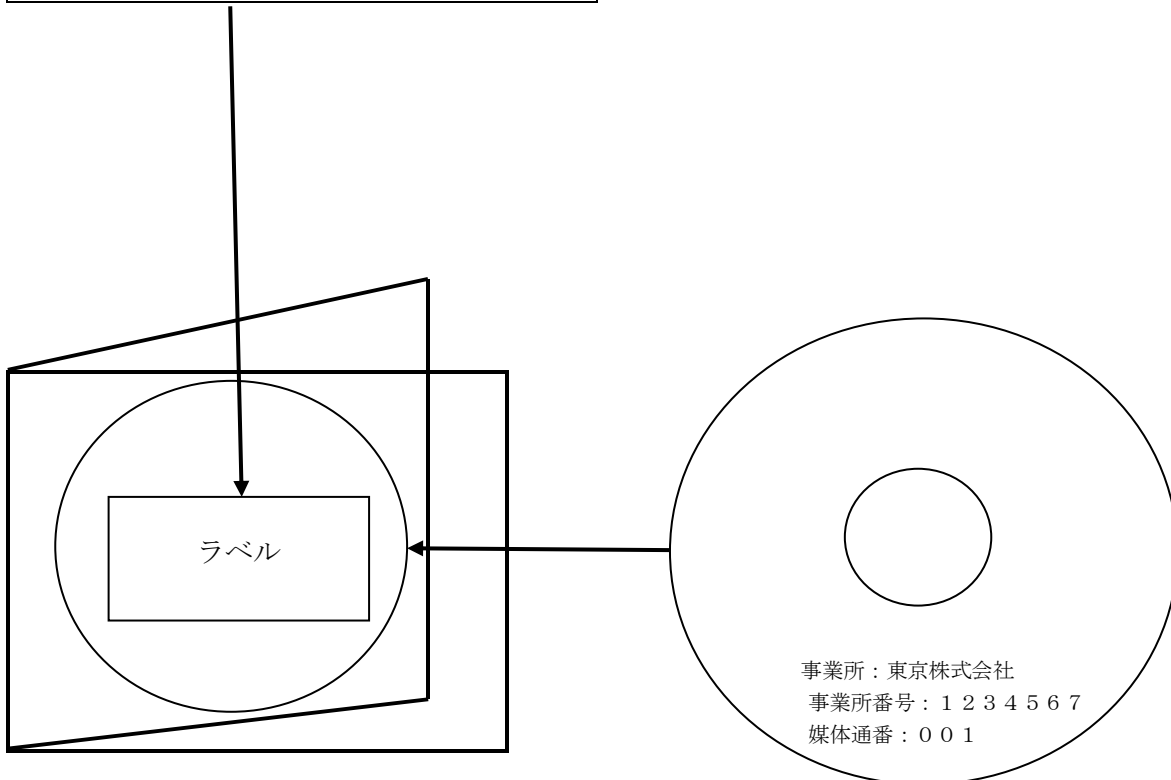
1. 2. 3 厚生年金基金提出

- ・ラベルの各項目の記載内容は、表1. 2. 3-1のとおりである
- ・CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク
 本体の記載例は、図1. 2. 3-1のとおりである

表1. 2. 3-1 ラベル（厚生年金基金提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記 載 内 容
1	タイトル		厚生年金基金適用関係届書（正）と記載する
2	厚生年金基金		媒体の提出先である厚生年金基金名称を記載する
3	事業所		媒体の提出元である事業所名称を記載する
4	識 別 情 報	事業所番号	媒体を作成する際に設定した事業所番号を記載する （事業所番号の設定内容は表4. 1. 3-1 項番1 のとおりである）
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する （媒体通番の設定内容は表4. 1. 3-1 項番2 のとおりである）
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

厚生年金基金適用関係届書（正）		
厚生年金基金：東京厚生年金基金		
事業所：東京株式会社		
識別情報	事業所番号	媒体通番
	1 2 3 4 5 6 7	0 0 1
届書総件数	9 8 0 件	
作成年月日：令和1年5月1日		



CD/DVDの表面には①事業所、②事業所番号、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図1. 2. 3-1 CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体（厚生年金基金提出）の記載例

1. 3 電子申請について

作成した電子申請用ファイルは、e-Govもしくは届書作成プログラムの届書申請機能を用いてから電子添付書類として添付し、届出（電子申請）を行う。提出先が健康保険組合及び厚生年金基金については、それぞれにおいて、電子申請による受付状況を確認のうえ、実施すること。

電子申請を行うにあたり事前準備が必要となる。電子申請に関する最新情報については、日本年金機構ホームページを参照し、実施方法を確認してください。

日本年金機構ホームページ (<https://www.nenkin.go.jp/>)

なお、電子申請用に作成したCSV形式届書ファイルは、事業所にて保管することとする。

第2章 ハード仕様

本章で記述している内容は、CD/DVD提出を行う場合の媒体に関するハード仕様である。
電子申請を行う場合は、媒体を使用しないため、本章では省略する。

2.1 CD/DVDのハード規定

CDのハード規定は表2.1-1、DVDのハード規定は表2.1-2のとおりである。

表2.1-1 CDのハード規定

項番	項目	規定事項
1	記録媒体	「CD-R」、「CD-RW」とする。
2	記録方式 (書き込み方式)	「ディスクアットワンス」とする。
3	フォーマット形式	「ISO9660」とする。

表2.1-2 DVDのハード規定

項番	項目	規定事項
1	記録媒体	「DVD+R」、「DVD-R」、「DVD+RW」、「DVD-RW」とする。
2	記録方式 (書き込み方式)	「ディスクアットワンス」とする。
3	フォーマット形式	「ISO9660」とする。

第3章 ソフト仕様

3.1 ファイル名

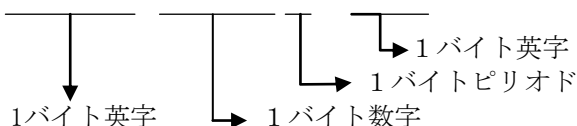
媒体に格納するファイル名は以下の通りとする。

3.1.1 年金事務所提出

(1) 電子媒体届書CD／電子媒体届書DVDに格納するファイル名

S H F D 0 0 0 6 . C S V

S H F D 0 0 0 6 . T X T



(2) CSV形式届書ファイルのファイル名

S H F D 0 0 0 6 . C S V

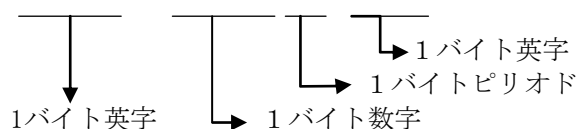
(電子申請では、拡張子がCSVでなければならない)

3.1.2 健康保険組合提出

(1) 電子媒体届書CD／電子媒体届書DVDに格納するファイル名

K P F D 0 0 0 6 . C S V

K P F D 0 0 0 6 . T X T



(2) CSV形式届書ファイルのファイル名

K P F D 0 0 0 6 . C S V

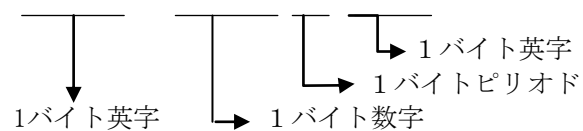
(電子申請では、拡張子がCSVでなければならない)

3. 1. 3 厚生年金基金提出

(1) 電子媒体届書CD／電子媒体届書DVDに格納するファイル名

KNFD0006.CSV

KNFD0006.TXT



(2) CSV形式届書ファイルのファイル名

KNFD0006.CSV

(電子申請では、拡張子がCSVでなければならない)

3. 2 CD/DVD提出時のファイル格納方法及び電子申請時の申請単位

CD/DVD提出時は、媒体内に1ファイルのみ格納する。

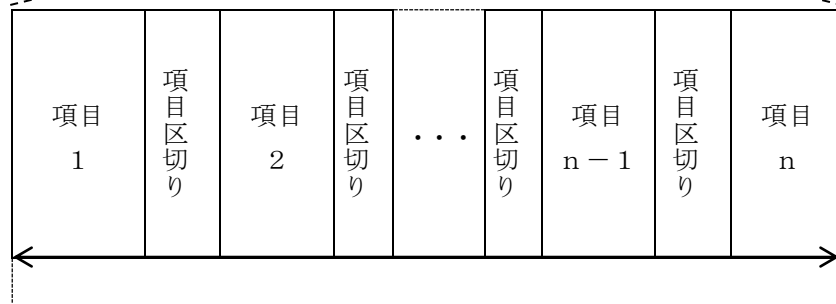
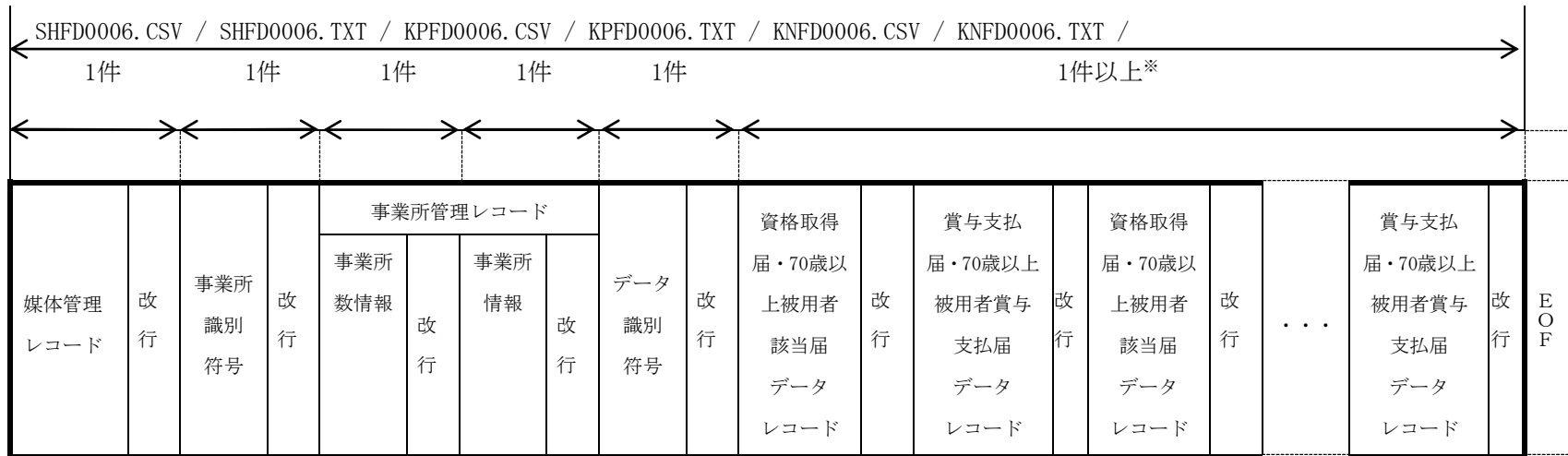
なお、SHFD0006.CSV、SHFD0006.TXT、KPF0006.CSV、KPF0006.TXT、KNFD0006.CSV、KNFD0006.TXT以外のファイルおよびディレクトリの作成は、不可とする。

電子申請時は、1回の申請につき、電子添付書類として1ファイル(例：“SHFD0006.CSV”)のみ添付する。

3. 3 ファイル形式

提出するファイル (SHFD0006.CSV、SHFD0006.TXT、KPF0006.CSV、KPF0006.TXT、KNFD0006.CSV、KNFD0006.TXT) の形式は、C S V (Comma Separated Value) 形式とする。

- ・ファイルの構成図は、図 3. 3-1 のとおりである
- ・ファイルの構成要素は、表 3. 3-1 のとおりである
- ・テキストエディタで作成した場合のファイルのイメージは、図 3. 3-2 のとおりである



1 被保険者分のデータレコード

図 3. 3-1 ファイルの構成図

※ 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード、
 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード、
 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード、
 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード、
 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード、
 被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード、
 国民年金第3号被保険者関係届データレコード
 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード
 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードのうち、
 1件以上収納する
 （ただし、健康保険組合提出媒体、厚生年金基金提出媒体は被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届、3号関係届、産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届、育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届は含まれない）

表 3. 3-1 ファイルの構成要素 (1/2)

項番	名 称		概 要	記 事
1	媒体管理レコード		媒体内の情報を管理するレコードである	必ず収録する ※いずれの媒体も同様
2	事業所識別符号		媒体管理レコードと事業所管理レコードの境を示す符号である	必ず収録する “[kanri]”と設定する
3	事業所管理レコード	事業所数情報	媒体内に収録された事業所の情報を管理するレコードである	必ず収録する
		事業所情報		必ず収録する
4	データ識別符号		事業所管理レコードとデータレコードの境を示す符号である	必ず収録する “[data]”と設定する
5	データレコード ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード ・3号関係届データレコード ・産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコード		届書内容を収録するレコードであり、収録内容に対応した7種類(健康保険組合提出、厚生年金基金提出は被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届・3号関係届、産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届、育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届を除く5種類)のデータレコードが存在する	1枚のCDまたはDVDに複数のデータレコードを混在して収録することが可能であり、収録順については順不同である 収録可能件数は99,999件までとする 電子申請においては、CSV形式届書ファイルの容量は4.5MB以下、収録件数は、2万件以下に設定する
6	項目		実際に設定するデータである	各項目の設定内容については第4章にて説明する
7	項目区切り		項目間の区切りを示す文字である	“,”（カンマ）と設定する 項目を省略する場合についても項目区切りは省略しない

表 3. 3-1 ファイルの構成要素 (2/2)

項番	名 称	概 要	記 事
8	改行	<p>以下の構成要素の終端を示す文字である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 媒体管理レコード ・ 事業所識別符号 ・ 事業所数情報 ・ 事業所情報 ・ データ識別符号 ・ 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・ 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・ 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・ 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・ 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・ 被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード ・ 3号関係届データレコード ・ 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・ 育児休業等取得者申出書（新規・延長）/終了届データレコード 	<p>改行を必ず設定する</p> <p>本書では「改行」を表記上分かり易くするために「↓」と表記する（「↓」を設定するのではない）</p>
9	EOF (ファイル終端コード)	<p>ファイルの終端であることを表すコードである</p>	<p>EOFの付加は任意とする</p> <p>本書ではEOFをEOFと表記する</p>

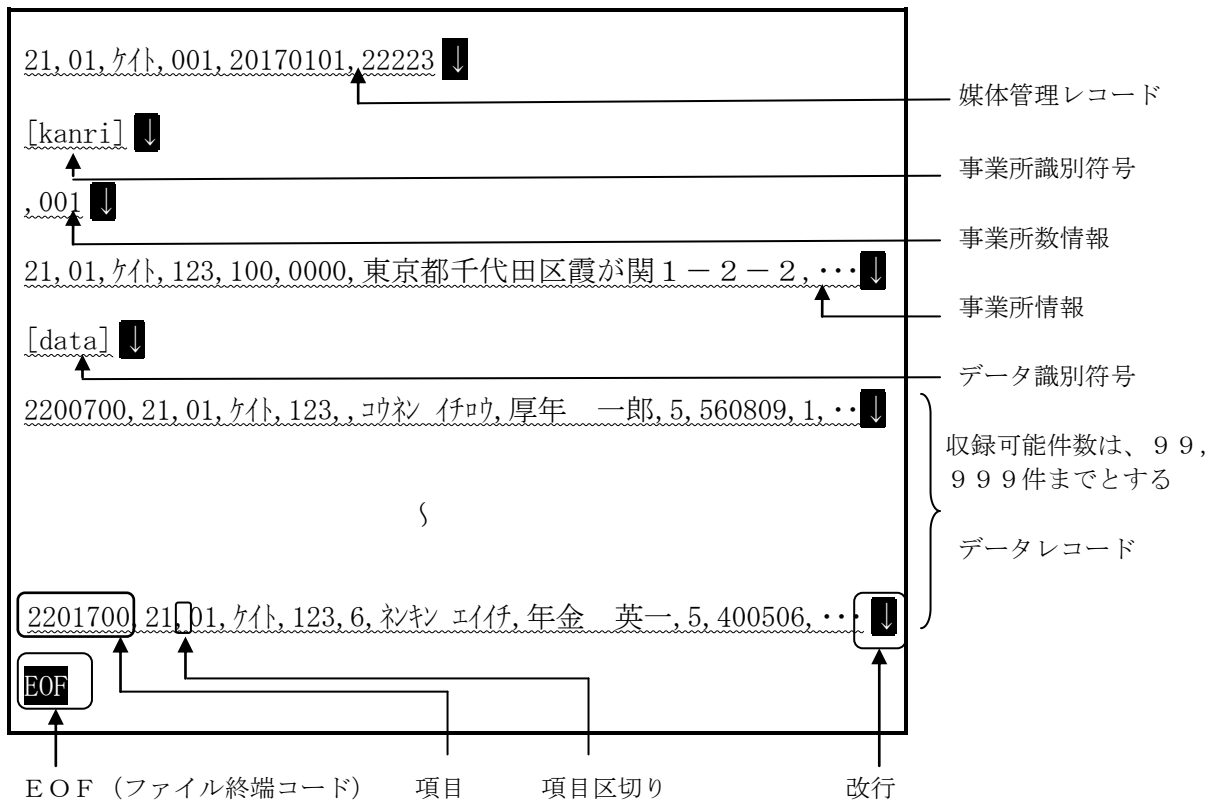


図 3. 3-2 ファイルのイメージ

3. 4 コード規定

コード規定は表 3. 4-1 のとおりである。

表 3. 4-1 コード規定

項番	項目	内 容																		
1	1バイト文字	<p>1バイト文字はJ I S 8単位符号 (JIS X 0201-1976) を使用し、使用可能文字一覧は表 3. 4-2 のとおりである (表中の空欄の箇所は使用不可とする) なお、特殊文字のコード規定は以下のとおりである</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>文字コード</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改行</td> <td>0D0A(16進)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>E O F</td> <td>1A(16進)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>項目区切り</td> <td>2C(16進)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>括弧”[”</td> <td>5 B</td> <td>事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用</td> </tr> <tr> <td>括弧”]”</td> <td>5 B</td> <td>事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用</td> </tr> </tbody> </table>	名称	文字コード	記事	改行	0D0A(16進)	—	E O F	1A(16進)	—	項目区切り	2C(16進)	—	括弧”[”	5 B	事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用	括弧”]”	5 B	事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用
名称	文字コード	記事																		
改行	0D0A(16進)	—																		
E O F	1A(16進)	—																		
項目区切り	2C(16進)	—																		
括弧”[”	5 B	事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用																		
括弧”]”	5 B	事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用																		
2	2バイト文字	<p>2バイト文字はシフトJ I Sコード (JIS X 0208-1990 (J I S第一水準、J I S第二水準) で規定された文字をシフトした文字コード) を使用し、使用可能コード範囲は表 3. 4-3 のとおりである また、シフトJ I Sコードのシフト方法は巻末の参考資料1「J I Sコード→シフトJ I Sコードシフト方法」のとおりであり、使用可能文字一覧は巻末の参考資料2「使用可能文字一覧 (2バイト文字)」のとおりである</p>																		

表3. 4-2 使用可能文字一覧 (1バイト文字)

$2^3 \sim 2^0$ / $2^7 \sim 2^4$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0		P		p				一	タ	ミ		
1				1	A	Q	a	q				ア	チ	ム		
2				2	B	R	b	r				イ	ツ	メ		
3				3	C	S	c	s				ウ	テ	モ		
4				4	D	T	d	t				エ	ト	ヤ		
5				5	E	U	e	u				オ	ナ	ユ		
6				6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7				7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8				8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9				9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A	LF	EOF			J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B					K	[k				ォ	サ	ヒ	ロ		
C			(カンマ)		L		l				ャ	シ	フ	ワ		
D	CR		— (ハイフン)		M]	m				ュ	ス	ヘ	ン		
E					N		n				ョ	セ	ホ	、 (濁点)		
F					O		o				ッ	ソ	マ	、 (半濁点)		

- ◎ “EOF” 「1A (16進)」はファイルの末尾でのみ使用可能
- ◎ “CR” 「0D (16進)」、 “LF” 「0A (16進)」は改行でのみ使用可能
- ◎ “[” 「5B (16進)」、 “]” 「5D (16進)」は事業所識別符号、データ識別符号でのみ使用可能

- ◎ “,” 「2C (16進)」は項目区切りでのみ使用可能
- ◎ “SP” 「20 (16進)」はスペースでのみ使用可能

表3. 4-3 使用可能コード範囲 (2バイト文字)

項番	項目	内容	コード範囲	使用可否	使用可能コード範囲
1	特殊文字	特殊な図形をもち区切りや印などに用いる文字			
1-1	間隔		8 1 4 0	全て使用可	8 1 4 0
1-2	記述記号		8 1 4 1 ~ 8 1 6 4	全て使用可	8 1 4 1 ~ 8 1 6 4
1-3	括弧記号		8 1 6 5 ~ 8 1 7 A	全て使用可	8 1 6 5 ~ 8 1 7 A
1-4	学術記号		8 1 7 B ~ 8 1 8 A 8 1 B 8 ~ 8 1 B F 8 1 C 8 ~ 8 1 C E 8 1 D A ~ 8 1 E 8	一部使用不可	8 1 7 B ~ 8 1 8 A
1-5	単位記号		8 1 8 B ~ 8 1 9 3 8 1 F 0 ~ 8 1 F 1	一部使用不可	8 1 8 B ~ 8 1 9 3
1-6	一般記号	8 1 9 4 ~ 8 1 9 E 8 1 9 F ~ 8 1 A C 8 1 F 2 ~ 8 1 F 7 8 1 F C	一部使用不可	8 1 9 4 ~ 8 1 9 E 8 1 9 F ~ 8 1 A C	
2	数字	0 ~ 9 の 1 0 文字	8 2 4 F ~ 8 2 5 8	全て使用可	8 2 4 F ~ 8 2 5 8
3	ローマ字	A B ~ Z の大文字及び a b ~ z の小文字	8 2 6 0 ~ 8 2 7 9 8 2 8 1 ~ 8 2 9 A	全て使用可	8 2 6 0 ~ 8 2 7 9 8 2 8 1 ~ 8 2 9 A
4	平仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音・促音の文字	8 2 9 F ~ 8 2 F 1	全て使用可	8 2 9 F ~ 8 2 F 1
5	片仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音・促音の文字	8 3 4 0 ~ 8 3 9 6	全て使用可	8 3 4 0 ~ 8 3 9 6
6	ギリシア文字	A B ~ Ω の大文字及び α β ~ ω の小文字	8 3 9 F ~ 8 3 B 6 8 3 B F ~ 8 3 D 6	全て使用可	8 3 9 F ~ 8 3 B 6 8 3 B F ~ 8 3 D 6
7	ロシア文字	A B ~ Я の大文字及び a б ~ я の小文字	8 4 4 0 ~ 8 4 6 0 8 4 7 0 ~ 8 4 9 1	全て使用可	8 4 4 0 ~ 8 4 6 0 8 4 7 0 ~ 8 4 9 1
8	漢字	第一水準、第二水準の文字	8 8 9 F ~ 9 8 7 2 9 8 9 F ~ E A A 4	全て使用可	8 8 9 F ~ 9 8 7 2 9 8 9 F ~ E A A 4
9	罫線素辺	細線、太線、混在素辺の文字	8 4 9 F ~ 8 4 B E	全て使用不可	無し
10	その他領域	空き領域	上記以外	全て使用不可	無し

※1 XX7F (下2桁が「7F」である文字コード) は、文字コードシフト時に発生する未定義領域であるため、使用不可である

※2 XX7F (下2桁が「7F」である文字コード)、XXFD~XX3F (下2桁が「FD」~「3F」である文字コード)、A0XX~DFXX (上2桁が「A0」~「DF」である文字コード) は、文字コードシフト時に発生する未定義領域であるため、使用不可である

(1) 種別について

- ・「漢字」は2バイトの全角文字である
- ・「数字」は“0”～“9”の1バイトの半角文字である
- ・「英字」はアルファベットおよび記号の1バイトの半角文字である
- ・「カナ」はカタカナの1バイトの半角文字である（スペースを含む）
- ・「括弧」は“[”と“]”の1バイトの半角文字である
- ・「ー」は常に項目を省略する場合である

(2) 文字数について

- ・種別が「カナ」の場合、濁点・半濁点は1文字と数える
- ・半角スペースおよび全角スペースは1文字と数える
- ・「0～N」はN文字以下の省略可能項目である
- ・「1～N」はN文字以下の省略不可項目である
- ・「0，N」はN文字で設定又は省略する項目である
- ・「N」は必ずN文字で設定する項目である
- ・「0」は省略する項目である

(3) 設定内容について

- ・2バイト文字のスペースは「全角スペース」、(例)では“△”と表記する
- ・1バイト文字のスペースは「半角スペース」、(例)では“△”と表記する

(4) 作成例について

- ・作成例は設定箇所を表す記号である

● 作成例の見方

作成例の見方は以下のとおりである。

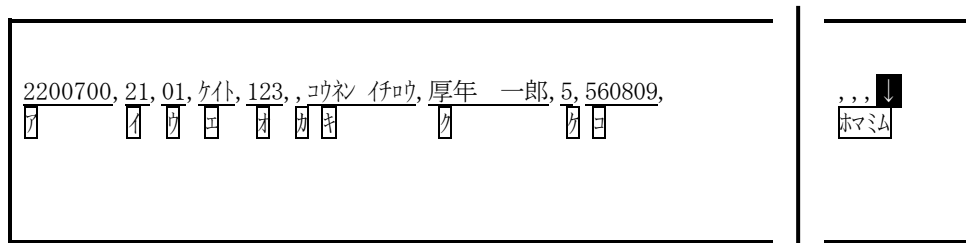




図 4 - 2 「作成例」の表記例

- ・先頭もしくは途中にある省略された項目に対応するカタカナは、項目直後の項目区切り（カンマ）の直下に表記する（図 4 - 2 の  に相当する）
- ・末尾の省略された項目に対応するカタカナは、改行の直下に表記する（図 4 - 2 の  に相当する）

4. 1 媒体管理レコード

4. 1. 1 媒体管理レコード (年金事務所提出)

(1) 媒体管理レコード (年金事務所提出) の項目構成

年金事務所に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図4. 1. 1-1のとおりです。

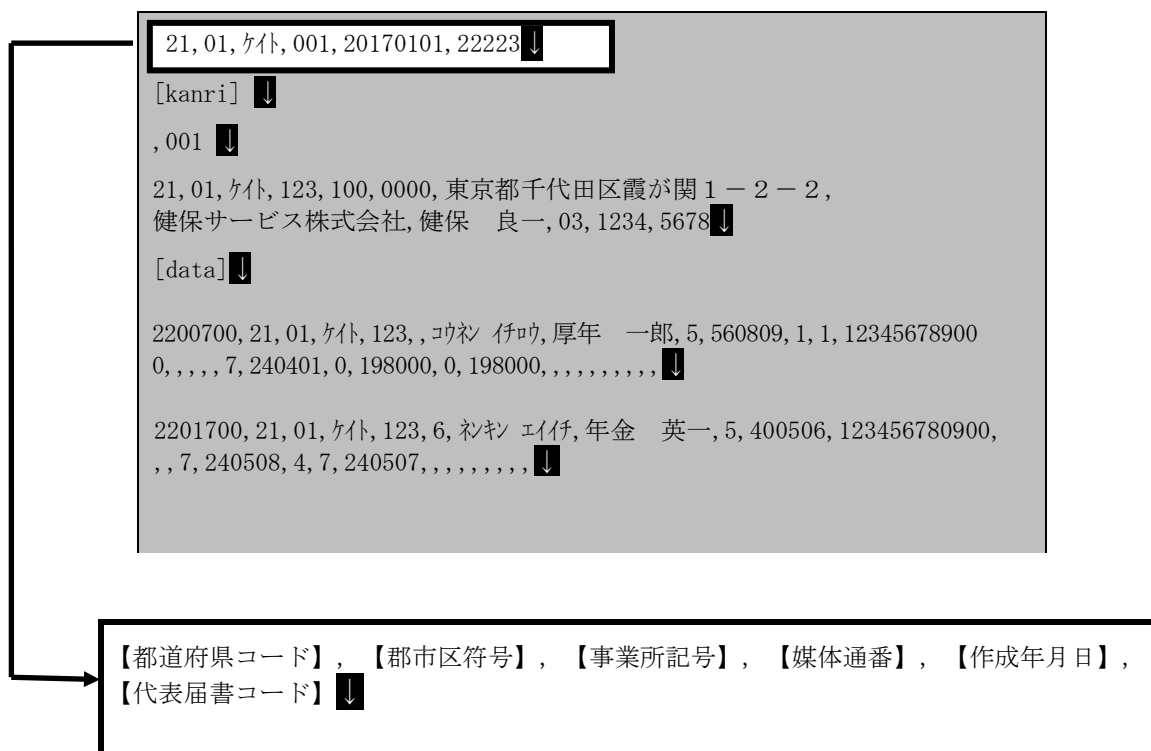


図4. 1. 1-1 媒体管理レコード (年金事務所提出) の項目構成

(2) 媒体管理レコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表4. 1. 1-1のとおりである。本項目は、電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表4. 1. 1-1 媒体管理レコード(年金事務所提出)の項目説明 (1/2)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	識	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例)東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	ア
2		郡市区符号	数字	2		イ
3		事業所記号	数字 英字 カナ	1~4		ウ
4	別 情 報	媒体通番	数字	3	媒体通番は、媒体の中での通し番号として001から999までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する 媒体通番が999に達した場合は再度001から設定する (例) ・初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する ・新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が023の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する ・媒体通番が999を超える場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が999の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する ・前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書CDに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書DVDまたはCSV形式届書ファイルには「006」と設定する	エ

表 4. 1. 1-1 媒体管理レコード(年金事務所提出)の項目説明 (2/2)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
5	作成年月日	数字	8	ファイルの作成年月日（西暦）を年は4文字、月、日はそれぞれ2文字で設定する (例) 西暦2017年1月1日の場合、「20170101」と設定する	カ
6	代表届書コード	数字	5	「22223」を設定する	カ

4. 1. 2 媒体管理レコード（健康保険組合提出）

(1) 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図4. 1. 2-1のとおりである。

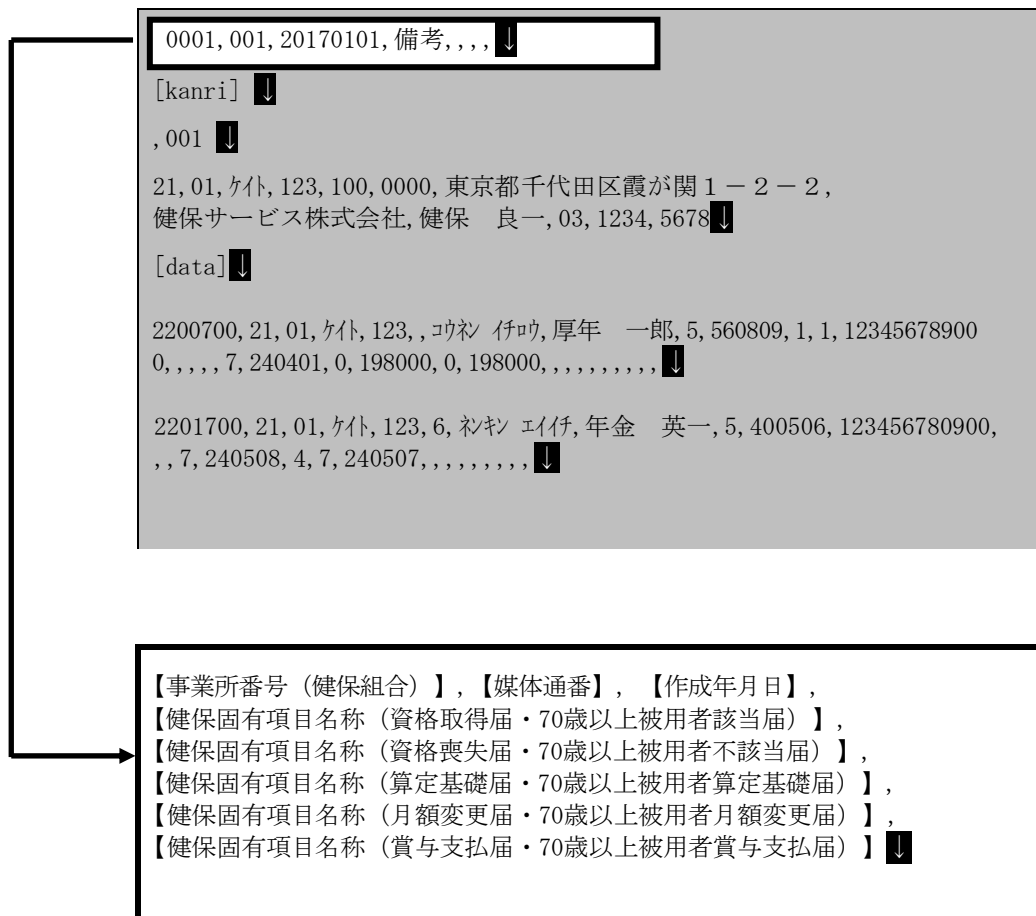


図4. 1. 2-1 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

(2) 媒体管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表4.1.2-1のとおりである。本項目は、電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表4.1.2-1 媒体管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明 (1/2)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	ア
2	媒体通番	数字	3	<p>媒体通番は、媒体の中での通し番号として001から999までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する</p> <p>媒体通番が999に達した場合は再度001から設定する</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する 新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が023の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する 媒体通番が999を超える場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が999の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する 前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書CDに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書DVDまたはCSV形式届書ファイルには「006」と設定する 	イ
3	作成年月日	数字	8	<p>ファイルの作成年月日(西暦)を年は4文字、月、日はそれぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 西暦2017年1月1日の場合、 「20170101」と設定する</p>	ウ

表4. 1. 2-1 媒体管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明 (2/2)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
4	健保固有項目名称(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0～5 0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	エ
5	健保固有項目名称(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0～5 0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	オ
6	健保固有項目名称(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0～5 0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	カ
7	健保固有項目名称(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0～5 0～10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	キ
8	健保固有項目名称(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0～5 0～10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	ク

(3) 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

表4. 1. 2-2に示す情報を設定する場合の作成例は、図4. 1. 2-2のとおりである。

表4. 1. 2-2 提出媒体の情報（例）

項目名	設定内容
事業所番号（健保組合）	0001
媒体通番	001
ファイルの作成年月日	2017年1月1日
健保固有項目名称（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	備考

0001, 001, 20170101, 備考, ... ↓
ア イ ウ 田 カキク

図4. 1. 2-2 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

4. 1. 3 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）

(1) 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図4. 1. 3-1のとおりである。

1234567, 001, 20170101, 備考,,,,,,,,, 退職年月日,,,,,,,,,
従前の標準給与額,,,,,,,,, 従前の基準給与額,,,,,,,,,
第3加算標準賞与額,,,,,,,,, ↓

[kanri] ↓

, 001 ↓

21, 01, ケイト, 123, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2,
健保サービス株式会社, 健保 良一, 03, 1234, 5678 ↓

[data] ↓

2200700, 21, 01, ケイト, 123, , コウシ 伊吹, 厚年 一郎, 5, 560809, 1, 1, 12345678900
0, , , , 7, 240401, 0, 198000, 0, 198000, , , , , , ↓

2201700, 21, 01, ケイト, 123, 6, ネキン エイ子, 年金 英一, 5, 400506, 123456780900,
, , 7, 240508, 4, 7, 240507, , , , , , ↓

(2) 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表4.1.3-1のとおりである。本項目は、電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表4.1.3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (1/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	ア
2	媒体通番	数字	3	<p>媒体通番は、媒体の中での通し番号として001から999までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する</p> <p>媒体通番が999に達した場合は再度001から設定する</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する 新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が023の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する 媒体通番が999を超える場合 最後に作成した電子媒体届書CDに設定した媒体通番が999の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する 前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書CDに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書DVDまたはCSV形式届書ファイルには「006」と設定する 	イ
3	作成年月日	数字	8	<p>ファイルの作成年月日(西暦)を年は4文字、月、日はそれぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 西暦2017年1月1日の場合、 「20170101」と設定する</p>	ウ

表4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (2/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
4	基金固有項目名称1(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	エ
5	基金固有項目名称2(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	オ
6	基金固有項目名称3(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	カ
7	基金固有項目名称4(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	キ
8	基金固有項目名称5(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ク
9	基金固有項目名称6(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ケ
10	基金固有項目名称7(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	コ
11	基金固有項目名称8(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	サ
12	基金固有項目名称9(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	シ

表4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (3/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	基金固有項目名称10(資格取得届・70歳以上被用者該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ス
14	基金固有項目名称1(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	セ
15	基金固有項目名称2(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ソ
16	基金固有項目名称3(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	タ
17	基金固有項目名称4(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	チ
18	基金固有項目名称5(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ツ
19	基金固有項目名称6(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	テ
20	基金固有項目名称7(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ト
21	基金固有項目名称8(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ナ

表4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (4/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
22	基金固有項目名称9(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉓
23	基金固有項目名称10(資格喪失届・70歳以上被用者不該当届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉔
24	基金固有項目名称1(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉕
25	基金固有項目名称2(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉖
26	基金固有項目名称3(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉗
27	基金固有項目名称4(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉘
28	基金固有項目名称5(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉙
29	基金固有項目名称6(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉚
30	基金固有項目名称7(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉛

表4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (5/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
31	基金固有項目名称8(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	マ
32	基金固有項目名称9(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ミ
33	基金固有項目名称10(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ム
34	基金固有項目名称1(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	メ
35	基金固有項目名称2(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	モ
36	基金固有項目名称3(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヤ
37	基金固有項目名称4(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ユ
38	基金固有項目名称5(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヨ
39	基金固有項目名称6(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ラ

表4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (6/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
40	基金固有項目名称7(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	リ
41	基金固有項目名称8(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ル
42	基金固有項目名称9(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	レ
43	基金固有項目名称10(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ロ
44	基金固有項目名称1(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ワ
45	基金固有項目名称2(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヅ
46	基金固有項目名称3(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	A
47	基金固有項目名称4(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	B
48	基金固有項目名称5(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字 数字 英字 カナ	0~10 0~20	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	C

表 4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (7/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
49	基金固有項目名称6(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	D
		数字 英字 カナ	0~20		
50	基金固有項目名称7(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	E
		数字 英字 カナ	0~20		
51	基金固有項目名称8(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	F
		数字 英字 カナ	0~20		
52	基金固有項目名称9(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	G
		数字 英字 カナ	0~20		
53	基金固有項目名称10(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	H
		数字 英字 カナ	0~20		

4. 2 事業所識別符号

(1) 事業所識別符号の項目構成

事業所識別符号の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図4. 2-1のとおりである。



図4. 2-1 事業所識別符号の項目構成

(2) 事業所識別符号の項目説明

事業所識別符号の項目説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表4. 2-1のとおりである。

表4. 2-1 事業所識別符号の項目説明

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所識別符号	英字括弧	7	“[kanri]”と設定する	—

4. 3 事業所管理レコード

(1) 事業所管理レコードの構成

事業所管理レコードは、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、事業所数情報と事業所情報から構成される。

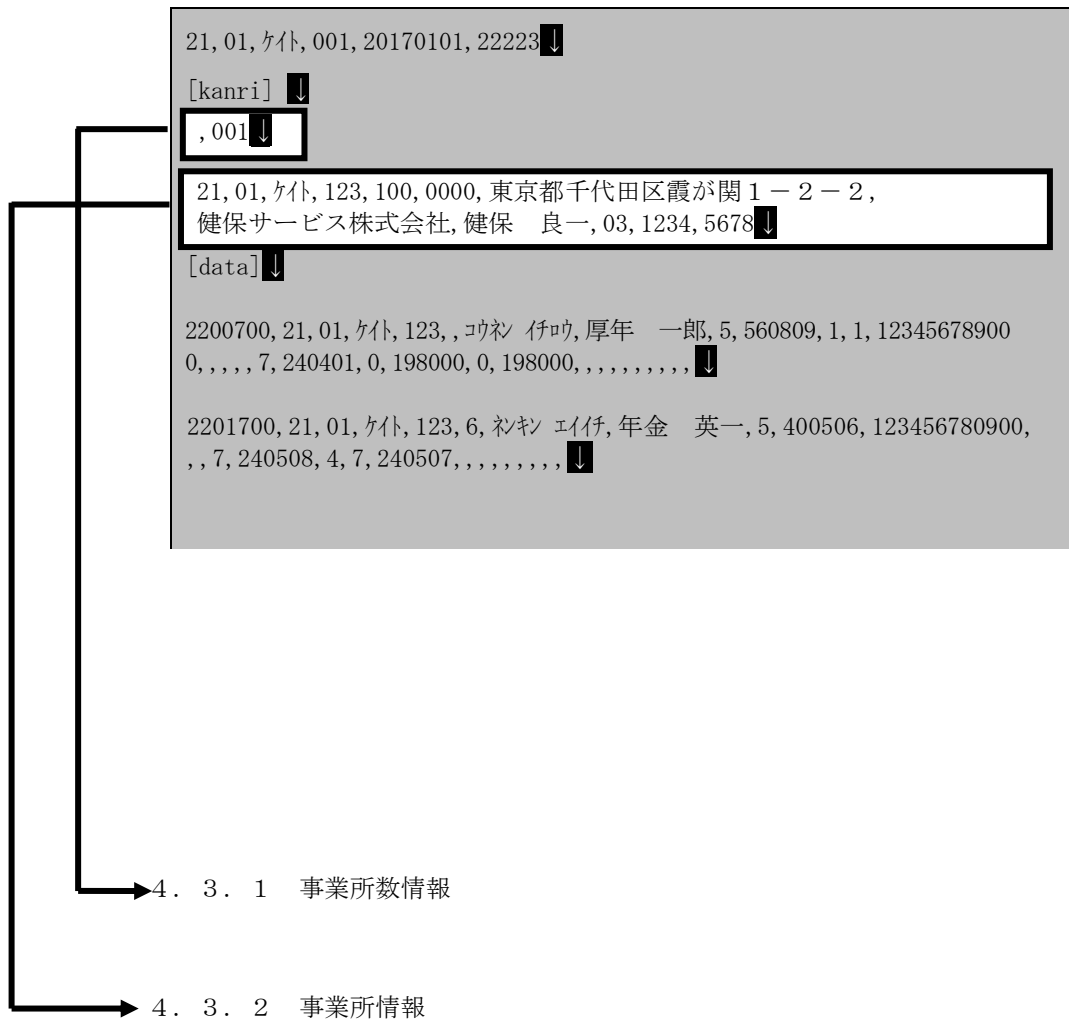


図 4. 3 - 1 事業所管理レコードの構成

4. 3. 1 事業所数情報

(1) 事業所数情報の項目構成

事業所数情報の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図4. 3. 1-1のとおりである。



図4. 3. 1-1 事業所数情報の項目構成

(2) 事業所数情報の項目説明

事業所数情報の各項目の説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表4. 3. 1-1のとおりである。

表4. 3. 1-1 事業所数情報の項目説明

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	予備	—	0	省略する	ア
2	事業所情報数	数字	1～3	「001」を設定する 上記以外に「1」または「01」を設定してもよい	イ

(3) 事業所数情報の作成例

事業所が提出する場合の作成例は、図4. 3. 1-2のとおりである。



図4. 3. 1-2 事業所数情報の作成例

4. 3. 2 事業所情報

4. 3. 2. 1 事業所情報（年金事務所提出）

(1) 事業所情報（年金事務所提出）の項目構成

事業所情報の項目構成は、図4. 3. 2. 1-1のとおりである。

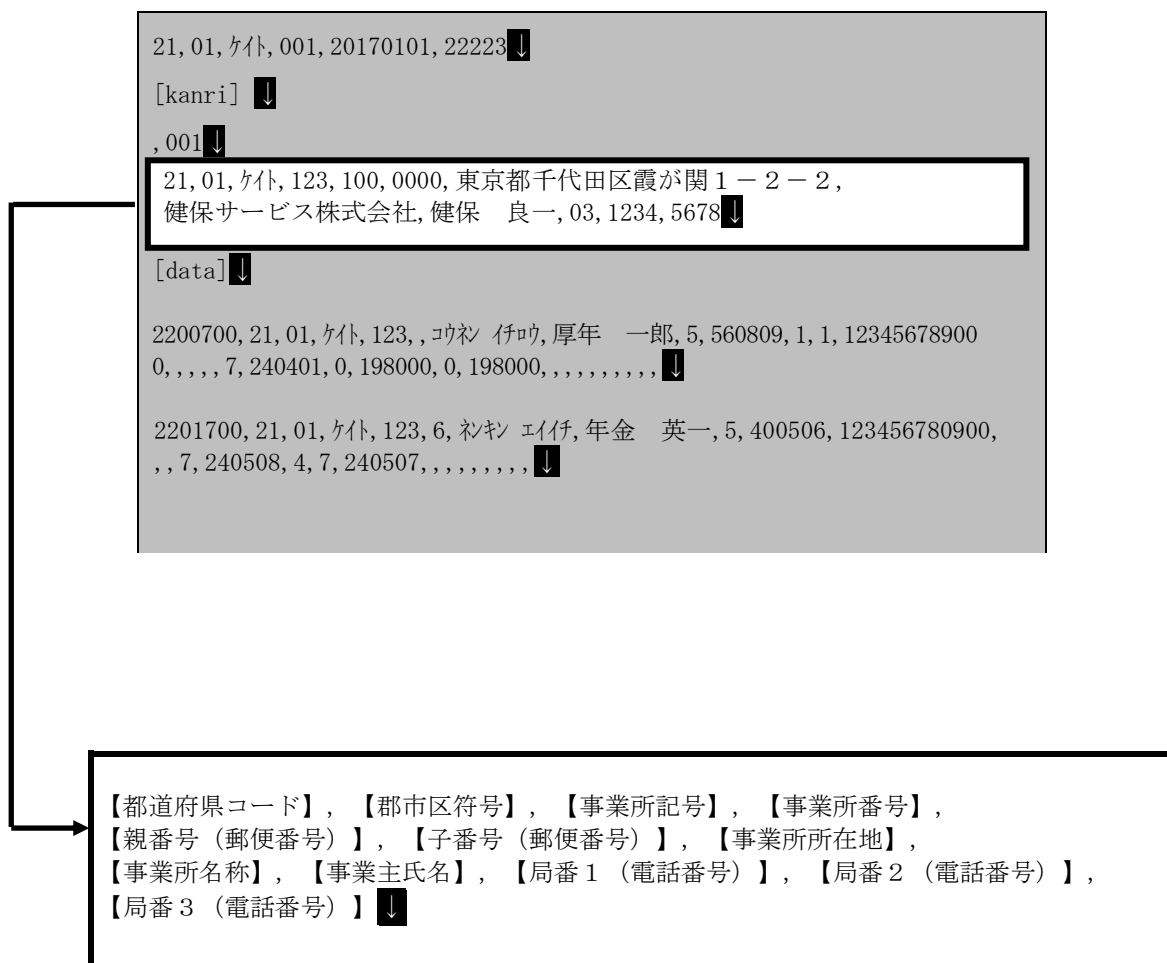


図4. 3. 2. 1-1 事業所情報（年金事務所提出）の項目構成

(2) 事業所情報の項目説明

年金事務所に提出する事業所情報の各項目の説明は、表4. 3. 2. 1-1のとおりである。

表4. 3. 2. 1-1 事業所情報 (年金事務所提出)の項目説明 (1/2)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	ア
2		郡市区符号	数字	2		イ
3		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		ウ
4	事業所番号		数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、「123」と設定する	エ
5	郵便番号	親番号	数字	3	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「100-0000」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	オ
6		子番号	数字	4		カ

表4. 3. 2. 1-1 事業所情報 (年金事務所提出)の項目説明 (2/2)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	事業所所在地		漢字	1～37	事業所所在地を都道府県名から37文字以内の漢字で設定する (例) 事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関1-2-2」と設定する なお、所在地に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを75文字以内の数字、英字、カナで設定する	キ
			数字 英字 カナ	1～75		
8	事業所名称		漢字	1～25	事業所名称を25文字以内の漢字で設定する なお、名称に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを50文字以内のカナで設定する	ク
			カナ	1～50		
9	事業主氏名		漢字	1～12	事業主氏名を12文字以内の漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 K 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを25文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の上に半角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「高田 六郎」(“高”は使用不可文字)の場合、 「高田△六郎」(代替え文字使用)または、 「タガ△ロウ」(カナ使用)と設定する	ク
			カナ	1～25		
10	電話 番 号	局番1	数字	2～5	事業所の電話番号(市外局番等)を設定する	コ
11		局番2	数字	1～4	事業所の電話番号(市内局番等)を設定する	カ
12		局番3	数字	4～5	事業所の電話番号(番号)を設定する	シ

(3) 事業所情報（年金事務所提出）の作成例

表4. 3. 2. 1-2に示す情報を設定する場合の作成例は、図4. 3. 2. 1-2のとおりである。

表4. 3. 2. 1-2 提出媒体の情報（例）

項目名	設定内容
事業所整理記号	01-ケイト
事業主番号氏名	123
事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保 良一
事業所電話番号	03-1234-5678

21, 01, ケイト, 123, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2, 健保サービス株式会社,

健保 良一, 03, 1234, 5678 ↓

図4. 3. 2. 1-2 事業所情報（年金事務所提出）の作成例

4. 3. 2. 2 事業所情報（健康保険組合提出）

(1) 事業所情報（健康保険組合提出）の項目構成

事業所情報の項目構成は、図4. 3. 2. 2-1のとおりである。

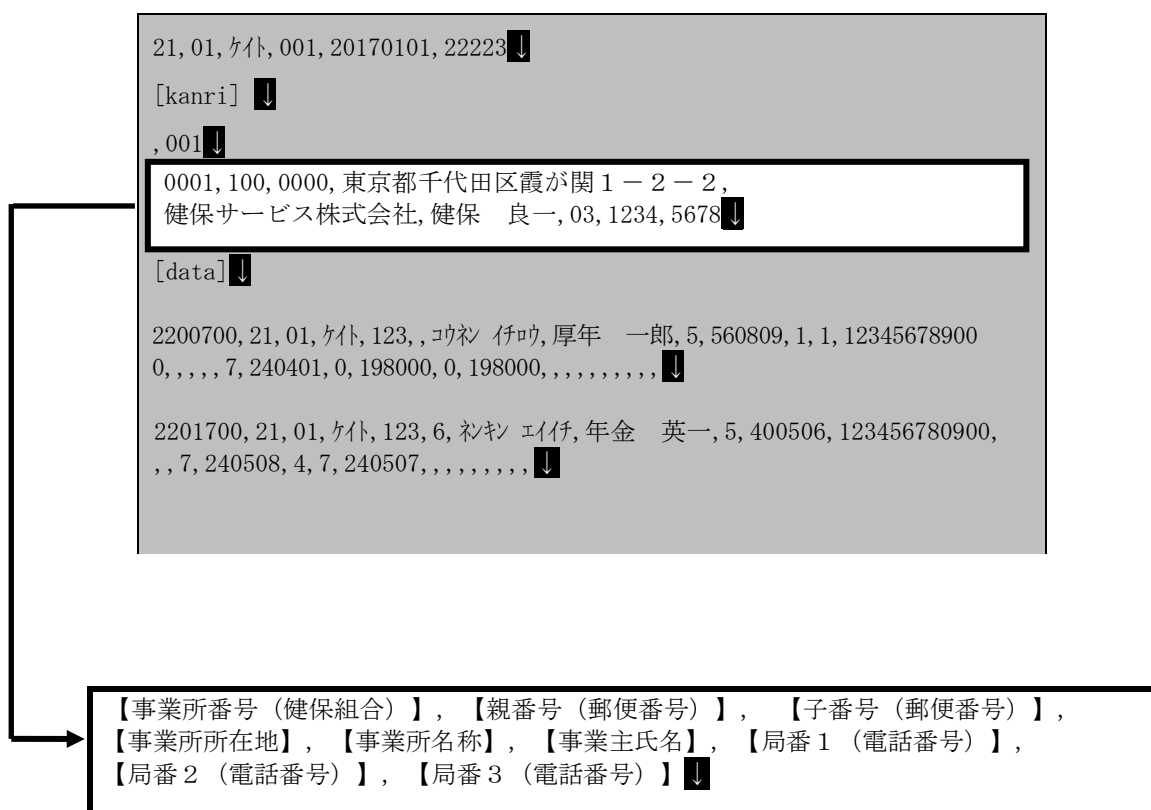


図4. 3. 2. 2-1 事業所情報（健康保険組合提出）の項目構成

(2) 事業所情報の項目説明

健康保険組合に提出する事業所情報の各項目の説明は、表4.3.2.2-1のとおりである。

表4.3.2.2-1 事業所情報（健康保険組合提出）の項目説明（1/2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	ア	
2	郵便 番号	親番号	数字	3	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「100-0000」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	イ
3		子番号	数字	4		ウ
4	事業所所在地	漢字	1～37	事業所所在地を都道府県名から37文字以内の漢字で設定する (例) 事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関1-2-2」と設定する なお、所在地に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを75文字以内の数字、英字、カナで設定する	エ	
		数字 英字 カナ	1～75			
5	事業所名称	漢字	1～25	事業所名称を25文字以内の漢字で設定する なお、名称に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを50文字以内のカナで設定する	オ	
		カナ	1～50			

表 4. 3. 2. 2 - 1 事業所情報（健康保険組合提出）の項目説明（2 / 2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
6	事業主氏名	漢字	1～12	事業主氏名を12文字以内の漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する	カ	
		カナ	1～25	ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 K 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを25文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の上に半角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「高田 六郎」（“高”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「タカダ△ロウ」(カナ使用)と設定する		
7	電話番号	局番1	数字	2～5	事業所の電話番号（市外局番等）を設定する	キ
8		局番2	数字	1～4	事業所の電話番号（市内局番等）を設定する	ク
9		局番3	数字	4～5	事業所の電話番号（番号）を設定する	ク

(3) 事業所情報（健康保険組合提出）の作成例

表4.3.2.2-2に示す情報を設定する場合の作成例は、図4.3.2.2-2のとおりである。

表4.3.2.2-2 提出媒体の情報（例）

項目名	設定内容
事業所番号 (健保組合)	0001
事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保 良一
事業所電話番号	03-1234-5678

0001, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2, 健保サービス株式会社, 健保 良一, 03, 1234, 5678
--

図4.3.2.2-2 事業所情報（健康保険組合提出）の作成例

4. 3. 2. 3 事業所情報（厚生年金基金提出）

(1) 事業所情報（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する事業所情報の項目構成は、図4. 3. 2. 3-1のとおりである。

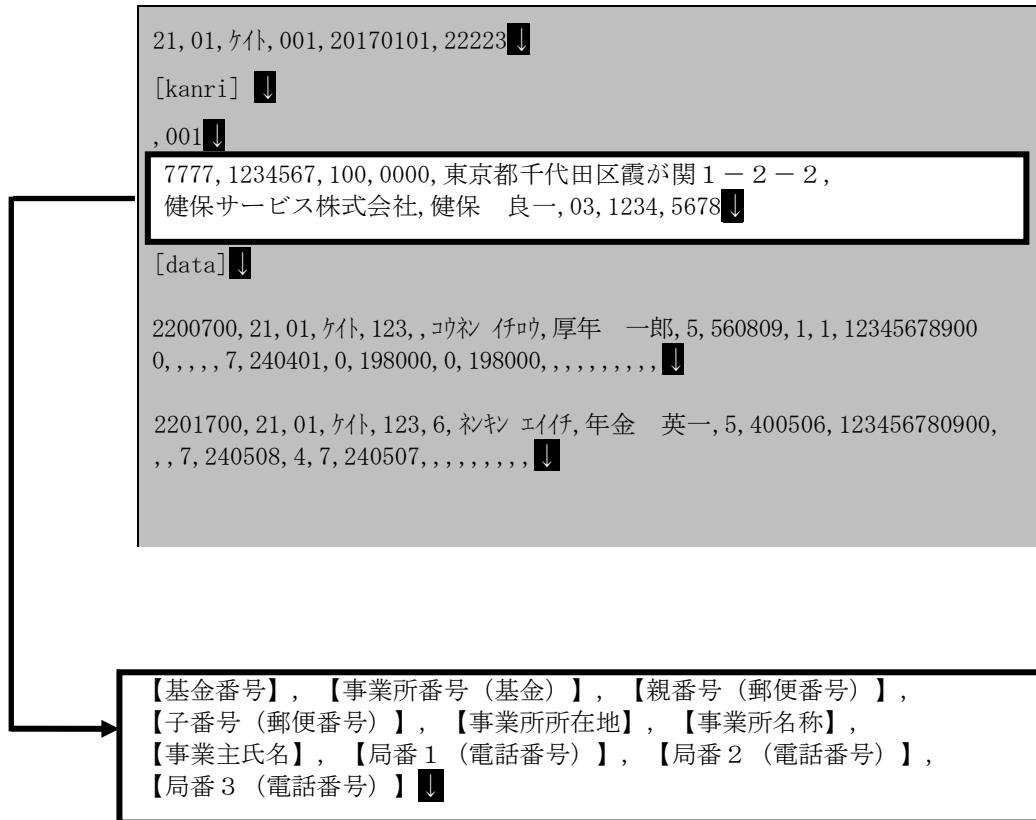


図4. 3. 2. 3-1 事業所情報（厚生年金基金提出）の項目構成

(2) 事業所情報の項目説明

厚生年金基金に提出する事業所情報の各項目の説明は、表4. 3. 2. 3-1のとおりである。

表4. 3. 2. 3-1 事業所情報（厚生年金基金提出）の項目説明（1/2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	ア
2	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	イ
3	郵便番号	親番号	数字	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「100-0000」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	ウ
4		子番号	数字		エ
5	事業所所在地	漢字	1～37	事業所所在地を都道府県名から37文字以内の漢字で設定する (例) 事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関1-2-2」と設定する なお、所在地に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを75文字以内の数字、英字、カナで設定する	オ
		数字 英字 カナ	1～75		
6	事業所名称	漢字	1～25	事業所名称を25文字以内の漢字で設定する なお、名称に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを50文字以内のカナで設定する	カ
		カナ	1～50		

表 4. 3. 2. 3 - 1 事業所情報（厚生年金基金提出）の項目説明（2 / 2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	事業主氏名	漢字	1～12	事業主氏名を12文字以内の漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する	キ	
		カナ	1～25	ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 K 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを25文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の上に半角スペースを1文字設定する (例) 事業主氏名が「高田 六郎」（“高”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「たかだ△ろくろ」(カナ使用)と設定する		
8	電 話 番 号	局番1	数字	2～5	事業所の電話番号（市外局番等）を設定する	ク
9		局番2	数字	1～4	事業所の電話番号（市内局番等）を設定する	ク
10		局番3	数字	4～5	事業所の電話番号（番号）を設定する	ク

(3) 事業所情報（厚生年金基金提出）の作成例

表4.3.2.3-2に示す情報を設定する場合の作成例は、図4.3.2.3-2のとおりである。

表4.3.2.3-2 提出媒体の情報（例）

項目名	設定内容
基金番号	7777
事業所番号 (基金)	1234567
事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保 良一
事業所電話番号	03-1234-5678

7777, 1234567, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2, 健保サービス株式会社,
 健保 良一, 03, 1234, 5678

図4.3.2.3-2 事業所情報（厚生年金基金提出）の作成例

4. 4 データ識別符号

(1) データ識別符号の項目構成

データ識別符号の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図4. 4-1のとおりである。



図4. 4-1 データ識別符号の項目構成

(2) データ識別符号の項目説明

データ識別符号の項目説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表4. 4-1のとおりである。

表4. 4-1 データ識別符号の項目説明

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	データ識別符号	英字括弧	6	“[data]” と設定する	—

4. 5 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード

4. 5. 1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）

(1) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの項目構成は、図4. 5. 1-1のとおりである。

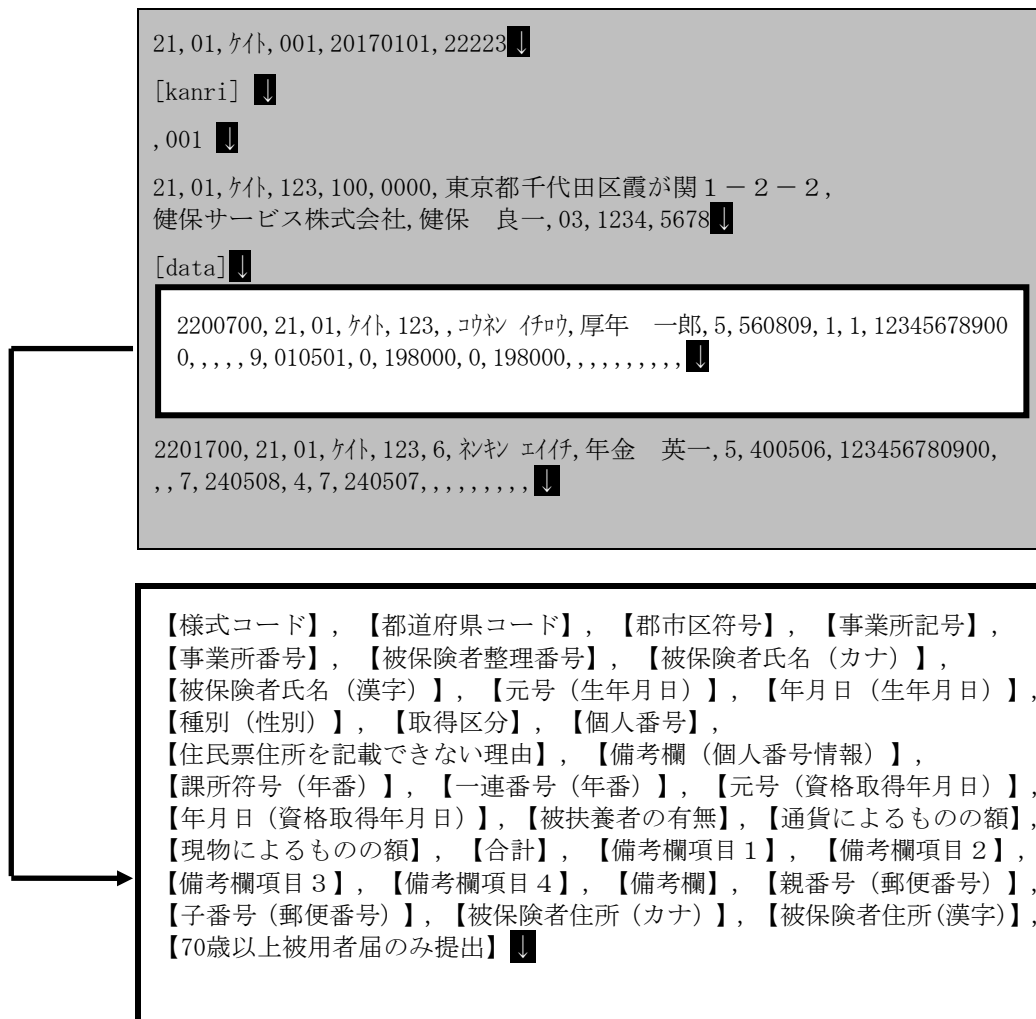


図4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

(2) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明

年金事務所に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表4.5.1-1のとおりである。

表4.5.1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（1/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2200700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	—	0	省略する ただし、一括適用の場合は、事業所において設定する	カ	
7	被保険者氏名 (カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「コウネン△イチロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K イチロウ」の場合、 「コウネン△K△イチロウ」と設定する	キ	

表4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（2/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△一郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「厚年 K 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合 	㊸	
9	生 年	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	㊹
10	月 日	年月日	数字	6	<p>生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和56年8月9日の場合、 「560809」と設定する</p>	㊺
11	種別（性別）	数字	0, 1	<p>当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑内員以外の男子 : 「1」 ・女子 : 「2」 ・坑内員 : 「3」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員以外の男子 : 「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子 : 「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員 : 「7」 <p>※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する</p>	㊻	
12	取得区分	数字	0, 1	<p>当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康保険・厚生年金保険に加入する者 : 「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者 : 「3」 ・船員年金任意継続被保険者 : 「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者 : 「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者 : 「7」 <p>※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する</p>	㊼	

表4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（3/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する なお、個人番号を設定できない場合は、基礎年金番号の設定を必須とする	㇏
14	個人番号 住民票住所を記載できない理由	数字	0, 1	個人番号を設定できない場合かつ住民票住所を設定できない場合は、以下の理由に対応する数字を設定する ・海外在住 : 「1」 ・短期在留 : 「2」 ・その他 : 「3」 個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	㇐
15	情報 備考欄	漢字	0～37	住民票住所を記載できない理由が「その他」の場合に設定する	㇑
		数字 英字 カナ	0～75	個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	
16	基礎 課所符号	数字	0, 4	個人番号を設定した場合は省略してよいが、個人番号が空欄の場合は設定を必須とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する	㇒
17	基礎 年金 番号 一連番号	数字	0, 6	(例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、個人番号を有していないかつ基礎年金番号の通知を受けていない者、または健康保険のみ加入する者については省略する	㇓

表4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（4/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
18	資格取得 元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉞
19	資格取得 (該当) 年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月1日の場合、 「010501」と設定する	㉟
20	被扶養者の有無	数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	㊱
21	通貨によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与其他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊲
22	現物によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する (例) 報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	㊳
23	合計	数字	1～7	通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊴

表4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（5/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
24	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	㊦	
25	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊧	
26	備考欄項目3	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊨	
27	備考欄項目4	数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊩	
28	備考欄	漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する (1) 健康保険法第118条第1項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する (2) 資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	㊪	
		数字 英字 カナ	0～75			
29	郵便番号	親番号	数字	0, 3	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「105-8513」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 個人番号を入力した場合は省略する	㊫
30		子番号	数字	0, 4		㊬

表4. 5. 1-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（6 / 6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
3 1	被保険者住所 (カナ)	数字 英字 カナ	0～7 5	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する 個人番号を入力した場合は省略する	<input type="checkbox"/>
3 2	被保険者住所 (漢字)	漢字	0～3 7	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・ 国外に居住する者の場合 ・ 住所に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・ 住所が3 7文字を超える場合 個人番号を入力した場合は省略する	<input type="checkbox"/>
3 3	70歳以上被用者 届のみ提出	数字	0, 1	70歳以上被用者該当届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目1への設定は必須となる ※協会けんぽの管掌する事業所で7 5歳以上の後期高齢者医療制度の対象者は必須となる	<input type="checkbox"/>

(3) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図4. 5. 1-3の「健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／厚生年金保険70歳以上被用者該当届」に対応する作成例は、図4. 5. 1-2のとおりである。

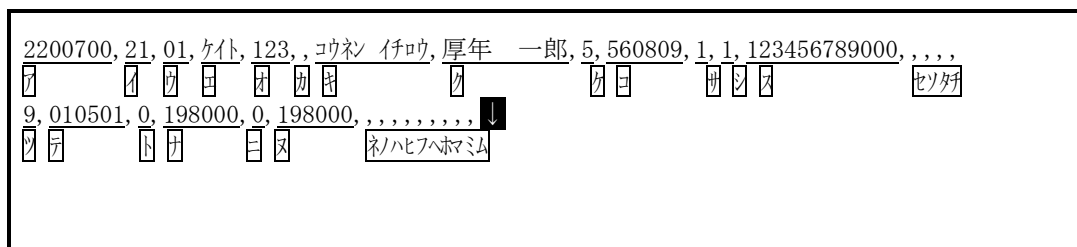
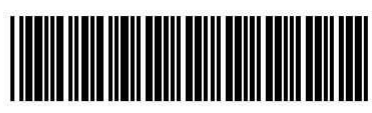


図4. 5. 1-2 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例



平成 年 月 日提出

提出者記入欄	事業所整理記号	ウ	エ	事業所番号	オ	
	事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。				
	事業所名称	〒 -				
	事業主氏名	(印)				
	電話番号	()				

受付印

社会保険労務士記載欄
氏名等 (印)

被保険者1	① 被保険者整理番号	カ	② 氏名 (フリガナ)	キ	③ 生年月日	5.昭和 年 月 日	④ 種別	1.男 5.男(基金) 2.女 6.女(基金) 3.坑内員 7.坑内員(基金)	
	⑤ 取得区分	①健康・厚年 3.共済 4.船保	⑥ 個人番号	ク	⑦ 取得(該当)年月日	7.平成 年 月 日	⑧ 被扶養者	0.無 1.有	
	⑨ 報酬月額	⑦(通貨) ナ 円	⑧(合計 ⑦+④)	チ	⑩ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 70歳以上被用者該当 ニ以上事業所勤務者の取得			
	⑪ 住所	〒 - (フリガナ) マ ミ						⑫ 理由	1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他

被保険者2	① 被保険者整理番号		② 氏名 (フリガナ)		③ 生年月日	5.昭和 年 月 日	④ 種別	1.男 5.男(基金) 2.女 6.女(基金) 3.坑内員 7.坑内員(基金)	
	⑤ 取得区分	①健康・厚年 3.共済 4.船保	⑥ 個人番号		⑦ 取得(該当)年月日	7.平成 年 月 日	⑧ 被扶養者	0.無 1.有	
	⑨ 報酬月額	⑦(通貨) 円	⑧(合計 ⑦+④)		⑩ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. ニ以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定運用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得			
	⑪ 住所	〒 - (フリガナ)						⑫ 理由	1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他

被保険者3	① 被保険者整理番号		② 氏名 (フリガナ)		③ 生年月日	5.昭和 年 月 日	④ 種別	1.男 5.男(基金) 2.女 6.女(基金) 3.坑内員 7.坑内員(基金)	
	⑤ 取得区分	①健康・厚年 3.共済 4.船保	⑥ 個人番号		⑦ 取得(該当)年月日	7.平成 年 月 日	⑧ 被扶養者	0.無 1.有	
	⑨ 報酬月額	⑦(通貨) 円	⑧(合計 ⑦+④)		⑩ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. ニ以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定運用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得			
	⑪ 住所	〒 - (フリガナ)						⑫ 理由	1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他

被保険者4	① 被保険者整理番号		② 氏名 (フリガナ)		③ 生年月日	5.昭和 年 月 日	④ 種別	1.男 5.男(基金) 2.女 6.女(基金) 3.坑内員 7.坑内員(基金)	
	⑤ 取得区分	①健康・厚年 3.共済 4.船保	⑥ 個人番号		⑦ 取得(該当)年月日	7.平成 年 月 日	⑧ 被扶養者	0.無 1.有	
	⑨ 報酬月額	⑦(通貨) 円	⑧(合計 ⑦+④)		⑩ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. ニ以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定運用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得			
	⑪ 住所	〒 - (フリガナ)						⑫ 理由	1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他

協会けんぽご加入の事業所様へ
 ※ 70歳以上被用者該当届のみ提出の場合は、「⑩備考」欄の「1. 70歳以上被用者該当」および「5. その他」に○をし、「5. その他」の〔 〕内に「該当届のみ」とご記入ください(この場合、健康保険被保険者証の発行はありません)。

- ◎ 1 都道府県コード 4 70歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2200」ではなく「2200700」である。

図4. 5. 1-3 健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届/厚生年金保険70歳以上被用者該当届 (平成30年10月現在)

4. 5. 2 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）

(1) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの項目構成は、図4. 5. 2-1のとおりである。

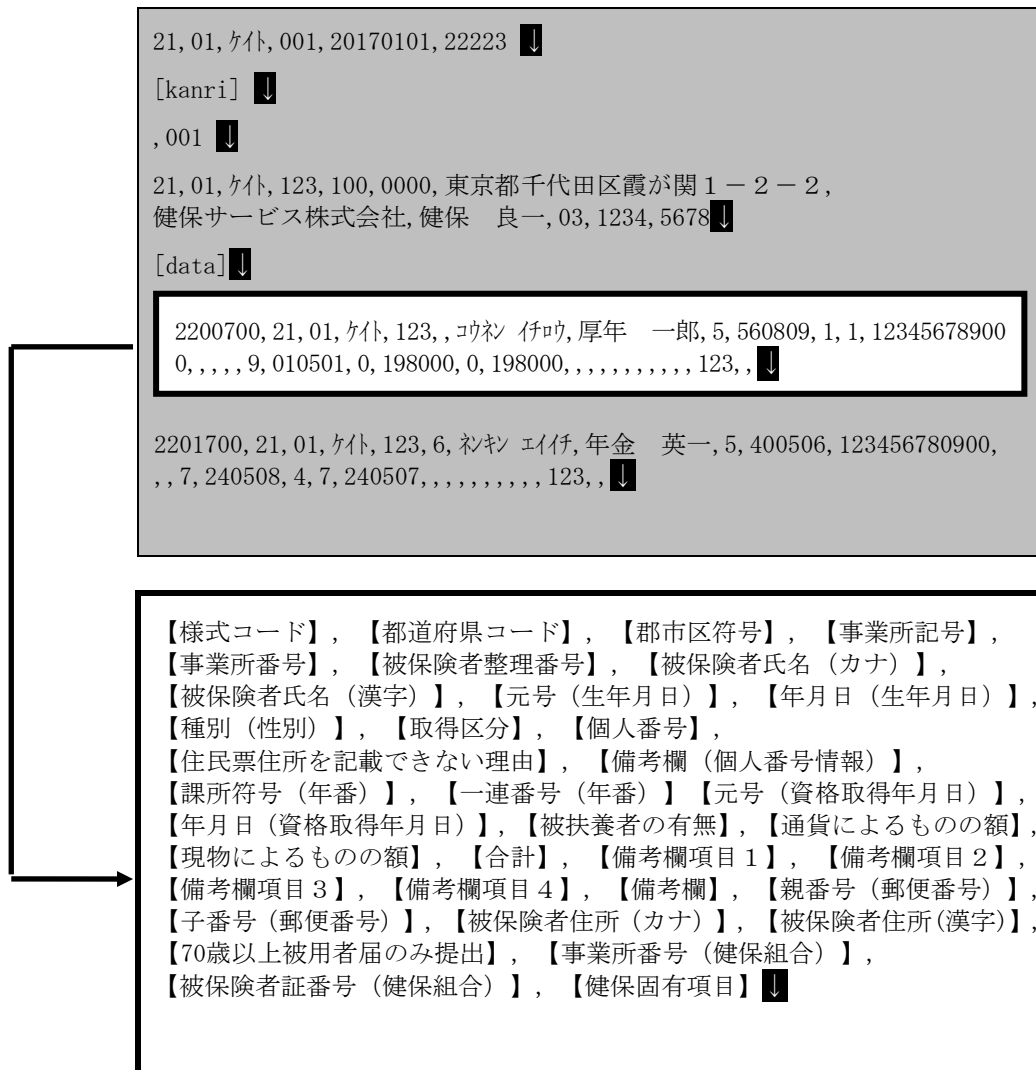


図4. 5. 2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

(2) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表4.5.2-1のとおりである。

表4.5.2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（1/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2200700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」とおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	—	0	省略する	カ	
7	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「コウネンイチロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K イチロウ」の場合、 「コウネンKイチロウ」と設定する	キ	

表4.5.2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（2/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「厚年 K 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合</p>	ク	
9	生 年	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
10	月 日	年月日	数字	6	<p>生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和56年8月9日の場合、 「560809」と設定する</p>	ク
11	種別（性別）	数字	0, 1	<p>当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑内員以外の男子 : 「1」 ・女子 : 「2」 ・坑内員 : 「3」 ・厚生年金基金の加入員で 坑内員以外の男子 : 「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子 : 「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員 : 「7」 	ク	
12	取得区分	数字	0, 1	<p>当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康保険・厚生年金保険に加入する者 : 「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者 : 「3」 ・船員年金任意継続被保険者 : 「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者 : 「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者 : 「7」 	ク	

表4.5.2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（3/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する	㊸
14	個人番号	住民票住所を記載できない理由	数字 0, 1	個人番号を設定できない場合かつ住民票住所を設定できない場合は、以下の理由に対応する数字を設定する ・海外在住 : 「1」 ・短期在留 : 「2」 ・その他 : 「3」 個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	㊹
15		情報	備考欄	漢字 0～37	住民票住所を記載できない理由が「その他」の場合に設定する 個人番号を設定した場合は省略する
			数字 英字 カナ 0～75		
16	基礎年金番号	課所符号	— 0	省略する	㊻
17		一連番号	— 0		㊼

表4.5.2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（4/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
18	資格取得 元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉞
19	資格取得 (該当) 年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月1日の場合、 「010501」と設定する	㉟
20	被扶養者の有無	数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	㊱
21	通貨によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与其他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊲
22	現物によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する (例) 報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	㊳
23	合計	数字	1～7	通貨によるもの額と現物によるもの額を合算した額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊴

表4.5.2-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（5/6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
24	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	㊦	
25	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊧	
26	備考欄項目3	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊨	
27	備考欄項目4	数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊩	
28	備考欄	漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する (1) 健康保険法第118条第1項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する (2) 資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	㊪	
		数字 英字 カナ	0～75			
29	郵便番号	親番号	数字	0, 3	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「105-8513」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	㊫
30		子番号	数字	0, 4		㊬

表 4. 5. 2 - 1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（6 / 6）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
3 1	被保険者住所 (カナ)	数字 英字 カナ	0 ~ 7 5	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する	㊦
3 2	被保険者住所 (漢字)	漢字	0 ~ 3 7	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・ 国外に居住する者の場合 ・ 住所に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・ 住所が3 7文字を超える場合	㊧
3 3	70歳以上被用者 届のみ提出	—	0	省略する	㊨

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
3 4	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1 ~ 4	健康保険組合の事業所番号を設定する	㊩
3 5	被保険者証番号 (健保組合)	数字 英字	0 ~ 7	事業主が番号を振り出せる場合は、任意の英数字を設定する	㊪
3 6	健保固有項目	漢字	0 ~ 4 0	健康保険組合固有項目の内容を設定する	㊫
		数字 英字 カナ	0 ~ 8 0		

(3) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの作成例は、
図4.5.2-2のとおりである。

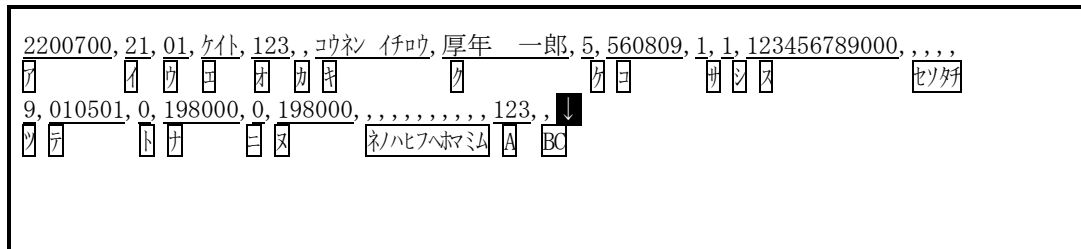


図4.5.2-2 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

(2) 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明

厚生年金基金に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表4. 5. 3-1のとおりである。

表4. 5. 3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（1/9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2200700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」とおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	—	0	省略する	カ	
7	被保険者氏名 (カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「コウネン△イチロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K イチロウ」の場合、 「コウネン△ケイ△イチロウ」と設定する	キ	

表4. 5. 3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（2/9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を1文字設定する (例) 被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	ㄱ	
9	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ㄴ
10	月 日	年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和56年8月9日の場合、 「560809」と設定する	ㄷ
11	種別（性別）	数字	0, 1	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・坑内員以外の男子 : 「1」 ・女子 : 「2」 ・坑内員 : 「3」 ・厚生年金基金の加入員で 坑内員以外の男子 : 「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子 : 「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員 : 「7」	ㄹ	
12	取得区分	数字	0, 1	当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する ・健康保険・厚生年金保険に加入する者 : 「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者 : 「3」 ・船員年金任意継続被保険者 : 「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者 : 「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者 : 「7」	ㅍ	

表 4. 5. 3 - 1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（3 / 9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	個人番号	—	0	省略する	㊸
14		—	0		
15	備考欄	—	0	省略する	㊹
		—	0		
16	基礎年金番号	数字	0, 4	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㊺
17		数字	0, 6		

表4.5.3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（4/9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
18	資格取得 元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊴
19	資格取得 年月日 (該当) 年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月1日の場合、 「010501」と設定する	㊵
20	被扶養者の有無	数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	㊶
21	通貨によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊷
22	現物によるもの の額	数字	1～7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する (例) 報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	㊸
23	合計	数字	1～7	通貨によるもの額と現物によるもの額を合算した額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊹

表4.5.3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（5/9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
24	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	㊦	
25	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊧	
26	備考欄項目3	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊨	
27	備考欄項目4	数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	㊩	
28	備考欄	漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する (1) 健康保険法第118条第1項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する (2) 資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	㊪	
		数字 英字 カナ	0～75			
29	郵便番号	親番号	数字	0, 3	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「105-8513」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	㊫
30		子番号	数字	0, 4		㊬

表 4. 5. 3 - 1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（6 / 9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
3 1	被保険者住所 (カナ)	数字 英字 カナ	0 ~ 7 5	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する	☒
3 2	被保険者住所 (漢字)	漢字	0 ~ 3 7	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・ 国外に居住する者の場合 ・ 住所に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・ 住所が 3 7 文字を超える場合	☒
3 3	70歳以上被用者 届のみ提出	—	0	省略する	☒

表4.5.3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（7/9）

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
34	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	A	
35	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B	
36	加入員番号	数字 英字	0～11	省略、または加入員手帳の番号を設定する	C	
37	加入形態(取得 事由)コード	数字	1～2	厚生年金基金の加入形態コードを設定する (例) 新規 : 「1」 または 「01」 転入 : 「2」 または 「02」 復活 : 「3」 または 「03」 再加入 : 「4」 または 「04」	D	
38	入社 年 月 日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治 : 「1」 ・大正 : 「3」 ・昭和 : 「5」 ・平成 : 「7」 ・令和 : 「9」	E
39		年月日	数字	6	入社年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和32年2月7日の場合、 「320207」と設定する	F
40	加算適用の有無	数字	0～2	加算適用の有無を設定する (例) 有 : 「1」 または 「01」 無 : 「0」 または 「00」と設定	G	
41	適用形態(取得 事由)コード	数字	0～2	厚生年金基金の適用形態コードを設定する (例) 新規 : 「1」 または 「01」 転入 : 「2」 または 「02」 復活 : 「3」 または 「03」 再加入 : 「4」 または 「04」と設定する	H	
42	加算給与月額	数字	0～7	加算給与月額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	I	

表4.5.3-1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（8/9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
43	標準給与月額	数字	0～4	標準給与月額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198」または 「0198」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	J
44	第2加算給与月額	数字	0～7	第2加算給与月額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	K
45	第2加算標準給与月額	数字	0～4	第2加算標準給与月額を設定する (例) 19万8千円の場合、 「198」または 「0198」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	L
46	基金固有項目1	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目1の内容を設定する	M
		数字 英字 カナ	0～10		
47	基金固有項目2	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目2の内容を設定する	N
		数字 英字 カナ	0～10		
48	基金固有項目3	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目3の内容を設定する	O
		数字 英字 カナ	0～10		
49	基金固有項目4	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目4の内容を設定する	P
		数字 英字 カナ	0～10		

表 4. 5. 3 - 1 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（9 / 9）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
5 0	基金固有項目 5	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 5 の内容を設定する	Q
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		
5 1	基金固有項目 6	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 6 の内容を設定する	R
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		
5 2	基金固有項目 7	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 7 の内容を設定する	S
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		
5 3	基金固有項目 8	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 8 の内容を設定する	T
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		
5 4	基金固有項目 9	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 9 の内容を設定する	U
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		
5 5	基金固有項目 1 0	漢字	0 ~ 5	厚生年金基金固有項目 1 0 の内容を設定する	V
		数字 英字 カナ	0 ~ 1 0		

※項番 3 6、3 7、4 0、4 1、4 3、4 5、4 6 ~ 5 5 については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

4. 6 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード

4. 6. 1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）

(1) 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図4. 6. 1-1のとおりである。

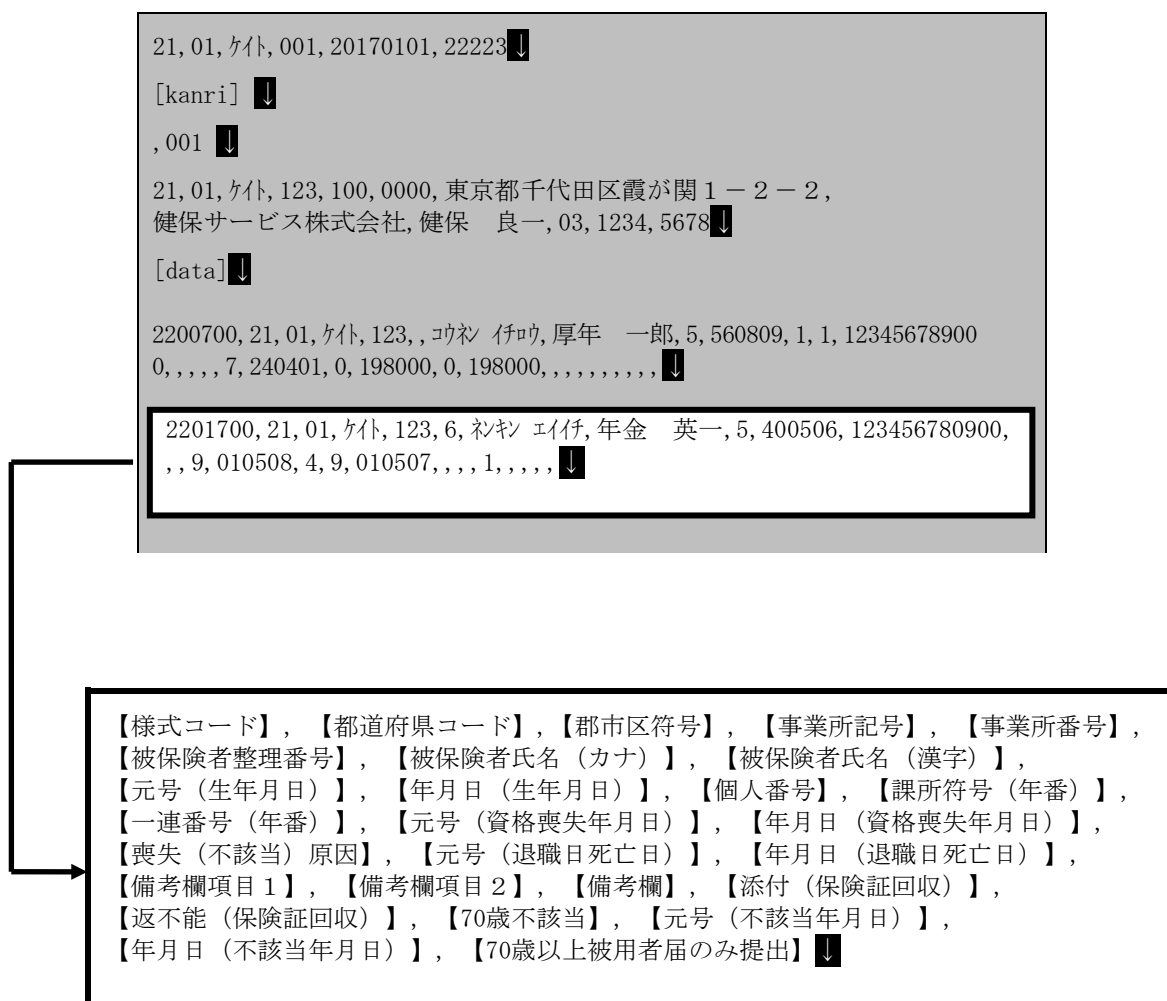


図4. 6. 1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

(2) 資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコードの各項目の説明は、表4. 6. 1-1のとおりである。

表4. 6. 1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(1/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2201700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	カ	
7	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン エイチ」の場合、「ネンキンエイチ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイチ」の場合、「ネンキンケイチ」と設定する	キ	

表4. 6. 1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(2/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	㊦	
9	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊦
10	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和40年5月6日の場合、 「400506」と設定する	㊦
11	個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	㊦	
12	基 礎 年	課所符号	数字	0, 4	個人番号を入力した場合は省略してよいが、個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する	㊦
13	金 番 号	一連番号	数字	0, 6	(例) 基礎年金番号が「0123-012345」 の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㊦

表4. 6. 1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(3/4)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
14	資格喪失年月日	元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	㉑
15		年月日	数字	0, 6	資格喪失年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	㉒
16	喪失(不該当)原因		数字	1~2	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等 : 「4」 ・死亡 : 「5」 ・75歳到達(健康保険のみ喪失) : 「7」 ・障害認定(健康保険のみ喪失) : 「9」 ・社会保障協定 : 「11」	㉓
17	喪失(不該当)原因	元号	数字	0, 1	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉔
18		年月日	数字	0, 6	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する	㉕
19	備考欄項目1		数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉖
20	備考欄項目2		数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉗

表 4. 6. 1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明
(4/4)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
21	備考欄		漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	㊴
			数字 英字 カナ	0～75		
22	保険証回収	添付	数字	0～2	保険証を回収した枚数を「添付」、回収できなかった枚数を「返不能」に設定する なお、該当しない項目は省略する	㊵
23		返不能	数字	0～2		㊶
24	70歳不該当	70歳不該当	文字	0, 1	70歳以上被用者の場合に「1」を設定する	㊷
25		元号	数字	0, 1		
26	70歳不該当情報	年月日	数字	0, 6	不該当年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年10月31日の場合、 「011031」と設定する ・70歳以上被用者不該当年月日は退職または死亡した年月日の当日を設定する	㊸
27		70歳以上被用者届のみ提出	数字	0, 1		

(3) 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図4. 6. 1-3の「健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届／厚生年金保険70歳以上被用者不該当届」に対応する作成例は、図4. 6. 1-2のとおりである。

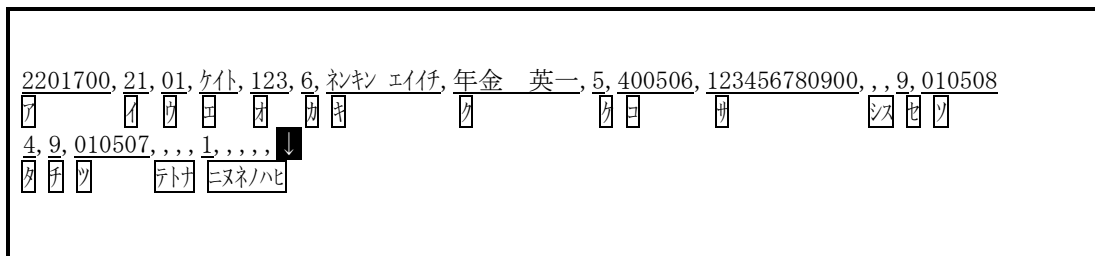


図4. 6. 1-2 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード
2 2 0 1

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者資格喪失届 70歳以上被用者不該当届



令和 年 月 日提出

事業所 登録記号	ウ	事業所 番号	オ
事業所 所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。		
事業所 名称	〒		
事業主 氏名			
電話番号	()		

在職中に70歳に到達された方の
厚生年金保険被保険者喪失届
は、この用紙ではなく『70歳到達
届』を提出してください。

受付印

社会保険労務士記載欄
氏名等

提出者記入欄	① 被保険者 整理番号	カ	氏名	ク	③ 生 年 月 日	ケ	5. 昭和	年	月	日	7. 平成	年	月	日	9. 令和	年	月	日		
	④ 個人 番号 (基礎年 金番号)	シ	ス	⑤ 喪失 年月日	セ	ソ	⑥ 喪失 (不該当) 原因	チ	年	月	日	ツ	年	月	日	タ	年	月	日	
	⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 以上事業所勤務者の喪失 2. 退職後の継続再雇用者の喪失			⑧ 保険証回収	添付	枚	⑨	□ 70歳以上被用者不該当 (退職日または死亡日を記入してください)			ネ	70歳 不該当			不該当年月日	ハ	年	月	日
	被保険者1																			
被保険者2	① 被保険者 整理番号		氏名		③ 生 年 月 日		5. 昭和	年	月	日	7. 平成	年	月	日	9. 令和	年	月	日		
	④ 個人 番号 (基礎年 金番号)			⑤ 喪失 年月日			⑥ 喪失 (不該当) 原因													
	⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失 2. 退職後の継続再雇用者の喪失			⑧ 保険証回収	添付	枚	⑨	□ 70歳以上被用者不該当 (退職日または死亡日を記入してください)			70歳 不該当	不該当年月日			年	月	日		
	被保険者2																			
被保険者3	① 被保険者 整理番号		氏名		③ 生 年 月 日		5. 昭和	年	月	日	7. 平成	年	月	日	9. 令和	年	月	日		
	④ 個人 番号 (基礎年 金番号)			⑤ 喪失 年月日			⑥ 喪失 (不該当) 原因													
	⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失 2. 退職後の継続再雇用者の喪失			⑧ 保険証回収	添付	枚	⑨	□ 70歳以上被用者不該当 (退職日または死亡日を記入してください)			70歳 不該当	不該当年月日			年	月	日		
	被保険者3																			
被保険者4	① 被保険者 整理番号		氏名		③ 生 年 月 日		5. 昭和	年	月	日	7. 平成	年	月	日	9. 令和	年	月	日		
	④ 個人 番号 (基礎年 金番号)			⑤ 喪失 年月日			⑥ 喪失 (不該当) 原因													
	⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失 2. 退職後の継続再雇用者の喪失			⑧ 保険証回収	添付	枚	⑨	□ 70歳以上被用者不該当 (退職日または死亡日を記入してください)			70歳 不該当	不該当年月日			年	月	日		
	被保険者4																			

- ◎ イ 都道府県コード E 70歳以上被用者届のみ提出
については記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2201」ではなく「2201700」である。

図4. 6. 1-3 健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届/厚生年金保険70歳以上被用者不該当届
(令和2年12月現在)

4. 6. 2 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）

(1) 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図4. 6. 2-1のとおりである。

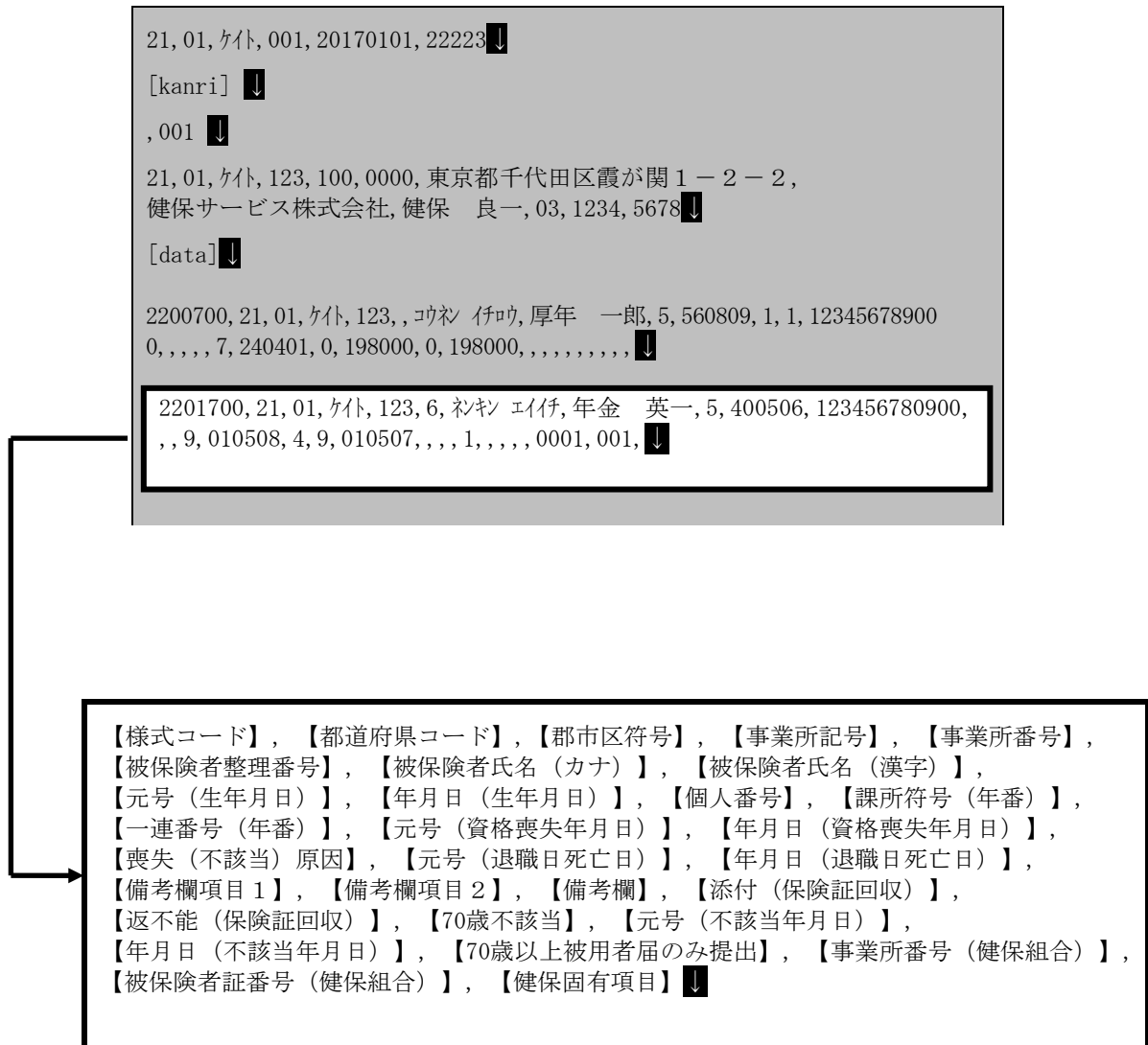


図4. 6. 2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

(2) 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの各項目の説明は、表4. 6. 2-1のとおりである。

表4. 6. 2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(1/5)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2201700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する	カ	
7	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン エイイチ」の場合、 「ネンキンエイイチ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイイチ」の場合、 「ネンキンケイイチ」と設定する	キ	

表 4. 6. 2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(2/5)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	㊴	
9	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊵
10	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和40年5月6日の場合、 「400506」と設定する	㊶
11	個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する	㊷	
12	基 礎 年	課所符号	—	0	省略する	㊸
13	金 番 号	一連番号	—	0		㊹

表 4. 6. 2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(3/5)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
14		元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉑
15	資格喪失年月日	年月日	数字	0, 6	資格喪失年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください	㉒
16	喪失(不該当)原因		数字	1~2	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等 : 「4」 ・死亡 : 「5」 ・75歳到達(健康保険のみ喪失) : 「7」 ・障害認定(健康保険のみ喪失) : 「9」 ・社会保障協定 : 「11」	㉓
17	喪失(不該当)原因	元号	数字	0, 1	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉔
18		年月日	数字	0, 6	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する	㉕
19	備考欄項目1		数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉖
20	備考欄項目2		数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉗

表4.6.2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(4/5)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
21	備考欄		漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	㊦
			数字 英字 カナ	0～75		
22	保険証回収	添付	数字	0～2	保険証を回収した枚数を「添付」、回収できなかった枚数を「返不能」に設定する なお、該当しない項目は省略する	㊧
23		返不能	数字	0～2		㊨
24	70歳不該当		—	0	省略する	㊩
25		元号	—	0		㊪
26		年月日	—	0		㊫
27	70歳以上被用者届のみ提出		—	0	省略する	㊬

表 4. 6. 2-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(5/5)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
28	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	A
29	被保険者証番号 (健保組合)	数字 英字	1～7	任意の英数字を設定する	B
30	健保固有項目	漢字	0～40	健康保険組合固有項目の内容を設定する	C
		数字 英字 カナ	0～80		

4. 6. 3 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）

(1) 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図4. 6. 3-1のとおりである。

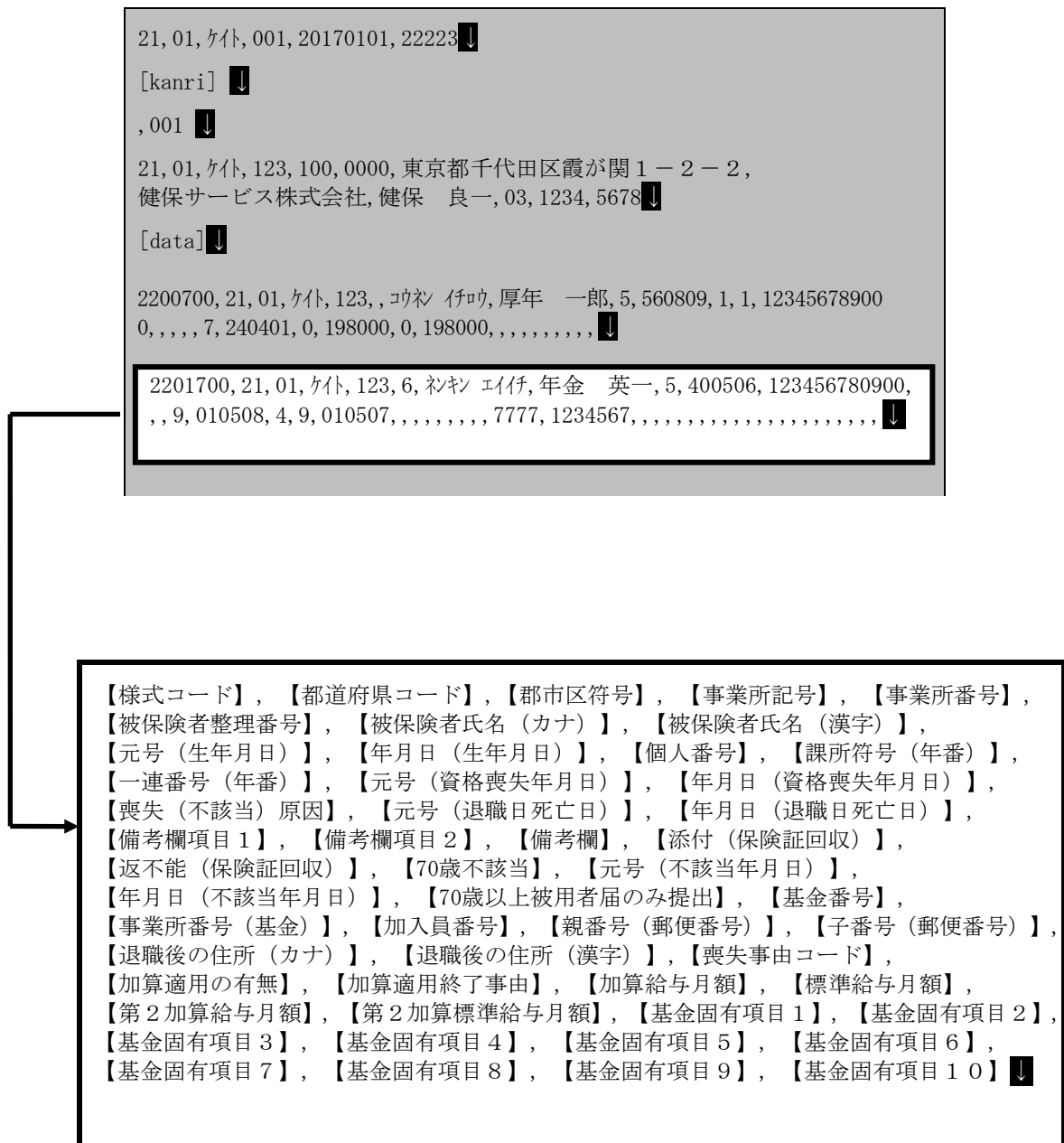


図4. 6. 3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

(2) 資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコードの各項目の説明は、表4. 6. 3-1のとおりである。

表4. 6. 3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(1/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2201700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ	
6	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する	カ	
7	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン エイイチ」の場合、 「ネンキン△エイイチ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイイチ」の場合、 「ネンキン△ケイエイイチ」と設定する	キ	

表4.6.3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(2/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
8	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	㊦	
9	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊦
10	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和40年5月6日の場合、 「400506」と設定する	㊦
11	個人番号	—	0	省略する	㊦	
12	基 礎 年	課所符号	数字	0, 4	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㊦
13	金 番 号	一連番号	数字	0, 6		㊦

表4.6.3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(3/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
14	元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉑	
15	資格喪失年月日	数字	0, 6	資格喪失年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください	㉒	
16	喪失(不該当)原因	数字	1~2	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等 : 「4」 ・死亡 : 「5」 ・75歳到達(健康保険のみ喪失) : 「7」 ・障害認定(健康保険のみ喪失) : 「9」 ・社会保障協定 : 「11」	㉓	
17	喪失(不該当)原因 退職日	元号	数字	0, 1	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉔
18	喪失(不該当)原因 死亡日	年月日	数字	0, 6	喪失(不該当)原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する	㉕
19	備考欄項目1	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉖	
20	備考欄項目2	数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㉗	

表4.6.3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4/8)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
21	備考欄		漢字	0～37	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	㊦
			数字 英字 カナ	0～75		
22	保険証回収	添付	—	0	省略する	㊧
23		返不能	—	0		㊨
24	70歳不該当情報	70歳不該当	文字	0, 1	70歳以上被用者の場合に「1」を設定する	㊩
25		元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊪
26		年月日	数字	0, 6	不該当年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年10月31日の場合、「011031」と設定する ・70歳以上被用者不該当年月日は退職または死亡した年月日の当日を設定する	㊫
27	70歳以上被用者届のみ提出		—	0	省略する	㊬

表 4. 6. 3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5/8)

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
28	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	A
29	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B
30	加入員番号	数字 英字	1～11	加入員手帳の番号を設定する	C
31	郵便 番号	親番号	数字	加入員の退職後の住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「105-8513」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に、「9999」、子番号に「9999」を設定する	D
32		子番号	数字		E
33	退職後の住所 (カナ)	数字 英字 カナ	1～75	加入員の退職後の住所を都道府県名から設定する	F
34	退職後の住所 (漢字)	漢字 数字 英字	0～37	加入員の退職後の住所を都道府県名から設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・国外に居住する者の場合 ・住所に「3.4コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が37文字を超える場合	G
35	喪失事由コード	数字	1～2	喪失事由コードを設定する (例) 年金 : 「1」または「01」 特例 : 「2」または「02」 転出 : 「3」または「03」 申脱保留 : 「4」または「04」 申脱(選) : 「5」または「05」 申脱 : 「6」または「06」 休職 : 「7」または「07」 無給付 : 「8」または「08」 年金(選) : 「9」または「09」 特例(選) : 「10」	H

表 4. 6. 3 - 1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
36	加算適用の有無	数字	0～2	加算適用の有無を設定する (例) 有：「1」または「01」 無：「0」または「00」	I
37	加算適用終了事由	数字	0～2	加算適用終了事由コードを設定する (例) 年金 : 「1」または「01」 一時金 : 「2」または「02」 選一 : 「3」または「03」 休職 : 「4」または「04」 転出 : 「5」または「05」 無給付 : 「6」または「06」 申脱 : 「7」または「07」 申脱保留 : 「8」または「08」	J
38	加算給与月額	数字	0～7	加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	K
39	標準給与月額	数字	0～4	標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	L
40	第2加算給与月額	数字	0～7	第2加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	M
41	第2加算標準給与月額	数字	0～4	第2加算標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	N

表 4. 6. 3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(7/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
42	基金固有項目1	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目1の内容を設定する	□C
		数字 英字 カナ	0～10		
43	基金固有項目2	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目2の内容を設定する	□P
		数字 英字 カナ	0～10		
44	基金固有項目3	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目3の内容を設定する	□Q
		数字 英字 カナ	0～10		
45	基金固有項目4	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目4の内容を設定する	□R
		数字 英字 カナ	0～10		
46	基金固有項目5	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目5の内容を設定する	□S
		数字 英字 カナ	0～10		
47	基金固有項目6	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目6の内容を設定する	□T
		数字 英字 カナ	0～10		
48	基金固有項目7	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目7の内容を設定する	□U
		数字 英字 カナ	0～10		
49	基金固有項目8	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目8の内容を設定する	□V
		数字 英字 カナ	0～10		

表 4. 6. 3-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(8/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	基金固有項目9	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目9の内容を設定する	<input type="checkbox"/> W
		数字 英字 カナ	0～10		
51	基金固有項目 10	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目10の内容を設定する	<input checked="" type="checkbox"/> X
		数字 英字 カナ	0～10		

※項番35、36、37、39、41、42～51については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（適用年月）】，【年（適用年月）】，【月（適用年月）】，
【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（4月）】，【給与支給月（5月）】，
【給与支給月（6月）】，【給与計算の基礎日数（4月）】，【給与計算の基礎日数（5月）】，
【給与計算の基礎日数（6月）】，【通貨によるものの額（4月）】，
【通貨によるものの額（5月）】，【通貨によるものの額（6月）】，
【現物によるものの額（4月）】，【現物によるものの額（5月）】，
【現物によるものの額（6月）】，【合計（4月）】，【合計（5月）】，【合計（6月）】，
【総計】，【平均額】，【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，
【一連番号（年番）】，【備考欄項目1】，【70歳算定基礎月】，【備考欄項目2】，
【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，【備考欄項目6】，【備考欄項目7】，
【備考欄項目8】，【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】↓

図4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

(2) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表4. 7. 1-1のとおりである。

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(1/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2225700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」とおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57-ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、 「1」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ケンポ Δイチロウ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、 「ケンポ ΔケΔイチロウ」と設定する	カ	

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(2/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	キ	
8	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する	ケ
10	適	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
11	用 年 月	年	数字	2	当該届(媒体)を提出する年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	カ
12		月	数字	2	「09」を設定する	シ
13	従前の 標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(健保)が「300」の場合、 「0300」と設定する	ク	
14	従前の 標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(厚年)が「300」の場合、 「0300」と設定する	セ	

表 4. 7. 1 - 1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(3 / 7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉟
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例)平成30年の場合、 「30」と設定する	㊴
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例)9月の場合、 「09」と設定する	㊵
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給分の支払月を設定する (例)4月の場合、 「04」と設定する	㊶
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	昇(降)給により増(減)額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合：「1」 降給の場合：「2」 上記に該当しない場合は省略する	㊷
20	遡及支払月		数字	0, 2	4月から6月に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例)4月の場合、 「04」と設定する	㊸
21	遡及支払額		数字	0 ~ 7	4月から6月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する (例)1万2千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	㊹
22	給 与 支 給 月	4月	数字	2	「04」を設定する	㊺
23		5月	数字	2	「05」を設定する	㊻
24		6月	数字	2	「06」を設定する	㊼

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(4/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
25	給与計算の基礎日数	4月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㇀
26		5月	数字	2	(例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㇁
27		6月	数字	2	なお、以下に該当する場合は、「00」を設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が0日の場合	㇂
28	通貨によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する (例) 30万円の場 合、「300000」または「0300000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇃
29		5月	数字	1~7		㇄
30		6月	数字	1~7		㇅
31	現物によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のもので支払われるものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇆
32		5月	数字	1~7		㇇
33		6月	数字	1~7		㇈
34	合計	4月	数字	1~7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する (例) 30万円の場 合、「300000」または「0300000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	㇉
35		5月	数字	1~7		㇊
36		6月	数字	1~7		㇋

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(5/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
37	総計	数字	1～7	<p>給与計算の基礎日数が17日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が17日以上がない場合には、給与計算の基礎日数が15日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が11日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>(例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する</p>	㉠
38	平均額	数字	1～7	<p>4月、5月、6月のうち、給与計算の基礎日数が17日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が17日未満の場合は、15日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>また、短時間労働者の被保険者の場合は11日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する</p> <p>なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する</p> <p>また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する</p>	㉡
39	修正平均額	数字	0～7	<p>算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 29万6千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する</p>	㉢

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(6/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
40	個人番号	数字	0, 12	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	㉒	
41	基礎年金番号	課所符号	数字	0, 4	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㉓
42		一連番号	数字	0, 6		㉔
43	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する ただし、70歳到達年の6月に70歳以上被用者に該当した者である場合は「1」を設定しない	㉕	
44	70歳算定基礎月	数字	0, 2, 4	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が6月のみの場合には2文字を設定する (例) 6月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が5月と6月の場合には4文字を設定する (例) 5月と6月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	㉖	
45	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	㉗	
46	備考欄項目3	数字	0, 1	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	㉘	
47	備考欄項目4	数字	0, 1	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより1カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	㉙	
48	備考欄項目5	数字	0, 1	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	㉚	
49	備考欄項目6	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	㉛	

表4. 7. 1-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(7/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	備考欄項目7	数字	0, 1	<p>パートに該当する場合は「1」を設定する</p> <p>※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「1」を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者 	E
51	備考欄項目8	数字	0, 1	<p>年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する</p>	F
52	備考欄	漢字 数字 英字 カナ	0～37 0～75	<p>省略する</p> <p>なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する</p> <p>○現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する (例) ・現物給与が住宅の場合：「住宅」</p> <p>○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する ※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう (例) ・給与締め日15日、当月25日支払、3月26日資格取得者、4月支払の給与が、3/26～4/15分となる場合 ：「平成25年3月26日取得」 ・休職中の場合：「平成25年3月15日より病休中」 ：「休職給 4～5月 60%」</p> <p>○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する (例) ・29年4月～育児休業 ・28年11月～29年5月まで病休</p> <p>○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力する (例) 4月はパート扱いする者、5、6月は短時間労働者の場合：パート4月 短時間労働者5、6月</p>	G
53	70歳以上被用者届のみ提出	数字	0, 1	<p>70歳以上被用者算定基礎届のみを提出する場合は「1」を設定する</p> <p>※当該項目を設定した場合、備考欄項目1、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる</p>	H

(3) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図4. 7. 1-3の「健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届／厚生年金保険70歳以上被用者算定基礎届」に対応する作成例は、図4. 7. 1-2のとおりである。

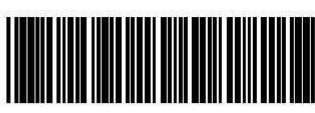
2225700,	21,	57,	ケマ,	1,	ケンホ	イ	ト	健	保	一	郎	,	5,	210527,	9,	01,	09,	0300,	0300,	9,	30,	09,	,,	,,	,,	,,			
ア	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	フ	ジ	,	ア	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	フ	ジ	ケ	コ	ク		
04,	05,	06,	31,	30,	31,	300000,	300000,	300000,	0,	0,	0,	300000,	300000,	300000,	900000,	300000,													
ク	ケ	コ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	リ	フ	ジ	ケ	コ	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
0,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	
リ	ル	ロ	ワ	ア	B	C	D	E	F	G	H																		

図4. 7. 1-2 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア
様式コード
2 2 2 5

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者報酬月額算定基礎届
70歳以上被用者算定基礎届



平成 年 月 日提出

提出者記入欄	事業所整理記号	フ	エ						
	事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。							
	事業所名称	〒							
	事業主氏名								
電話番号	()								
社会保険労務士記載欄									
氏名等									
受付印									

項目名	① 被保険者整理番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日		④ 適用年月		⑪ 個人番号 [基礎年金番号] ※70歳以上被用者の場合のみ		
	⑤ 従前の標準報酬月額		⑥ 従前改定月		⑦ 昇(降)給		⑧ 適及支払額		⑩ 備考		
	⑨ 給与支給月	⑩ 給与計算の基礎日数	⑪ 通算によるものの額		⑫ 現物によるものの額		⑬ 合計(⑪+⑫)		⑭ 総計(一定の基礎日数以上の月のみ)	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額
1	オ	キ	ク	ケ	カ	キ	ク	ケ	カ	キ	ク
	健康	千円	厚	千円	年	月	昇(降)給	1. 昇給 2. 降給	適及支払額	月	円
	⑨ 支給月	⑩ 日数	⑪ 通貨	円	⑫ 現物	円	⑬ 合計(⑪+⑫)	円	⑭ 総計	円	⑮ 平均額
	4	日	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	5	日	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	6	日	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	⑯ 修正平均額										
	⑰ 備考										
	1. 70歳以上被用者算定 (算定基礎月: 月 月)										
	2. 二以上勤務 3. 月額変更予定										
	4. 途中入社 5. 病休・育休・休職等										
	6. 短時間労働者(特定適用事業所等)										
	7. パート 8. 年間平均										
	9. その他 ()										
2											
3											
4											
5											

※ ⑨支給月とは、給与の対象となった計算月ではなく実際に給与の支払いを行った月となります。

- ◎ イ 都道府県コード カ 被保険者氏名(カナ) コ 適用年月日(元号) ク 従前の改定月(元号)
- ◎ H 70歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2225」ではなく「2225700」である。

図4. 7. 1-3 健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届/厚生年金保険70歳以上被用者算定基礎届 (平成30年10月現在)

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（適用年月）】，【年（適用年月）】，【月（適用年月）】，
【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（4月）】，【給与支給月（5月）】，
【給与支給月（6月）】，【給与計算の基礎日数（4月）】，【給与計算の基礎日数（5月）】，
【給与計算の基礎日数（6月）】，【通貨によるものの額（4月）】，
【通貨によるものの額（5月）】，【通貨によるものの額（6月）】，
【現物によるものの額（4月）】，【現物によるものの額（5月）】，
【現物によるものの額（6月）】，【合計（4月）】，【合計（5月）】，【合計（6月）】，
【総計】，【平均額】，【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，
【一連番号（年番）】，【備考欄項目1】，【70歳算定基礎月】，【備考欄項目2】，
【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，【備考欄項目6】，【備考欄項目7】，
【備考欄項目8】，【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【事業所番号（健保組合）】，
【被保険者証番号（健保組合）】，【健保固有項目】↓

図 4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

(2) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表4.7.2-1のとおりである。

表4.7.2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(1/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2225700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57-ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、 「1」と設定する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ケンポ△イチロウ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、 「ケンポ△ケ△イチロウ」と設定する	カ	

表4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(2/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	キ	
8	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する	ク
10	適	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
11	用 年 月	年	数字	2	当該届(媒体)を提出する年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	カ
12		月	数字	2	「09」を設定する	シ
13	従前の 標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(健保)が「300」の場合、 「0300」と設定する	ス	
14	従前の 標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(厚年)が「300」の場合、 「0300」と設定する	セ	

表4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(3/8)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉟
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	㊴
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊵
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給分の支払月を設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊶
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	昇(降)給により増(減)額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合 : 「1」 降給の場合 : 「2」 上記に該当しない場合は省略する	㊷
20	遡及支払月		数字	0, 2	4月から6月に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊸
21	遡及支払額		数字	0~7	4月から6月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する (例) 1万2千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	㊹
22	給 与 支 給 月	4月	数字	2	「04」を設定する	㊺
23		5月	数字	2	「05」を設定する	㊻
24		6月	数字	2	「06」を設定する	㊼

表 4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(4/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
25	給与計算の基礎日数	4月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㇏
26		5月	数字	2	(例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㇐
27		6月	数字	2	なお、以下に該当する場合は、「00」を設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が0日の場合	㇑
28	通貨によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する	㇒
29		5月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇓
30		6月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇔
31	現物によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のもので支払われるものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する	㇕
32		5月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇖
33		6月	数字	1~7		㇗
34	合計	4月	数字	1~7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する	㇘
35		5月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇙
36		6月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	㇚

表 4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(5/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
37	総計	数字	1～7	<p>給与計算の基礎日数が17日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が17日以上がない場合には、給与計算の基礎日数が15日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が11日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>(例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する</p>	㉠
38	平均額	数字	1～7	<p>4月、5月、6月のうち、給与計算の基礎日数が17日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が17日未満の場合は、15日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>また、短時間労働者の被保険者の場合は11日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する</p> <p>なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する</p> <p>また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する</p>	㉡
39	修正平均額	数字	0～7	<p>算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 29万6千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する</p>	㉢

表 4. 7. 2 - 1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(6 / 8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
40	個人番号	—	0	省略する	リ
41	基礎年 金番号	課所符号	—	省略する	ル
42	一連番号	—	0		レ
43	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ロ
44	70歳算定基礎月	数字	0, 2, 4	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が6月のみの場合には2文字を設定する (例) 6月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が5月と6月の場合には4文字を設定する (例) 5月と6月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	ワ
45	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ヲ
46	備考欄項目3	数字	0, 1	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	ア
47	備考欄項目4	数字	0, 1	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより1カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	イ
48	備考欄項目5	数字	0, 1	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	ウ
49	備考欄項目6	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	エ

表 4. 7. 2-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(7/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	備考欄項目7	数字	0, 1	<p>パートに該当する場合は「1」を設定する</p> <p>※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「1」を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者 	E
51	備考欄項目8	数字	0, 1	<p>年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する</p>	F
52	備考欄	漢字	0~37	<p>省略する</p>	G
		数字 英字 カナ	0~75	<p>なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する</p> <p>○現物給与の名称(定期券、住宅、食事等)を入力する (例) ・現物給与が住宅の場合:「住宅」</p> <p>○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する ※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう (例) ・給与締め日15日、当月25日支払、3月26日資格取得者、4月支払の給与が、3/26~4/15分となる場合 :「平成25年3月26日取得」 ・休職中の場合:「平成25年3月15日より病休中」 :「休職給 4~5月 60%」</p> <p>○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する (例) ・29年4月~育児休業 ・28年11月~29年5月まで病休</p> <p>○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者(短時間就労者)及び短時間労働者について入力する (例) 4月はパート扱いする者、5、6月は短時間労働者の場合:パート4月 短時間労働者5、6月</p>	
53	70歳以上被用者届のみ提出	-	0	<p>省略する</p>	H

表 4. 7. 2 - 1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(8 / 8)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
54	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	a
55	被保険者証番号 (健保組合)	数字 英字	1～7	任意の英数字を設定する	b
56	健保固有項目	漢字	0～40	健康保険組合固有項目の内容を設定する	c
		数字 英字 カナ	0～80		

(3) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの作成例は、図4.7.2-2のとおりである。

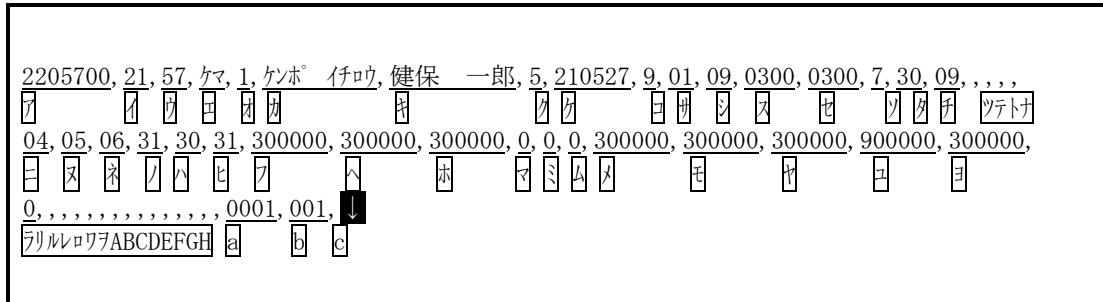


図4.7.2-2 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
 【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
 【年月日（生年月日）】，【元号（適用年月）】，【年（適用年月）】，【月（適用年月）】，
 【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
 【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
 【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（4月）】，【給与支給月（5月）】，
 【給与支給月（6月）】，【給与計算の基礎日数（4月）】，【給与計算の基礎日数（5月）】，
 【給与計算の基礎日数（6月）】，【通貨によるものの額（4月）】，
 【通貨によるものの額（5月）】，【通貨によるものの額（6月）】，
 【現物によるものの額（4月）】，【現物によるものの額（5月）】，
 【現物によるものの額（6月）】，【合計（4月）】，【合計（5月）】，【合計（6月）】，
 【総計】，【平均額】，【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，
 【一連番号（年番）】，【備考欄項目1】，【70歳算定基礎月】，【備考欄項目2】，
 【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，【備考欄項目6】，【備考欄項目7】，
 【備考欄項目8】，【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【基金番号】，
 【事業所番号（基金）】，【加入員番号】，【加算適用の有無】，【加算給与月額】，
 【標準給与月額】，【第2加算給与月額】，【第2加算標準給与月額】，【基金固有項目1】，
 【基金固有項目2】，【基金固有項目3】，【基金固有項目4】，【基金固有項目5】，
 【基金固有項目6】，【基金固有項目7】，【基金固有項目8】，【基金固有項目9】，
 【基金固有項目10】 ↓

図4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

(2) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表4. 7. 3-1のとおりである。

表4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(1/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2225700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57-ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する	オ	
				(例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、 「1」と設定する		
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する	カ	
				(例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ケンポ Δイチロウ」と設定する		
				被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、 「ケンポ ΔケΔイチロウ」と設定する		

表 4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(2/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	キ	
8	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する	ク
10	適	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
11	用 年 月	年	数字	2	当該届(媒体)を提出する年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	カ
12		月	数字	2	「09」を設定する	シ
13	従前の 標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(健保)が「300」の場合、 「0300」と設定する	ス	
14	従前の 標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(厚年)が「300」の場合、 「0300」と設定する	セ	

表4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(3/10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉞
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	㉟
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊱
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給分の支払月を設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊲
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	昇(降)給により増(減)額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合 : 「1」 降給の場合 : 「2」 上記に該当しない場合は省略する	㊳
20	遡及支払月		数字	0, 2	4月から6月に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊴
21	遡及支払額		数字	0~7	4月から6月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する (例) 1万2千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	㊵
22	給 与 支 給 月	4月	数字	2	「04」を設定する	㊶
23		5月	数字	2	「05」を設定する	㊷
24		6月	数字	2	「06」を設定する	㊸

表4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4/10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
25	給与計算の基礎日数	4月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㇏
26		5月	数字	2	(例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㇐
27		6月	数字	2	なお、以下に該当する場合は、「00」を設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が0日の場合	㇑
28	通貨によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する	㇒
29		5月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇓
30		6月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇔
31	現物によるものの額	4月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する	㇕
32		5月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	㇖
33		6月	数字	1~7		㇗
34	合計	4月	数字	1~7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する	㇘
35		5月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇙
36		6月	数字	1~7	なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	㇚

表4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
37	総計	数字	1～7	<p>給与計算の基礎日数が17日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が17日以上がない場合には、給与計算の基礎日数が15日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が11日以上月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する</p> <p>(例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する</p>	㊦
38	平均額	数字	1～7	<p>4月、5月、6月のうち、給与計算の基礎日数が17日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が17日未満の場合は、15日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>また、短時間労働者の被保険者の場合は11日以上月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する</p> <p>なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する</p> <p>また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する</p>	㊧
39	修正平均額	数字	0～7	<p>算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する(単位：円、1円未満切捨て)</p> <p>(例) 29万6千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する</p>	㊨

表 4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
40	個人番号	—	0	省略する	リ
41	基礎 年金 番号	課所符号	—	省略する	ル
42		一連番号	—		レ
43	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ロ
44	70歳算定基礎月	数字	0, 2, 4	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が6月のみの場合には2文字を設定する (例) 6月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が5月と6月の場合には4文字を設定する (例) 5月と6月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	ワ
45	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ヅ
46	備考欄項目3	数字	0, 1	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	A
47	備考欄項目4	数字	0, 1	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより1カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	B
48	備考欄項目5	数字	0, 1	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	C
49	備考欄項目6	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	D

表 4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(7/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	備考欄項目7	数字	0, 1	<p>パートに該当する場合は「1」を設定する</p> <p>※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「1」を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者 	E
51	備考欄項目8	数字	0, 1	<p>年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する</p>	F
52	備考欄	漢字	0～37	<p>省略する</p>	G
		数字 英字 カナ	0～75	<p>なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する</p> <p>○現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する (例) ・現物給与が住宅の場合：「住宅」</p> <p>○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する</p> <p>※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう (例) ・給与締め日15日、当月25日支払、3月26日資格取得者、4月支払の給与が、3/26～4/15分となる場合 ：「平成25年3月26日取得」 ・休職中の場合：「平成25年3月15日より病休中」 ：「休職給 4～5月 60%」</p> <p>○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する (例) ・29年4月～育児休業 ・28年11月～29年5月まで病休</p> <p>○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力する (例) 4月はパート扱いする者、5、6月は短時間労働者の場合：パート4月 短時間労働者5、6月</p>	
53	70歳以上被用者届のみ提出	—	0	<p>省略する</p>	H

以下、厚生年金基金独自項目欄

表4. 7. 3-1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(8/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
54	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	a
55	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	b
56	加入員番号	数字 英字	1～11	加入員手帳の番号を設定する	c
57	加算適用の有無	数字	0～2	加算適用の有無を設定する (例) 有: 「1」または「01」 無: 「0」または「00」	d
58	加算給与月額	数字	0～7	加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	e
59	標準給与月額	数字	0～4	標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	f
60	第2加算給与月額	数字	0～7	第2加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	g
61	第2加算標準給与月額	数字	0～4	第2標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	h

表 4. 7. 3 - 1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(9/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
62	基金固有項目1	数字	0～5	厚生年金基金固有項目1の内容を設定する	i
		数字 英字 カナ	0～10		
63	基金固有項目2	数字	0～5	厚生年金基金固有項目2の内容を設定する	j
		数字 英字 カナ	0～10		
64	基金固有項目3	数字	0～5	厚生年金基金固有項目3の内容を設定する	k
		数字 英字 カナ	0～10		
65	基金固有項目4	数字	0～5	厚生年金基金固有項目4の内容を設定する	l
		数字 英字 カナ	0～10		
66	基金固有項目5	数字	0～5	厚生年金基金固有項目5の内容を設定する	m
		数字 英字 カナ	0～10		
67	基金固有項目6	数字	0～5	厚生年金基金固有項目6の内容を設定する	n
		数字 英字 カナ	0～10		
68	基金固有項目7	数字	0～5	厚生年金基金固有項目7の内容を設定する	o
		数字 英字 カナ	0～10		

表 4. 7. 3 - 1 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(10/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
69	基金固有項目8	数字	0～5	厚生年金基金固有項目8の内容を設定する	p
		数字 英字 カナ	0～10		
70	基金固有項目9	数字	0～5	厚生年金基金固有項目9の内容を設定する	q
		数字 英字 カナ	0～10		
71	基金固有項目10	数字	0～5	厚生年金基金固有項目10の内容を設定する	r
		数字 英字 カナ	0～10		

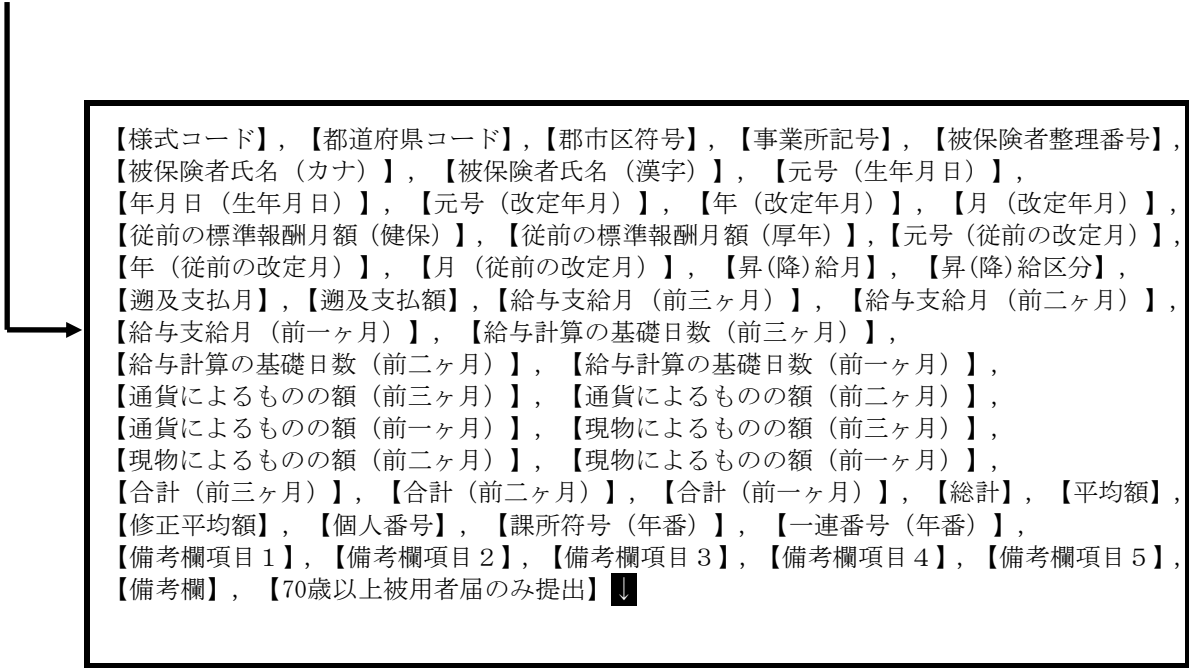
※項番57、59、61、62～71については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

(3) 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの作成例は、図4. 7. 3-2のとおりである。

2225700,	21,	57,	ケマ,	1,	ケンボ	イ	ト	健	保	一	郎	,	5,	210527,	9,	01,	09,	0300,	0300,	7,	30,	09,	,,	,,	,,	
ア	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	フ	ジ	,	ア	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	フ	ジ	ケ	コ
04,	05,	06,	31,	30,	31,	300000,	300000,	300000,	0,	0,	0,	300000,	300000,	300000,	900000,	300000,										
日	月	日	日	日	日	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円										
0,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,
リ	ル	ロ	ワ	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o

図4. 7. 3-2 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例



【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（改定年月）】，【年（改定年月）】，【月（改定年月）】，
【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（前三ヶ月）】，【給与支給月（前二ヶ月）】，
【給与支給月（前一ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前三ヶ月）】，
【給与計算の基礎日数（前二ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前一ヶ月）】，
【通貨によるものの額（前三ヶ月）】，【通貨によるものの額（前二ヶ月）】，
【通貨によるものの額（前一ヶ月）】，【現物によるものの額（前三ヶ月）】，
【現物によるものの額（前二ヶ月）】，【現物によるものの額（前一ヶ月）】，
【合計（前三ヶ月）】，【合計（前二ヶ月）】，【合計（前一ヶ月）】，【総計】，【平均額】，
【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，
【備考欄項目1】，【備考欄項目2】，【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，
【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】 ↓

図4. 8. 1-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

(2) 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表4.8.1-1のとおりである。

表4.8.1-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(1/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2221700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「17」の場合、 「17」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン サブロウ」の場合、 「コネ サブ ロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K サブロウ」の場合、 「コネ ケイ サブ ロウ」と設定する	カ	

表 4. 8. 1 - 1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(2/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名 (漢字)		漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合</p>	キ
8	生 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
9		年月日	数字	6	<p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和35年7月8日の場合、 「350708」と設定する</p>	ク
10	改 定 年 月	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成：「7」 ・令和：「9」 	コ
11		年	数字	2	<p>(例) 令和1年の場合、 「01」と設定する</p>	カ
12		月	数字	2	<p>改定後の標準報酬月額が適用される月を2文字で設定する</p> <p>(例) 12月の場合、 「12」と設定する</p>	シ
13	従 前 の 標 準 報 酬 月 額	従前の標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	<p>現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する</p> <p>(例) 標準報酬月額(健保)が「260」の場合、 「0260」と設定する</p>	ス
14		従前の標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	<p>現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する</p> <p>(例) 標準報酬月額(厚年)が「260」の場合、 「0260」と設定する</p>	セ

表4. 8. 1-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(3/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊟
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	㊠
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊡
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給のあった月の支払月を設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊢
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	以下の昇(降)給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	㊣
20	遡及支払月		数字	0, 2	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊤
21	遡及支払額		数字	0~7	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	㊦
22	給 与 支 給 月	前三ヶ月	数字	2	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する (例1) 改定年月の月が12月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する (例2) 改定年月の月が3月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	㊧
23		前二ヶ月	数字	2		㊨
24		前一ヶ月	数字	2		㊩

表4. 8. 1-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(4/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
25	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㊦
26		前二ヶ月	数字	2	・一般の被保険者(短時間労働者以外)の場合、17~31日の範囲で設定する	㊧
27		前一ヶ月	数字	2	・短時間労働者(特定適用事業所のみ)の場合、11~31日の範囲で設定する (例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㊨
28	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する	㊩
29		前二ヶ月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㊪
30		前一ヶ月	数字	1~7	なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊫
31	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する	㊬
32		前二ヶ月	数字	1~7	なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㊭
33		前一ヶ月	数字	1~7	(例) 報酬が無い場合、「0」または「0000000」と設定する	㊮

表 4. 8. 1-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(5/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
34	合計	前三ヶ月	数字	1～7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄨ
35		前二ヶ月	数字	1～7		ㄜ
36		前一ヶ月	数字	1～7		ㄝ
37	総計	数字	1～7	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定する (例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄚ	
38	平均額	数字	1～7	総計を3で割った額を設定する (単位：円、1円未満切捨て) (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、17日(短時間労働者の場合11日)未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ㄛ	
39	修正平均額	数字	0～7	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する(単位：円、1円未満切捨て) (例) 35万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額(昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給(降給)月前の継続した9か月及び昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額)を設定する 上記以外の場合は省略する	ㄞ	
40	個人番号	数字	0, 1 2	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	ㄟ	

表 4. 8. 1 - 1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(6/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
4 1	基礎年金番号	課所符号	数字	0, 4	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する	ル
4 2		一連番号	数字	0, 6	(例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	レ
4 3	備考欄項目1		数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する ただし、改定年月の前3カ月以内に70歳以上被用者に該当した者である場合は「1」を設定しない	ロ
4 4	備考欄項目2		数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	リ
4 5	備考欄項目3		数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	リ
4 6	備考欄項目4		漢字 数字 英字 カナ	0～37 0～75	・基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する ・その他、月額変更該当することになった具体的な理由を記入する	ア
4 7	備考欄項目5		数字	0, 1	70歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	ビ
4 8	備考欄		漢字 数字 英字 カナ	0～37 0～75	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称(定期券、住宅、食事等)を入力する (例) ・現物給与が住宅の場合:「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 1月は一般被保険者2、3月は短時間労働者の場合: 「2、3月 短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	シ
4 9	70歳以上被用者届のみ提出		数字	0, 1	70歳以上被用者月額変更届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目1、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる	ド

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（改定年月）】，【年（改定年月）】，【月（改定年月）】，
【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（前三ヶ月）】，【給与支給月（前二ヶ月）】，
【給与支給月（前一ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前三ヶ月）】，
【給与計算の基礎日数（前二ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前一ヶ月）】，
【通貨によるものの額（前三ヶ月）】，【通貨によるものの額（前二ヶ月）】，
【通貨によるものの額（前一ヶ月）】，【現物によるものの額（前三ヶ月）】，
【現物によるものの額（前二ヶ月）】，【現物によるものの額（前一ヶ月）】，
【合計（前三ヶ月）】，【合計（前二ヶ月）】，【合計（前一ヶ月）】，【総計】，【平均額】，
【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，
【備考欄項目1】，【備考欄項目2】，【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，
【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【事業所番号（健保組合）】，
【被保険者証番号（健保組合）】，【健保固有項目】↓

図4. 8. 2-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

(2) 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表4. 8. 2-1のとおりである。

表4. 8. 2-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(1/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2221700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「17」の場合、 「17」と設定する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン サブロウ」の場合、 「コネン サブロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K サブロウ」の場合、 「コネン ケイ サブロウ」と設定する	カ	

表4. 8. 2-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(2/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名 (漢字)		漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合 	キ
8	生 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
9		年月日	数字	6	<p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和35年7月8日の場合、 「350708」と設定する</p>	ク
10	改 定 年 月	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成：「7」 ・令和：「9」 	コ
11		年	数字	2	<p>(例) 令和1年の場合、 「01」と設定する</p>	カ
12		月	数字	2	<p>改定後の標準報酬月額が適用される月を2文字で設定する</p> <p>(例) 12月の場合、 「12」と設定する</p>	シ
13	従前の標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	<p>現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する</p> <p>(例) 標準報酬月額(健保)が「260」の場合、 「0260」と設定する</p>	ス	
14	従前の標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	<p>現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する</p> <p>(例) 標準報酬月額(厚年)が「260」の場合、 「0260」と設定する</p>	セ	

表4. 8. 2-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(3/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊦
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	㊧
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊨
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給のあった月の支払月を設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊩
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	以下の昇(降)給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	㊪
20	遡及支払月		数字	0, 2	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊫
21	遡及支払額		数字	0~7	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	㊬
22	給 与 支 給 月	前三ヶ月	数字	2	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する (例1) 改定年月の月が12月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する (例2) 改定年月の月が3月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	㊭
23		前二ヶ月	数字	2		㊮
24		前一ヶ月	数字	2		㊯

表 4. 8. 2-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(4/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
25	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㇏
26		前二ヶ月	数字	2	・一般の被保険者(短時間労働者以外)の場合、17~31日の範囲で設定する ・短時間労働者(特定適用事業所のみ)の場合、11~31日の範囲で設定する	㇐
27		前一ヶ月	数字	2	(例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㇑
28	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する	㇒
29		前二ヶ月	数字	1~7	(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇓
30		前一ヶ月	数字	1~7	なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㇔
31	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する	㇕
32		前二ヶ月	数字	1~7	なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㇖
33		前一ヶ月	数字	1~7	(例) 報酬が無い場合、「0」または「0000000」と設定する	㇗

表4. 8. 2-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(5/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
34	合計	前三ヶ月	数字	1~7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄨ
35		前二ヶ月	数字	1~7		ㄜ
36		前一ヶ月	数字	1~7		ㄝ
37	総計	数字	1~7	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定してください (例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄨ	
38	平均額	数字	1~7	総計を3で割った額を設定する (単位:円、1円未満切捨て) (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、17日(短時間労働者の場合11日)未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ㄨ	
39	修正平均額	数字	0~7	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する(単位:円、1円未満切捨て) (例) 35万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額(昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給(降給)月前の継続した9か月及び昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額)を設定する 上記以外の場合は省略する	ㄨ	
40	個人番号	—	0	省略する	ㄨ	

表 4. 8. 2-1 月額変更届・70 歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(6/7)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
4 1	基礎年 金番号	課所符号	—	0	省略する	㊦
4 2		一連番号	—	0		㊧
4 3	備考欄項目 1	数字	0, 1	70 歳以上被用者の場合は「1」を設定する	㊨	
4 4	備考欄項目 2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	㊩	
4 5	備考欄項目 3	数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	㊪	
4 6	備考欄項目 4	漢字	0～3 7	<ul style="list-style-type: none"> 基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する その他、月額変更に該当することになった具体的な理由を記入する 	㊫	
		数字 英字 カナ	0～7 5			
4 7	備考欄項目 5	数字	0, 1	70 歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	㊬	
4 8	備考欄	漢字	0～3 7	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する (例) ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 1 月は一般被保険者 2、3 月は短時間労働者の場合： 「2、3 月 短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	㊭	
		数字 英字 カナ	0～7 5			
4 9	70 歳以上被用者 届のみ提出	—	0	省略する	㊮	

表4. 8. 2-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(7/7)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	a
51	被保険者証番号 (健保組合)	数字 英字	1～7	任意の英数字を設定する	b
52	健保固有項目	漢字	0～40	健康保険組合固有項目の内容を設定する	c
		数字 英字 カナ	0～80		

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
 【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
 【年月日（生年月日）】，【元号（改定年月）】，【年（改定年月）】，【月（改定年月）】，
 【従前の標準報酬月額（健保）】，【従前の標準報酬月額（厚年）】，【元号（従前の改定月）】，
 【年（従前の改定月）】，【月（従前の改定月）】，【昇（降）給月】，【昇（降）給区分】，
 【遡及支払月】，【遡及支払額】，【給与支給月（前三ヶ月）】，【給与支給月（前二ヶ月）】，
 【給与支給月（前一ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前三ヶ月）】，
 【給与計算の基礎日数（前二ヶ月）】，【給与計算の基礎日数（前一ヶ月）】，
 【通貨によるものの額（前三ヶ月）】，【通貨によるものの額（前二ヶ月）】，
 【通貨によるものの額（前一ヶ月）】，【現物によるものの額（前三ヶ月）】，
 【現物によるものの額（前二ヶ月）】，【現物によるものの額（前一ヶ月）】，
 【合計（前三ヶ月）】，【合計（前二ヶ月）】，【合計（前一ヶ月）】，【総計】，【平均額】，
 【修正平均額】，【個人番号】，【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，
 【備考欄項目1】，【備考欄項目2】，【備考欄項目3】，【備考欄項目4】，【備考欄項目5】，
 【備考欄】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【基金番号】，【事業所番号（基金）】，
 【加入員番号】，【加算適用の有無】，【加算給与月額】，【標準給与月額】，
 【第2加算給与月額】，【第2加算標準給与月額】，【基金固有項目1】，【基金固有項目2】，
 【基金固有項目3】，【基金固有項目4】，【基金固有項目5】，【基金固有項目6】，
 【基金固有項目7】，【基金固有項目8】，【基金固有項目9】，【基金固有項目10】 ↓

図4. 8. 3-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

(2) 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表4.8.3-1のとおりである。

表4.8.3-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(1/9)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2221700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「17」の場合、 「17」と設定する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン サブロウ」の場合、 「コネン サブロウ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン K サブロウ」の場合、 「コネン ケイ サブロウ」と設定する	カ	

表4. 8. 3-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(2/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名 (漢字)		漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	キ
8	生 年 月 日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和35年7月8日の場合、 「350708」と設定する	ケ
10	改 定 年 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
11		年	数字	2	(例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	カ
12		月	数字	2	改定後の標準報酬月額が適用される月を2文字で設定する (例) 12月の場合、 「12」と設定する	シ
13	従 前 の 標 準 報 酬 月 額	従前の標準報酬月額 (健保)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(健保)を4文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(健保)が「260」の場合、 「0260」と設定する	ス
14		従前の標準報酬月額 (厚年)	数字	0, 4	現在の標準報酬月額(厚年)を4文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する (例) 標準報酬月額(厚年)が「260」の場合、 「0260」と設定する	セ

表4. 8. 3-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(3/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
15	従 前 の 改 定 月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊟
16		年	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した年(和暦)を2文字で設定する (例) 令和1年の場合、 「01」と設定する	㊿
17		月	数字	2	現在の標準報酬月額に改定した月を2文字で設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊿
18	昇(降)給月		数字	0, 2	昇給または降給のあった月の支払月を設定する (例) 9月の場合、 「09」と設定する	㊿
19	昇(降)給区分		数字	0, 1	以下の昇(降)給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	㊿
20	遡及支払月		数字	0, 2	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を2文字で設定する (例) 4月の場合、 「04」と設定する	㊿
21	遡及支払額		数字	0~7	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	㊿
22	給 与 支 給 月	前三ヶ月	数字	2	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する (例1) 改定年月の月が12月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する (例2) 改定年月の月が3月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	㊿
23		前二ヶ月	数字	2		㊿
24		前一ヶ月	数字	2		㊿

表 4. 8. 3-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4/9)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例		
25	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	2	給料や賃金を計算する基礎となる日数を2文字で設定する	㇀	
26		前二ヶ月	数字	2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の被保険者(短時間労働者以外)の場合、17~31日の範囲で設定する ・短時間労働者(特定適用事業所のみ)の場合、11~31日の範囲で設定する 	㇁	
27		前一ヶ月	数字	2		(例) 日給者で給与計算の基礎日数が31日の場合、「31」と設定する	㇂
28	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年3回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨(金銭)で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する (例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇃	
29		前二ヶ月	数字	1~7		(例) 30万円の場合、「300000」または「0300000」と設定する	㇄
30		前一ヶ月	数字	1~7		なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㇅
31	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	1~7	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨(金銭)以外のものについて、健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、1千万円以上の場合「9999999」を設定する	㇆	
32		前二ヶ月	数字	1~7		(例) 報酬が無い場合、「0」または「0000000」と設定する	㇇
33		前一ヶ月	数字	1~7		(例) 報酬が無い場合、「0」または「0000000」と設定する	㇈

表4. 8. 3-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5/9)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
34	合計	前三ヶ月	数字	1～7	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄨ
35		前二ヶ月	数字	1～7		ㄜ
36		前一月	数字	1～7		ㄝ
37	総計	数字	1～7	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定してください (例) 90万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㄨ	
38	平均額	数字	1～7	総計を3で割った額を設定する (単位：円、1円未満切捨て) (例) 30万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが1千万円を超えている場合は、1千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が1千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、17日(短時間労働者の場合11日)未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ㄨ	
39	修正平均額	数字	0～7	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する(単位：円、1円未満切捨て) (例) 35万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額(昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給(降給)月前の継続した9か月及び昇給(降給)月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額)を設定する 上記以外の場合は省略する	ㄨ	
40	個人番号	—	0	省略する	ㄨ	

表 4. 8. 3-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
4 1	基礎年金番号	課所符号	—	0	省略する	㇀
4 2		一連番号	—	0		㇁
4 3	備考欄項目 1		数字	0, 1	70 歳以上被用者の場合は「1」を設定する	㇂
4 4	備考欄項目 2		数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	㇃
4 5	備考欄項目 3		数字	0, 1	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	㇄
4 6	備考欄項目 4		漢字	0～3 7	<ul style="list-style-type: none"> 基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する その他、月額変更に該当することになった具体的な理由を記入する 	㇅
			数字 英字 カナ	0～7 5		
4 7	備考欄項目 5		数字	0, 1	70 歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	㇆
4 8	備考欄		漢字	0～3 7	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する（例） <ul style="list-style-type: none"> 現物給与が住宅の場合：「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 1 月は一般被保険者 2、3 月は短時間労働者の場合： 「2、3 月 短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	㇇
			数字 英字 カナ	0～7 5		
4 9	70歳以上被用者届のみ提出		—	0	省略する	㇈

表4. 8. 3-1月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(7/9)

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	a
51	事業所番号 (基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	b
52	加入員番号	数字 英字	1～11	加入員手帳の番号を設定する	c
53	加算適用の有無	数字	0～2	加算適用の有無を設定する (例) 有: 「1」または「01」 無: 「0」または「00」	d
54	加算給与月額	数字	0～7	加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	e
55	標準給与月額	数字	0～4	標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	f
56	第2加算給与月額	数字	0～7	第2加算給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	g
57	第2加算標準給与月額	数字	0～4	第2加算標準給与月額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	h

表 4. 8. 3-1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(8/9)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
58	基金固有項目1	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目1の内容を設定する	i
		数字 英字 カナ	0～10		
59	基金固有項目2	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目2の内容を設定する	j
		数字 英字 カナ	0～10		
60	基金固有項目3	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目3の内容を設定する	k
		数字 英字 カナ	0～10		
61	基金固有項目4	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目4の内容を設定する	l
		数字 英字 カナ	0～10		
62	基金固有項目5	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目5の内容を設定する	m
		数字 英字 カナ	0～10		
63	基金固有項目6	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目6の内容を設定する	n
		数字 英字 カナ	0～10		
64	基金固有項目7	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目7の内容を設定する	o
		数字 英字 カナ	0～10		
65	基金固有項目8	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目8の内容を設定する	p
		数字 英字 カナ	0～10		

表 4. 8. 3 - 1 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(9/9)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
66	基金固有項目9	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目9の内容を設定する	□q
		数字 英字 カナ	0～10		
67	基金固有項目 10	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目10の内容を設定する	□r
		数字 英字 カナ	0～10		

※項番53、55、57、58～67については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

(3) 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの作成例は、図4. 8. 3-2のとおりである。

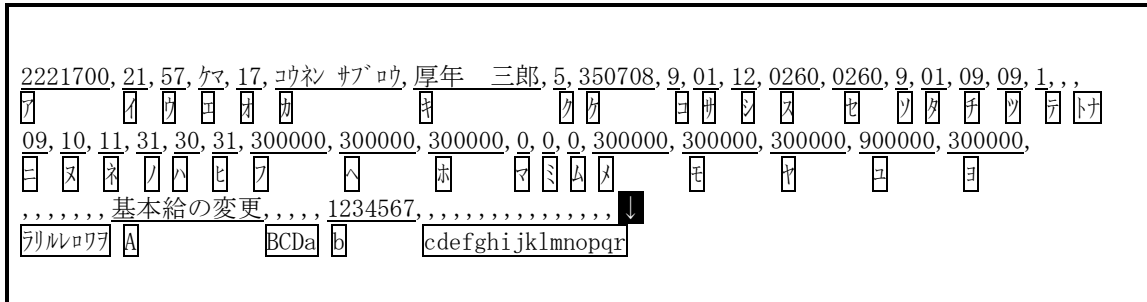


図4. 8. 3-2 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

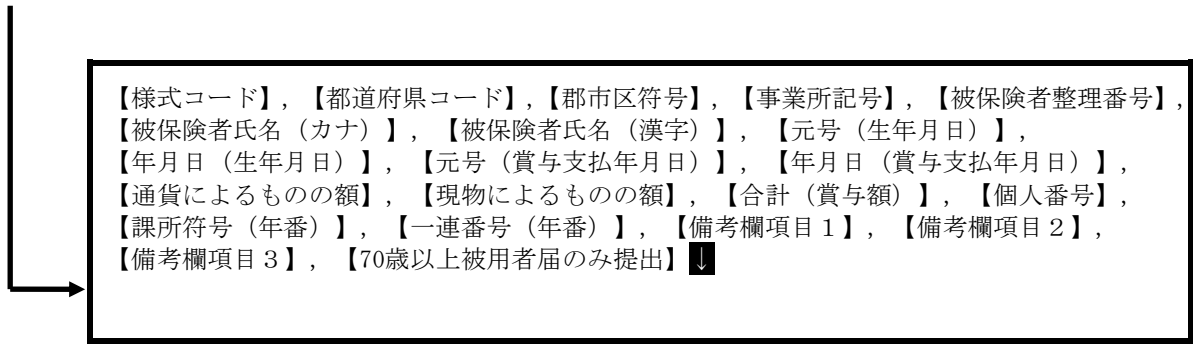


図4. 9. 1-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

(2) 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの
各項目の説明は、表4. 9. 1-1のとおりである。

表4. 9. 1-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 (1/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2265700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ケンポ Δイチロウ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、 「ケンポ Δケイイチロウ」と設定する	カ	

表4. 9. 1-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(2/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合</p>	キ	
8	生 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
9		年月日	数字	6	<p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する</p>	ク
10	賞 与 支 払 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成：「7」 ・令和：「9」 	コ
11		年月日	数字	6	<p>賞与の支給を行った年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 令和1年7月25日の場合、 「010725」と設定する</p>	ク
12	通貨によるもの の額	数字	1～7	<p>通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する</p> <p>(例) 60万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する</p> <p>なお、賞与が1千万円以上の場合「9999999」を設定する</p>	シ	

表4. 9. 1-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明 (3/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	現物によるものの額	数字	1～7	賞与のうち物品など金銭(通貨)以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ㇼ
14	合計(賞与額)	数字	1～7	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てした額を設定する (例) 「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ㇽ
15	個人番号	数字	0, 1 2	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	ㇾ
16	基礎年金番号 課所符号	数字	0, 4	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する	ㇿ
17	基礎年金番号 一連番号	数字	0, 6	(例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㈀
18	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	㈁
19	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	㈂
20	備考欄項目3	数字	0, 2	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する (例) 5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	㈃

表 4. 9. 1-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(4/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
21	70歳以上被用者届のみ提出	数字	0, 1	70歳以上被用者賞与支払届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目1、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる	<input type="checkbox"/>

(3) 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図4. 9. 1-3の「健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届／厚生年金保険70歳以上被用者賞与支払届」に対応する

作成例は、図4. 9. 1-2のとおりである。

2265700,	21,	57,	ケマ,	1,	ケンホ	イサ,	健保	一郎,	5,	210527,	9,	010725,	600000,	0,	600000,	,,	,,	,,	,,	,,	ソチツテナ
----------	-----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	----	---------	----	---------	---------	----	---------	----	----	----	----	----	-------

図4. 9. 1-2 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア
様式コード
2 2 6 5

健康保険 被保険者賞与支払届
厚生年金保険
厚生年金保険 70歳以上被用者賞与支払届



平成 年 月 日提出

提出者記入欄	事業所整理記号	フ	エ						
	事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。							
	事業所名称	〒							
	事業主氏名								
	電話番号	()							

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等

印

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	⑦ 個人番号 [基礎年金番号] ※70歳以上被用者の場合のみ
	④ 賞与支払年月日	⑤ 賞与支払額	⑥ 賞与額(千円未満は切捨て)	⑧ 備考

共通	④ 賞与支払年月日(共通)	7.平成	年	月	日	←1枚ずつ必ず記入してください。			
1	①	オ	キ	ク	ケ	⑦	⑧	⑨	⑩
	④	コ	カ	ク	ケ	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑤	シ	ス	セ	ソ	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑥	円	円	円	円	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑦	7.平成	年	月	日	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑧	000	000	000	000	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑨	タ	チ	ツ	テ	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑩	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑪	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑫	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑬	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑭	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑮	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑯	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑰	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑱	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑲	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑳	ト	ト	ト	ト	⑦	⑧	⑨	⑩

- ◎ イ 都道府県コード カ 被保険者氏名 (カナ) ナ 70歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2265」ではなく「2265700」である。

図4. 9. 1-3 健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届/厚生年金保険70歳以上被用者賞与支払届 (平成30年10月現在)

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（賞与支払年月日）】，【年月日（賞与支払年月日）】，
【通貨によるものの額】，【現物によるものの額】，【合計（賞与額）】，【個人番号】，
【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，【備考欄項目1】，【備考欄項目2】，
【備考欄項目3】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【事業所番号（健保組合）】，
【被保険者証番号（健保組合）】，【健保固有項目】↓

図4. 9. 2-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

(2) 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの各項目の説明は、表4.9.2-1のとおりである。

表4.9.2-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 (1/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2265700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ケンポ△イチロウ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、 「ケンポ△ケイ△イチロウ」と設定する	カ	

表4. 9. 2-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 (2/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合</p>	キ	
8	生 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
9		年月日	数字	6	<p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する</p>	ク
10	賞 与 支 払 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成：「7」 ・令和：「9」 	コ
11		年月日	数字	6	<p>賞与の支給を行った年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 令和1年7月25日の場合、 「010725」と設定する</p>	カ
12	通貨によるもの の額	数字	1～7	<p>通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する</p> <p>(例) 60万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する</p> <p>なお、賞与が1千万円以上の場合「9999999」を設定する</p>	シ	

表4. 9. 2-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明 (3/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	現物によるものの額	数字	1～7	賞与のうち物品など金銭(通貨)以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ス
14	合計(賞与額)	数字	1～7	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てた額を設定する (例) 「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	セ
15	個人番号	—	0	省略する	ソ
16	基礎年金課所符号	—	0	省略する	タ
17	基礎年金一連番号	—	0		チ
18	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ツ
19	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	テ
20	備考欄項目3	数字	0, 2	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する (例) 5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	ト

表 4. 9. 2-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(4/4)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
21	70歳以上被用者届のみ提出	—	0	省略する	ナ

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
22	事業所番号 (健保組合)	数字 英字	1～4	健康保険組合の事業所番号を設定する	A
23	被保険者証番号 (健保組合)	数字 英字	1～7	任意の英数字を設定する	B
24	健保固有項目	漢字	0～40	健康保険組合固有項目の内容を設定する	C
		数字 英字 カナ	0～80		

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（生年月日）】，
【年月日（生年月日）】，【元号（賞与支払年月日）】，【年月日（賞与支払年月日）】，
【通貨によるものの額】，【現物によるものの額】，【合計（賞与額）】，【個人番号】，
【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，【備考欄項目1】，【備考欄項目2】，
【備考欄項目3】，【70歳以上被用者届のみ提出】，【基金番号】，【事業所番号（基金）】，
【加入員番号】，【加算適用の有無】，【加算賞与額】，【標準賞与額】，【第2加算賞与額】，
【第2加算標準賞与額】，【基金固有項目1】，【基金固有項目2】，【基金固有項目3】，
【基金固有項目4】，【基金固有項目5】，【基金固有項目6】，【基金固有項目7】，
【基金固有項目8】，【基金固有項目9】，【基金固有項目10】 ↓

図4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

(2) 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの各項目の説明は、表4.9.3-1のとおりである。

表4.9.3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (1/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2265700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」とおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「57ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ケマ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4		エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、「ケンポ△イチロウ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、「ケンポ△ケイ△イチロウ」と設定する	カ	

表4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (2/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0～12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する</p> <p>被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合</p>	キ	
8	生 年	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」 	ク
9	月 日	年月日	数字	6	<p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 昭和21年5月27日の場合、 「210527」と設定する</p>	ク
10	賞 与 支 払 年 月 日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成：「7」 ・令和：「9」 	コ
11	賞 与 支 払 年 月 日	年月日	数字	6	<p>賞与の支給を行った年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 令和1年7月25日の場合、 「010725」と設定する</p>	カ
12	通貨によるもの の額	数字	1～7	<p>通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する</p> <p>(例) 60万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する</p> <p>なお、賞与が1千万円以上の場合「9999999」を設定する</p>	シ	

表4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (3/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
13	現物によるものの額	数字	1～7	賞与のうち物品など金銭(通貨)以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第46条第1項もしくは第2項または厚生年金保険法第25条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ス
14	合計(賞与額)	数字	1～7	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てした額を設定する (例) 「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、1千万円以上の場合は「9999999」を設定する	セ
15	個人番号	—	0	省略する	ソ
16	基礎年金課所符号	—	0	省略する	タ
17	基礎年金一連番号	—	0		チ
18	備考欄項目1	数字	0, 1	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ツ
19	備考欄項目2	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	テ
20	備考欄項目3	数字	0, 2	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する (例) 5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	ト

表4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
21	70歳以上被用者届のみ提出	-	0	省略する	ナ

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
22	基金番号	数字	1～4	厚生年金基金の基金番号を設定する	A
23	事業所番号(基金)	数字 英字	1～7	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B
24	加入員番号	数字 英字	1～11	加入員手帳の番号を設定する	C
25	加算適用の有無	数字	0～2	加算適用の有無を設定する (例) 有: 「1」または「01」 無: 「0」または「00」	D
26	加算賞与額	数字	0～7	加算賞与額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	E
27	標準賞与額	数字	0～4	標準賞与額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	F


表4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
28	第2加算賞与額	数字	0～7	第2加算賞与額を設定する (例) 24万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999999」を設定する	G
29	第2加算標準賞与額	数字	0～4	第2加算標準賞与額を設定する (例) 24万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が1千万円以上の場合「9999」を設定する	H
30	基金固有項目1	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目1の内容を設定する	I
		数字 英字 カナ	0～10		
31	基金固有項目2	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目2の内容を設定する	J
		数字 英字 カナ	0～10		
32	基金固有項目3	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目3の内容を設定する	K
		数字 英字 カナ	0～10		
33	基金固有項目4	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目4の内容を設定する	L
		数字 英字 カナ	0～10		
34	基金固有項目5	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目5の内容を設定する	M
		数字 英字 カナ	0～10		
35	基金固有項目6	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目6の内容を設定する	N
		数字 英字 カナ	0～10		

表4. 9. 3-1 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
36	基金固有項目7	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目7の内容を設定する	□O
		数字 英字 カナ	0～10		
37	基金固有項目8	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目8の内容を設定する	□P
		数字 英字 カナ	0～10		
38	基金固有項目9	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目9の内容を設定する	□Q
		数字 英字 カナ	0～10		
39	基金固有項目 10	漢字	0～5	厚生年金基金固有項目10の内容を設定する	□R
		数字 英字 カナ	0～10		

※項番25、27、29、30～39については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【事業主確認欄】，
 【元号（事業主等受付年月日）】，【年月日（事業主等受付年月日）】，【被保険者整理番号】，
 【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（被保険者生年月日）】，
 【年月日（被保険者生年月日）】，【被保険者の性別】，【被保険者の個人番号】，
 【課所符号（被保険者の年番）】，【一連番号（被保険者の年番）】，【被保険者の収入】，
 【親番号（被保険者の郵便番号）】，【子番号（被保険者の郵便番号）】，【被保険者住所（漢字）】，
 【異動の別】，【元号（配偶者である被扶養者の届出日）】，
 【年月日（配偶者である被扶養者の届出日）】，【配偶者である被扶養者の氏名（カナ）】，
 【配偶者である被扶養者の氏名（漢字）】，【元号（配偶者である被扶養者の生年月日）】，
 【年月日（配偶者である被扶養者の生年月日）】，【性別（続柄）（配偶者である被扶養者）】，
 【個人番号（配偶者である被扶養者）】，【課所符号（配偶者である被扶養者の年番）】，
 【一連番号（配偶者である被扶養者の年番）】，【外国籍】，
 【外国人通称名（カナ）（配偶者である被扶養者）】，【外国人通称名（漢字）（配偶者である被扶養者）】，
 【同居・別居の別（配偶者である被扶養者住所）】，【住所地（配偶者である被扶養者住所）】，
 【親番号（郵便番号）（配偶者である被扶養者）】，【子番号（郵便番号）（配偶者である被扶養者）】，
 【配偶者である被扶養者住所（漢字）】，【種別（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，
 【局番1（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，【局番2（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，
 【局番3（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，【元号（配偶者である被扶養者になった日）】，
 【年月日（配偶者である被扶養者になった日）】，【配偶者である被扶養者になった理由（選択）】，
 【配偶者である被扶養者になった理由（その他の理由）】，【職業（配偶者である被扶養者）】，
 【収入（配偶者である被扶養者）】，【元号（配偶者である被扶養者でなくなった日）】，
 【年月日（配偶者である被扶養者でなくなった日）】，【配偶者である被扶養者でなくなった理由（選択）】，
 【配偶者である被扶養者でなくなった理由（その他の理由）】，
 【元号（死亡年月日）（配偶者である被扶養者でなくなった理由）】，
 【年月日（死亡年月日）（配偶者である被扶養者でなくなった理由）】，
 【備考（配偶者である被扶養者）】，【続柄確認（配偶者である被扶養者）】，
 【海外特例（配偶者である被扶養者）】，【元号（海外特例要件に該当した日）】，
 【年月日（海外特例要件に該当した日）】，【海外特例要件に該当した理由（選択）】，
 【海外特例要件に該当した理由（その他の理由）】，【元号（海外特例要件に非該当となった日）】，
 【年月日（海外特例要件に非該当となった日）】，【海外特例要件に非該当となった理由（選択）】，
 【海外特例要件に非該当となった理由（その他の理由）】，
 【元号（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
 【年月日（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，【配偶者の年間収入】，
 【被扶養者番号（その他の被扶養者1）】，【その他の被扶養者1の氏名（カナ）】，
 【その他の被扶養者1の氏名（漢字）】，【元号（その他の被扶養者1の生年月日）】，
 【年月日（その他の被扶養者1の生年月日）】，【性別（その他の被扶養者1）】，
 【続柄コード（その他の被扶養者1）】，【続柄コードその他補足（その他の被扶養者1）】，
 【個人番号（その他の被扶養者1）】，【同居・別居の別（その他の被扶養者1）】，
 【親番号（郵便番号）（その他の被扶養者1）】，【子番号（郵便番号）（その他の被扶養者1）】，
 【その他の被扶養者1住所（漢字）】，【海外特例（その他の被扶養者1）】，
 【海外特例要件に該当した理由（選択）】，【海外特例要件に該当した理由（その他の理由）】，
 【海外特例要件に非該当となった理由（選択）】，【海外特例要件に非該当となった理由（その他の理由）】，
 【元号（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
 【年月日（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
 【元号（その他の被扶養者1になった日）】，【年月日（その他の被扶養者1になった日）】，
 【職業（その他の被扶養者1）】，【住所地（その他の被扶養者1）】，【収入（その他の被扶養者1）】，
 【その他の被扶養者1になった理由（選択）】，【その他の被扶養者1になった理由（その他の理由）】，
 【元号（その他の被扶養者1でなくなった日）】，【年月日（その他の被扶養者1でなくなった日）】，
 【その他の被扶養者1でなくなった理由（選択）】，
 【その他の被扶養者1でなくなった理由（その他の理由）】，【備考（その他の被扶養者1）】，
 【続柄確認（その他の被扶養者1）】，【届出意思確認済】，

そ
 の
 他
 の
 被
 扶
 養
 者
 1
 |
 2

図4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

(2) 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届のデータレコードの各項目の説明は、表4. 10. 1-1のとおりである。

なお、以下の点に留意すること。

- ・全国健康保険協会(協会けんぽ)管掌健康保険及び国民年金第3号被保険者の届出が対象となる。
- ・同一レコードには「該当」「非該当」、または「変更」を3名まで設定できる。
- ・配偶者を含む「該当(第3号被保険者該当)」「非該当(第3号被保険者非該当)」、または「変更」を申請する場合は、必ず「配偶者である被扶養者」に配偶者を設定すること。
- ・配偶者を含まない「該当」「非該当」、または「変更」を申請する場合は、「配偶者である被扶養者」を省略し、「その他の被扶養者1」から設定すること。

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (1/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2202700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業主確認欄		数字	0, 1	収入に関する証明の添付が省略されている場合、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認し、以下に対応する数値を設定する 確認未完了 : 「0」 確認完了 : 「1」	オ
6	事業主等受付年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成 : 「7」 ・令和 : 「9」	カ
7	年月日		数字	6	事業主等受付年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月8日の場合、 「010708」と設定する	キ

表 4. 1 0. 1 - 1 被扶養者(異動)届・国民年金第 3 号被保険者関係届データレコードの項目説明 (2 / 2 3)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
8	被保険者整理番号		数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例)「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「10」の場合「10」と設定する なお、項番21「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略不可とする 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	ク
9	被保険者氏名(カナ)		カナ	1～25	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例)被保険者氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、「ネキンマサアキ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K マサアキ」の場合、「ネキンケイマサアキ」と設定する	ケ
10	被保険者氏名(漢字)		漢字	0～12	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する (例)被保険者氏名が「年金 正明」の場合、「年金△正明」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 正明」の場合、「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	コ
11	被保険者生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	サ
12		年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例)昭和55年10月10日の場合、「551010」と設定する	シ
13	被保険者の性別		数字	1	当該被保険者の種別(性別)に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」	ス
14	被保険者の個人番号		数字	0, 12	被保険者の個人番号を設定する	セ

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (3/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
15	被保険者の基礎年金番号	課所符号	数字 0, 4	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する 個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする	ソ
16		一連番号	数字 0, 6		タ
17	被保険者の収入	数字	0, 7	被保険者の年間収入を円単位で7文字で設定する (例) 年間収入が「3,200,000円」の場合、 「3200000」と設定する 年間収入が「10,000,000円」以上の場合は、「9999999」と設定する 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合には省略する	チ
18	被保険者の郵便番号	親番号	数字 0, 3	個人番号を入力した場合は省略する 被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「120-8580」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、海外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	ツ
19		子番号	数字 0, 4		テ
20	被保険者住所(漢字)	漢字	0~37	個人番号を入力した場合は省略する 被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外に居住する者については国名を設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替ができない場合 ・住所が37文字を超える場合	ト

表 4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (4/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
21	異動の別	数字	1	以下の異動の別に対応する数字を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・該当 : 「1」 ・非該当 : 「2」 ・変更 : 「3」 	㊦	
22	届出日 配偶者 である被扶養者(第3号被保険者)	元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・平成 : 「7」 ・令和 : 「9」 	㊧
23		年月日	数字	0, 6	配偶者が被保険者を通じて事業主にこの届書を提出する年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月8日の場合、 「010708」と設定する	㊨
24		カナ	カナ	0~25	「異動の別」が変更:「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被扶養者氏名が「ネンキン クミ」の場合、 「ネンキンクミ」と設定する 被扶養者氏名が「ネンキン K クミ」の場合、 「ネンキンケイクミ」と設定する	㊩
25	漢字	漢字	0~12	「異動の別」が変更:「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する (例) 被扶養者氏名が「年金 久美」の場合、 「年金△久美」と設定する 被扶養者氏名が「年金 K 久美」の場合、 「年金△ケイ△久美」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する <ul style="list-style-type: none"> ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合 	㊪	

表 4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (5/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
26	配 偶 者 で あ る 被 扶 養 者 (第 3 号 被 保 険 者)	元号	数字	0, 1	配偶者である被扶養者の生年月日を設定する なお、「異動の別」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ハ
27		年月日	数字	0, 6	配偶者である被扶養者の生年月日を設定する なお、「異動の別」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 配偶者である被扶養者の生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和56年3月26日の場合、 「560326」と設定する	ヒ
28		性別(続柄)	数字	0, 1	以下の続柄に対応する数字を設定する ・夫 : 「1」 ・妻 : 「2」 ・夫(未届) : 「3」 ・妻(未届) : 「4」 なお、配偶者である被扶養者(第3号被保険者)を設定する場合は、当該項目は省略不可とする	フ
29		個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する	ヘ
30		課所符号	数字	0, 4	個人番号が空欄の場合、「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	ホ
31		一連番号	数字	0, 6	なお、基礎年金番号の通知を受けていない者、または健康保険のみ加入する者については省略する	マ
32		外国籍	漢字	0~30	外国籍の場合、配偶者である被扶養者の国籍を設定する	ミ

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (6/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
33	配偶者である被扶養者(第3号被保険者)	外国人	カナ	0~25	配偶者である被扶養者の外国人通称名を設定する 姓と名の間には半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する	㊦
34		通称名	漢字	0~12	配偶者である被扶養者の外国人通称名を漢字で設定する 姓と名の間には全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	㊧
35		同居・別居の別	数字	0, 1	「異動の別」が該当: 「1」の場合は省略不可とする 被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居: 「1」 ・別居: 「2」 「異動の別」が非該当: 「2」または変更: 「3」の場合は省略する	㊨
36		住所地	数字	0, 2	後期高齢者医療制度加入該当者の場合(項番52「被扶養者でなくなった理由」が「4. 75歳到達」、「5. 障害認定」の時)のみ、以下の都道府県名に対応する数字を設定する ・北海道: 「01」~(略)~ 沖縄県: 「47」※1 「異動の別」が該当: 「1」または変更: 「3」の場合は省略する ※1 表4. 10. 1-2 都道府県コード一覧を参照	㊩

表 4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (7/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
37	配偶者である被扶養者の住所	親番号	数字 0, 3	配偶者である被扶養者を設定する場合は省略不可とする ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする	☐
38		郵便番号 子番号	数字 0, 4		
39	被扶養者の住所	漢字	漢字 0~37	配偶者である被扶養者を設定する場合は省略不可とする ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする 配偶者である被扶養者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外居住する者については国内における協力者住所（親族、第2号被保険者の勤務先住所等）を設定する 親族の場合は氏名及び続柄を備考に設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替ができない場合 ・住所が37文字を超える場合	☐
40	被保険者(第3号)	種別	数字 0, 1	以下の種別に対応する数字を設定する ・自宅 : 「1」 ・携帯 : 「2」 ・勤務先 : 「3」 ・その他 : 「4」	☐
41	電話番号	局番1	数字 0, 2~5	配偶者である被扶養者の電話番号（市外局番等）を設定する	☐
42		局番2	数字 0, 1~4	配偶者である被扶養者の電話番号（市内局番等）を設定する	☐
43		局番3	数字 0, 4~5	配偶者である被扶養者の電話番号（番号）を設定する	☐

表 4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (8/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
44	被扶養者 になつた日	元号	数字	0, 1 「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になつた日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊦
45		年月日	数字	0, 6 「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になつた日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者になつた年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月7日の場合、 「010707」と設定する	㊦
46	被扶養者 になつた理由	(選択)	数字	0, 1 「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・配偶者の就職 : 「1」 ・婚姻 : 「2」 ・離職 : 「3」 ・収入減少 : 「4」 ・その他 : 「5」	㊦
47		(その他の理由)	漢字 数字 英字 カナ	0~24 0~48 「被扶養者になつた理由」がその他：「5」の場合は省略不可とする	㊦
48	保 険 者	職業	数字	0, 1 「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の職業に対応する値を設定する ・無職 : 「1」 ・パート : 「2」 ・年金受給者 : 「3」 ・その他 : 「4」	㊦
49		収入	数字	0, 7 配偶者である被扶養者の今後1年間の年間収入見込み額を円単位で7文字で設定する なお、異動の別が「該当」である場合は、省略不可とする	㊦

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (9/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
50	配 養 者 で な く な っ た 日	元号	数字 0, 1	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	E
51		年月日	数字 0, 6	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する また、後期高齢者医療の被保険者となることにより被扶養者でなくなる場合は、当該被保険者になった日を設定する 被扶養者でなくなった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する	F
52	被 扶 養 者 で な く な っ た 理 由	(選択)	数字 0, 1	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・死亡 : 「1」 ・離婚 : 「2」 ・就職・収入増加 : 「3」 ・75歳到達 : 「4」 ・障害認定 : 「5」 ・その他 : 「6」	G
53		(その他の理由)	漢字 0~24 数字 英字 カナ 0~48	「被扶養者でなくなった理由」が、その他：「6」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	H

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (10/23)

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
54	配偶者である被扶養者(第3号被保険者)	死亡理由	元号	数字	0, 1	被扶養者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 「被扶養者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	I
55			年月日	数字	0, 6	被扶養者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合死亡年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する 「被扶養者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	J
56	備考		漢字	0~37	「異動の別」が変更：「3」の場合、省略不可とし、変更項目と変更前情報を設定する 3号住所を親族の国内協力者住所とした場合、国内協力者の氏名及び続柄を設定する。 (例) 国内協力者が3号被保険者の父の場合 「国内協力者：年金 一郎(父)」と設定する 海外居住中の3号被保険者に係る非該当の場合は「海外在住のため資格喪失」と設定する	K	
			数字 英字 カナ	0~75			
57	海外特例要件に該当した日		続柄確認	数字	0, 1	事業主が戸籍謄本等で被保険者と扶養認定を受ける方の続柄を確認した場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	L
58			海外特例	数字	0, 1	以下の海外特例に対応する数字を設定する ・該当：「1」 ・非該当：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する また、「被扶養者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「被扶養者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する	M
59	海外特例要件に該当した日		元号	数字	0, 1	「海外特例」が該当：「1」の場合以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	N
60			年月日	数字	0, 6	「海外特例」が該当：「1」の場合海外特例要件に該当した日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和2年4月1日の場合、「020401」と設定する ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	O

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (11/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
61	海外特例要件に該当した理由	(選択) 数字	0, 1	「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・留学 : 「1」 ・同行家族 : 「2」 ・特定活動 : 「3」 ・海外婚姻 : 「4」 ・その他 : 「5」 なお、上記以外の場合は、省略する	P
62		(その他の理由) 数字 英字 カナ	0~24 0~48	「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Q
63	海外特例要件に非該当となった日	元号	数字 0, 1	海外特例が非該当：「2」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	R
64		年月日	数字 0, 6	「海外特例」が非該当：「2」の場合 海外特例要件に該当した日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和2年4月1日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	S
65	海外特例要件に非該当となった理由	(選択) 数字	0, 1	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入 : 「1」 ・その他 : 「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	T
66		(その他の理由) 数字 英字 カナ	0~24 0~48	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	U

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (12/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
67	配偶者である被扶養者第3号被保険者 海外特例要件に非該当となった理由	元号	数字	0, 1	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」 ※海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	<input type="checkbox"/> V
68			国内転入日	年月日	数字	0, 6
69	配偶者の年間収入	数字			0, 7	被扶養者でない配偶者を有するとき、配偶者の年間収入を円単位で7文字で設定する (例)年間収入が「1,500,000円」の場合 「1500000」と設定する 年間収入が「10,000,000円」以上の場合は、「9999999」と設定する 「異動の別」が、変更:「3」または非該当:「2」の場合は省略する

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
70	被扶養者番号		—	0	省略する	Y
71	被扶養者の 他の氏名	カナ	カナ	0～25	<p>「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する</p> <p>被扶養者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被扶養者氏名が「コウネン タロウ」の場合、 「コウネン△タロウ」と設定する 被扶養者氏名が「コウネン K タロウ」の場合、 「コウネン△K△タロウ」と設定する</p>	Z
72		漢字	漢字	0～12	<p>「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する</p> <p>被扶養者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する</p> <p>(例) 被扶養者氏名が「厚年 太郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する 被扶養者氏名が「厚年 K 太郎」の場合、 「厚年△ケイ△太郎」と設定する</p> <p>以下のいずれかに該当する場合は省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合 	a
73		1	元号	数字	0, 1	<p>「異動の別」が、変更：「3」かつ、生年月日の訂正がある場合に設定する</p> <p>上記以外の場合は、被扶養者の生年月日を設定する</p> <p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和：「5」 平成：「7」 令和：「9」
74		年月日	数字	0, 6	<p>「異動の別」が、変更：「3」かつ、生年月日の訂正がある場合に設定する</p> <p>上記以外の場合は、被扶養者の生年月日を設定する</p> <p>生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する</p>	c

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (14/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
75	そ の 他 の 被 扶 養 者 1	性別	数字	0, 1	その他の被扶養者の性別に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」 なお、その他の被扶養者1を設定する場合は、省略不可とする	[d]	
76		続柄コード	数字	0, 2	以下の続柄に対応する数字を設定する ・実子・養子：「01」 ・1以外の子：「02」 ・父母・養父母：「03」 ・義父母：「04」 ・弟妹：「05」 ・兄姉：「06」 ・祖父母：「07」 ・曾祖父母：「08」 ・孫：「09」 ・その他：「10」 なお、その他の被扶養者1を設定する場合は、省略不可とする	[e]	
77		続柄コード その他補足	漢字 数字 英字 カナ	0~12 0~24	「異動の別」が非該当：「2」の場合には省略する 「続柄コード」がその他：「10」の場合には設定する 「続柄コード」がその他：「10」以外の場合には省略する	[f]	
78	個人番号	数字	0, 12	その他の被扶養者の個人番号を設定する	[g]		
79	同居・別居の別	数字	0, 1	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居：「1」 ・別居：「2」 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する	[h]		
80	被 扶 養 者 住 所	郵便番号	親番号	数字	0, 3	その他の被扶養者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「120-8580」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する	[i]
81			子番号	数字	0, 4	なお、海外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 「異動の別」が該当：「1」、非該当：「2」の場合、かつその他の被扶養者を設定する場合は省略不可とする。 ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする	[j]

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (15/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
82	その他 被扶養者 住所	漢字	漢字	0～37	<p>「異動の別」が該当：「1」、非該当：「2」の場合、かつその他の被扶養者を設定する場合は省略不可とする。 ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする</p> <p>その他の被扶養者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外に居住する者については国名を設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替ができない場合 ・住所が37文字を超える場合 	k
83		海外特例	数字	0, 1	<p>以下の海外特例に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当 : 「1」 ・非該当 : 「2」 <p>なお、上記以外の場合は、省略する。 また、「被扶養者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「被扶養者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する</p>	l
84		海外特例要件に該当した理由	(選択)	数字	0, 1	<p>「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする</p> <p>以下の理由に対応する値を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学 : 「1」 ・同行家族 : 「2」 ・特定活動 : 「3」 ・海外婚姻 : 「4」 ・その他 : 「5」 <p>なお、上記以外の場合は、省略する</p>
85	その他 の理由	漢字	漢字	0～24	<p>「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする</p> <p>なお、上記以外の場合は、省略する</p>	n
		数字 英字 カナ	数字	0～48		

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (16/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
86	その他 の 被 扶 養 者 1	海外特例要件に非該当となった理由	(選択)	数字 0, 1	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入 : 「1」 ・その他 : 「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	o	
87			(その他の理由)	漢字	0~24	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	p
				数字 英字 カナ	0~48		
88				国内転入日	元号	数字 0, 1	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」 の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する
89		国内転入日	年月日	数字 0, 6	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合 国内転入日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和2年4月1日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」 の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	r	

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
90	被扶養者になった日	元号	数字 0, 1	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日(元号)を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	s
91		年月日	数字 0, 6	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日(年月日)を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者になった年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する	t
92	その他の被扶養者	職業	数字 0, 1	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の職業に対応する値を設定する ・無職 : 「1」 ・パート : 「2」 ・年金受給者 : 「3」 ・小・中学生以下 : 「4」 ・高・大学生 : 「5」 ・その他 : 「6」	u
93	養者1	住所地	数字 0, 2	後期高齢者医療制度加入該当者の場合(項番77「被扶養者でなくなった理由」が「4.75歳到達」、「5.障害認定」の時)のみ、以下の都道府県名に対応する数字を設定する ・北海道：「01」～(略)～ 沖縄県：「47」※1 「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する ※1 表4.10.1-2 都道府県コード一覧を参照	v
94		収入	数字 0, 7	その他の被扶養者1の今後1年間の年間収入見込み額を円単位で7文字で設定する なお、異動の別が「該当」の場合は省略不可とする	w

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (18/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
95	被扶養者になった理由	(選択)	数字	0, 1 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・出生 : 「1」 ・離職 : 「2」 ・収入減 : 「3」 ・同居 : 「4」 ・その他 : 「5」	X
96		(その他の理由)	漢字 数字 英字 カナ	0~24 ----- 0~48 ----- 0~48	「被扶養者になった理由」がその他：「5」の場合は省略不可とする
97	その他の被扶養者でなくなった日	元号	数字	0, 1 「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	Z
98		年月日	数字	0, 6 「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する また、後期高齢者医療の被保険者となることにより被扶養者でなくなる場合は、当該被保険者になった日を設定する 被扶養者でなくなった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する	I

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (20/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
99	その他の被扶養者でなくなった理由	(選択)	数字	0, 1	「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・死亡 : 「1」 ・就職 : 「2」 ・収入増加 : 「3」 ・75歳到達 : 「4」 ・障害認定 : 「5」 ・その他 : 「6」	Ⅱ
100		(その他の理由)	漢字 数字 英字 カナ	0～24 0～48	「被扶養者でなくなった理由」が、その他：「6」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Ⅲ
101	備考		漢字	0～37	「異動の別」が該当：「1」の場合、住民票住所を設定する ※「個人番号」を設定した場合、住所は省略可能 「異動の別」が変更：「3」の場合、省略不可とし、変更項目名と変更前情報を設定する	Ⅳ
			数字 英字 カナ	0～75		
102	続柄確認		数字	0, 1	事業主が戸籍謄本等で被保険者と扶養認定を受ける方の続柄を確認した場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	Ⅴ
103	被扶養者番号		数字	0	設定内容はその他の被扶養者1と同様にする	Ⅵ
104	他の被扶養者氏名	カナ	カナ	0～25		Ⅶ
105		漢字	漢字	0～12		Ⅷ
106		元号	数字	0, 1		Ⅸ
107	生年月日	年月日	数字	0, 6		Ⅹ

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (21/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
108	性別	数字	0, 1	設定内容はその他の被扶養者1と同様にする	d	
109	続柄コード	数字	0, 2		e	
110	続柄コード その他補足	漢字	0~12		f	
		数字 英字 カナ	0~24			
111	個人番号	数字	0, 12		g	
112	同居・別居の別	数字	0, 1		h	
113	その他の被扶養者住所	郵便番号	数字		0, 3	i
114		子番号	数字		0, 4	j
115		漢字	漢字		0~37	k
116	海外特例	数字	0, 1		l	
117	(選択)	数字	0, 1		m	
118	(その他の理由)	漢字	0~24	n		
		数字 英字 カナ	0~48			

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (22/23)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
119	その他 の被扶養者 2	(選択)	数字	0, 1	設定内容はその他の被扶養者1と同様にする	o	
120		(その他の理由)	漢字	0~24		p	
			数字 英字 カナ	0~48			
121		国内 転入 日	元号	数字		0, 1	q
122			年月日	数字		0, 6	r
123	被扶養者 になった日	元号	数字	0, 1	s		
124		年月日	数字	0, 6	t		

表4. 10. 1-1 被扶養者(異動)届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (23/23)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
125	職業	数字	0, 1	設定内容はその他の被扶養者1と同様にする	u
126	住所地	数字	0, 2		v
127	収入	数字	0, 7		w
128	被扶養者になった理由 (選択)	数字	0, 1		x
129	被扶養者になった理由 (その他の理由)	漢字	0~24		y
		数字 英字 カナ	0~48		
130	被扶養者でなくなった理由 元号	数字	0, 1		z
131	被扶養者でなくなった理由 年月日	数字	0, 6		I
132	被扶養者でなくなった理由 (選択)	数字	0, 1		II
133	被扶養者でなくなった理由 (その他の理由)	漢字	0~24		III
		数字 英字 カナ	0~48		
134	備考	漢字	0~37		IV
		数字 英字 カナ	0~75		
135	続柄確認	数字	0, 1	V	
136	届出意思確認済	数字	0, 1	事業主が被保険者の届出意思を確認した場合、1を設定する。	VI

表4. 10. 1-2 都道府県コード一覧

都道府県コード	漢字都道府県名
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県
08	茨城県
09	栃木県
10	群馬県
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県

(3) 被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの作成例

図4. 10. 1-3の「健康保険被扶養者（異動）届／国民年金第3号被保険者関係届」に対応する作成例は、図4. 10. 1-2のとおりである。

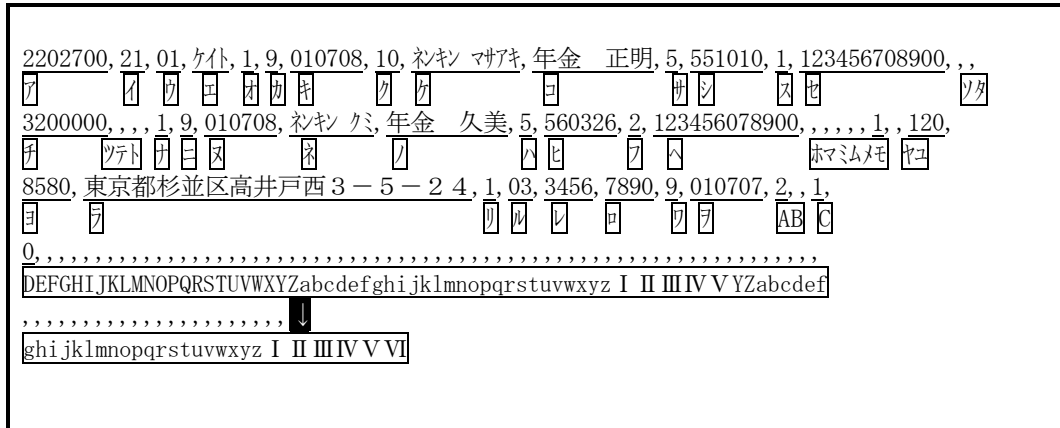



図4. 10. 1-2 被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコードの作成例

様式コード 2 2 0 2		協会管掌事業所用 健康保険 国民年金	被扶養者(異動)届 第3号被保険者関係届		
令和 年 月 日 提出					
事業主記入欄	事業所整理記号 ウ - エ	届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。			
	事業所所在地 〒 -	厚生年金被保険者の配偶者にかかる届出の記載がある場合、同時に『国民年金第3号被保険者関係届』として受理し、配偶者を第3号被保険者に、第2号被保険者を配偶者として読み替えます。			
	事業所名称 事業主氏名 電話番号	社会保険労務士記載欄 氏名等			
事業主が確認した場合に確認 収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。		事業主等受付年月日 令和 年 月 日			
A 被保険者欄	① 被保険者整理番号 ク	② 氏名 (フリガナ) ケ (氏名) コ	③ 生年月日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日 令和 年 月 日	④ 性別 1. 男 2. 女	
	⑥ 取得年月日 5. 昭和 年 月 日 7. 平成 年 月 日 9. 令和 年 月 日	⑦ 収入 円	⑧ 個人番号 (基礎年金番号)	⑨ 住所 〒 ツ テ ト	※事業主が、親定を受ける方の続柄を裏面(a)の書類で確認した場合は、B欄⑩(又はC欄⑭)の「続柄確認済み」の口に✓を付してください。(添付書類については裏面(a)(b)参照) 配偶者が被扶養者(第3号被保険者)になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、変更の場合は「変更」を○で囲んでください。
B 配偶者(第3号被保険者)である被扶養者欄	① 氏名 (フリガナ) ネ (氏名) ノ	② 生年月日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日 令和 年 月 日	③ 性別 1. 夫 3. 夫(未届) 2. 妻 4. 妻(未届)	④ 続柄 1. 実子・養子 6. 兄弟 2. 1以外の子 7. 祖父母 3. 父母・養父母 8. 曾祖父母 4. 義父母 9. 孫 5. 弟妹 10. その他	
	⑦ 住所 1. 同居 2. 別居	⑧ 職業 1. 無職 4. その他 2. パート 3. 年金受給者 3. 年金受給者	⑨ 収入 円	⑩ 理由 1. 留学 4. 海外婚姻 2. 同行家族 5. その他 3. 特定活動	※第3号被保険者関係届の提出は配偶者(第2号被保険者)に委任します
	⑪ 被扶養者になった日 9. 令和 年 月 日	⑫ 理由 1. 死亡 3. 収入増加 5. 障害認定 2. 就職 4. 75歳到達 6. その他	⑬ 備考 円	※続柄確認済み	⑭ 海外特別要件 1. 海外特別要件該当 2. 海外特別要件非該当
C その他の被扶養者欄1	① 氏名 (フリガナ) Z (氏名) a	② 生年月日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日 令和 年 月 日	③ 性別 1. 男 2. 女	④ 続柄 1. 実子・養子 6. 兄弟 2. 1以外の子 7. 祖父母 3. 父母・養父母 8. 曾祖父母 4. 義父母 9. 孫 5. 弟妹 10. その他	
	⑥ 住所 1. 同居 2. 別居	⑦ 職業 1. 無職 4. 小・中学生以下 2. パート 5. 高・大学生(年生) 3. 年金受給者 6. その他	⑧ 収入 円	⑨ 理由 1. 留学 4. 海外婚姻 2. 同行家族 5. その他 3. 特定活動	⑩ 海外特別要件 1. 海外特別要件該当 2. 海外特別要件非該当
	⑪ 被扶養者になった日 9. 令和 年 月 日	⑫ 理由 1. 死亡 3. 収入増加 5. 障害認定 2. 就職 4. 75歳到達 6. その他	⑬ 備考 円	※続柄確認済み	※被扶養者の「該当」と「非該当(変更)」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。
C その他の被扶養者欄2	① 氏名 (フリガナ) Z (氏名) a	② 生年月日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日 令和 年 月 日	③ 性別 1. 男 2. 女	④ 続柄 1. 実子・養子 6. 兄弟 2. 1以外の子 7. 祖父母 3. 父母・養父母 8. 曾祖父母 4. 義父母 9. 孫 5. 弟妹 10. その他	
	⑥ 住所 1. 同居 2. 別居	⑦ 職業 1. 無職 4. 小・中学生以下 2. パート 5. 高・大学生(年生) 3. 年金受給者 6. その他	⑧ 収入 円	⑨ 理由 1. 留学 4. 海外婚姻 2. 同行家族 5. その他 3. 特定活動	⑩ 海外特別要件 1. 海外特別要件該当 2. 海外特別要件非該当
扶養に関する申立書(添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください)					
申立の事実と相違ありません。 氏名					

- ◎ イ 都道府県コード ヤ 配偶者である被保険者の住所地 Y その他の被扶養者1の被扶養者番号
 f その他の被扶養者1の続柄コードその他補足 z その他の被扶養者1の住所地 VI 届出意思確認済みについては記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2202」ではなく「2202700」である。

図4. 10. 1-3 健康保険被扶養者(異動)届/国民年金第3号被保険者関係届 (令和4年10月現在)

(2) 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する国民年金第3号被保険者関係届データレコードの各項目の説明は、表4. 11. 1-1のとおりである。

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (1/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「4300700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字英字カナ	1～4		エ
5	事業主等受付年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	オ
6		年月日	数字	6	事業主等受付年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月8日の場合、 「010708」と設定する	カ

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (2/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
7	配 偶 者 （ 2 号 被 保 険 者 ）	氏名 (カナ)	カナ	1～25	3号被保険者の配偶者(2号被保険者)のカナ氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、 「ネンキンマサアキ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K マサアキ」の場合、 「ネンキンケイマサアキ」と設定する	キ	
8		氏名 (漢字)	漢字	0～12	3号被保険者の配偶者(2号被保険者)の漢字氏名を設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 正明」の場合、 「年金△正明」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 正明」の場合、 「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	ク	
9		生 年 月 日	元 号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
10		年 月 日		数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和55年10月10日の場合、 「551010」と設定する	コ

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (3/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
11	配偶者 (2号被 保 険 者)	性別	数字	1	3号被保険者の配偶者(2号被保険者)の性別に対応する数字を設定する ・男:「1」 ・女:「2」	サ	
12		個人番号	数字	0, 12	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	シ	
13		基礎 年 金 番 号	課 所 符 号	数字	0, 4	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、個人番号が空欄の場合必須入力とする	ス
14			一 連 番 号	数字	0, 6		セ
15		郵 便 番 号	親 番 号	数字	0, 3	配偶者(2号被保険者)の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「120-8580」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 個人番号を入力した場合は省略する	ソ
16			子 番 号	数字	0, 4		タ
17		住所(漢字)		漢字	0~37	配偶者(2号被保険者)の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 国外居住する者については国名を設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替ができない場合 ・住所が37文字を超える場合 個人番号を入力した場合は省略する	チ

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (4/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
18	届出日	元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	㉞
19		年月日	数字	0, 6	第3号被保険者が配偶者を通して、事業主にこの届書を提出する年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月8日の場合、「010708」と設定する	㉟
20	3号被保険者	氏名 (カナ)	カナ	1~25	「異動の別(3号該当)」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、3号被保険者氏名を設定する 3号被保険者のカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン クミ」の場合、「ネンキン△クミ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K クミ」の場合、「ネンキン△ケイ△クミ」と設定する	㊱
21		氏名 (漢字)	漢字	0~12	「異動の別(3号該当)」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、3号被保険者氏名を設定する 3号被保険者の漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 久美」の場合、「年金△久美」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 久美」の場合、「年金△ケイ△久美」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	㊲

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (5/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
22	3 号 被 保 険 者	生 年 月 日	元号	数字 1	3号被保険者の生年月日を設定する なお、「異動の別(3号該当)」が変更:「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和:「5」 ・平成:「7」 ・令和:「9」	㉓
23			年月日	数字 6	3号被保険者の生年月日を設定する なお、「異動の別(3号該当)」が変更:「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 3号被保険者の生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和56年3月26日の場合、 「560326」と設定する	㉔
24		性別(続柄)	数字 1	以下の続柄に対応する数字を設定する ・夫 : 「1」 ・妻 : 「2」 ・夫(未届) : 「3」 ・妻(未届) : 「4」	㉕	
25	個人番号	数字 0, 12	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	㉖		
26	基礎年金番号	課所符号	数字 0, 4	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する (例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㉗	
27		一連番号	数字 0, 6	なお、個人番号が空欄の場合必須入力とする	㉘	

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (6/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
28	外国籍		漢字	0～30	外国籍の場合、対象被保険者の国籍を設定する	㊦
29	外国人通称名(カナ)		カナ	0～25	3号被保険者のカナ外国人通称名を設定する 全て半角カナ大文字とする 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する	㊧
30	外国人通称名(漢字)		漢字	0～12	3号被保険者の漢字外国人通称名を設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	㊨
31	被 保 険 者	住所	同居区分	数字	0, 1 「異動の別(3号該当)」が該当：「1」の場合は省略不可とする 3号被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居：「1」 ・別居：「2」 「異動の別(3号該当)」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する	㊩
32		郵便番号	親番号	数字	3 3号被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する (例) 郵便番号が「120-8580」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する	㊪
33		郵便番号	子番号	数字	4	

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (7/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
34		住所(漢字)	漢字	0~37	<p>3号被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する</p> <p>海外居住する者については国内における協力者住所(親族、第2号被保険者の勤務先住所等)を設定する。親族の場合は氏名及び続柄を備考に設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替ができない場合 ・住所が37文字を超える場合 	ㄨ	
35	3号被保険者	電話番号	種別	数字	0, 1	<p>以下の種別に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅 : 「1」 ・携帯 : 「2」 ・勤務先 : 「3」 ・その他 : 「4」 	ㄜ
36			局番1	数字	0, 2~5	3号被保険者の電話番号(市外局番等)を設定する	ㄝ
37			局番2	数字	0, 1~4	3号被保険者の電話番号(市内局番等)を設定する	ㄞ
38			局番3	数字	0, 4~5	3号被保険者の電話番号(番号)を設定する	ㄟ

表4. 1 1. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (8 / 1 2)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
39	異動の別(3号該当)		数字	1	3号該当に対応する数字を設定する ・該当 : 「1」 ・非該当 : 「2」 ・変更 : 「3」	㊦
40	3号被保険者になった日	元号	数字	0, 1	「異動の別(3号該当)」が該当: 「1」の場合は省略不可とする また、変更: 「3」かつ3号被保険者になった日に訂正がある場合は訂正後の日(元号)を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成: 「7」 ・令和: 「9」	㊧
41		年月日	数字	0, 6	「異動の別(3号該当)」が該当: 「1」の場合は省略不可とする また、変更: 「3」かつ3号被保険者になった日に訂正がある場合は訂正後の日(年月日)を設定する 上記以外の場合は省略する 3号被保険者となった日(該当年月日)(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年7月7日の場合、 「010707」と設定する	㊨
42	3号被保険者になった理由	(選択)	数字	0, 1	「異動の別(3号該当)」が該当: 「1」の場合は省略不可とする 「異動の別(3号該当)」が非該当: 「2」または変更: 「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・配偶者の就職 : 「1」 ・婚姻 : 「2」 ・離職 : 「3」 ・収入減少 : 「4」 ・その他 : 「5」	㊩
43		(その他の理由)	漢字	0~24	「3号被保険者になった理由(選択)」がその他: 「5」の場合は必須入力とする	㊪
		数字 英字 カナ	0~48			

表4. 11. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (9/12)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
44	配偶者の加入制度	数字	0, 2	以下の加入制度に対応する数字を設定する ・厚生年金保険・健康保険 : 「31」 「異動の別(3号該当)」が該当: 「1」の場合は必須入力とする	㊦
45	元号	数字	0, 1	「異動の別(3号該当)」が非該当: 「2」の場合は省略不可とする また、変更: 「3」かつ3号被保険者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日(元号)を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成: 「7」 ・令和: 「9」	㊦
46	年月日	数字	0, 6	「異動の別(3号該当)」が非該当: 「2」の場合は省略不可とする また、変更: 「3」かつ3号被保険者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日(年月日)を設定する 上記以外の場合は省略する 3号被保険者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する 3号被保険者でなくなった日(解除年月日)(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する	㊦

表4. 1 1. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (10/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
47	3号被保険者でなくなった理由	理由(選択)	数字	0, 1	<p>「異動の別(3号該当)」が非該当:「2」の場合は省略不可とする 「異動の別(3号該当)」が該当:「1」または変更:「3」の場合は省略する</p> <p>以下の理由に対応する値を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡 : 「1」 ・離婚 : 「2」 ・収入増加 : 「3」 ・その他 : 「6」 <p>海外居住中の3号被保険者に係る非該当や、海外居住中に海外特例に該当しなくなった場合は、その他:「6」を設定する</p>	[B]	
48		死亡	元号	数字	0, 1	<p>3号被保険者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成:「7」 ・令和:「9」 <p>「3号被保険者でなくなった理由」が死亡:「1」の場合は必須入力とする</p>	[C]
49		年月日	年月日	数字	0, 6	<p>3号被保険者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合死亡年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例)令和1年5月3日の場合、 「010503」と設定する</p> <p>「3号被保険者でなくなった理由」が死亡:「1」の場合は必須入力とする</p>	[D]
50	3号被保険者でなくなった理由	(その他の理由)	漢字	0~24	<p>3号被保険者でなくなった理由が、その他「6」の場合は省略不可とする</p> <p>海外居住中の3号被保険者に係る非該当や、海外居住中に海外特例に該当しなくなった場合は「海外居住のため資格喪失」と設定する</p>	[E]	
			数字 英字 カナ	0~48			
51	備考		漢字	0~37	<p>「異動の別(3号該当)」が変更:「3」の場合、省略不可とし、変更項目と変更前情報を設定する 3号住所を親族の国内協力者住所とした場合、国内協力者の氏名及び続柄を設定する。</p> <p>(例)国内協力者が3号被保険者の父の場合 「国内協力者:年金 一郎(父)」と設定する</p>	[F]	
			数字 英字 カナ	0~75			

表4. 1 1. 1 - 1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (1 1 / 1 2)

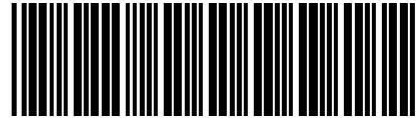
項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
5 2	海外特例	数字	0, 1	以下の海外特例に対応する数字を設定する ・該当 : 「1」 ・非該当 : 「2」 なお、上記以外の場合は、省略する。 また、「3号被保険者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「3号被保険者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する	Ⓔ
5 3	海外特例要件に該当した日	元号	数字	0, 1 「海外特例」が該当：「1」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Ⓕ
5 4		年月日	数字	0, 6 「海外特例」が該当：「1」の場合 海外特例要件に該当した日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和2年4月1日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Ⓖ
5 5	海外特例要件に該当した理由	(選択)	数字	0, 1 「海外特例」が該当：「1」の場合は以下の理由に対応する値を設定する ・留学 : 「1」 ・同行家族 : 「2」 ・特定活動 : 「3」 ・海外婚姻 : 「4」 ・その他 : 「5」 なお、上記以外の場合は、省略する	Ⓖ
5 6		(その他の理由)	漢字 数字 英字 カナ	0～2 4 0～4 8 「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Ⓖ

表4. 1 1. 1-1 国民年金第3号被保険者関係届データレコードの項目説明 (12/12)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
57	海外特例要件に非該当となった日	元号	数字	0, 1	「海外特例」が非該当：「2」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	L
58		年月日	数字	0, 6	「海外特例」が非該当：「2」の場合 海外特例要件に非該当となった日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和2年4月1日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	M
59		(選択)	数字	0, 1	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入 : 「1」 ・その他 : 「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	N
60	海外特例要件に非該当となった理由	(その他の理由)	漢字	0~24	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	O
			数字 英字 カナ	0~48		
61	国内転入日	元号	数字	0, 1	「海外特例要件に非該当となった理由」が「1」（国内転入）の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	P
62			年月日	数字	0, 6	「海外特例要件に非該当となった理由」が「1」（国内転入）の場合 国内転入日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和2年4月1日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する

ア			
様式コード			
4	3	0	0

国民年金 第3号被保険者関係届



令和 年 月 日提出

提出者情報	事業所所在地	届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。 〒 -	日本年金機構
	事業所名称		
	事業主氏名	㊞	
	電話番号	()	
事業主等 受付年月日	令和 年 月 日	社会保険労務士記載欄 氏名等	㊞

A. (第2号被保険者) 配偶者欄	① 氏名	(フリガナ) キ ク	② 生年月日	ケ 昭和 7. 平成 9. 令和	コ 年 月 日	③ 性別	サ 1.男性 2.女性
	④ 個人番号 [基礎年金番号]	シ ス	セ				
⑤ 住所	個人番号を記入した場合は、住所記載は不要です。 〒 ソ - タ チ 都道府県						

届出内容に応じて、該当・非該当(変更)のいずれかを○で囲み、記入してください。

B. 第3号被保険者欄	① 氏名	この届書記載のとおり届出します。 令和 年 月 日 ツ テ 日本年金機構理事長あて (フリガナ) (氏名) ト ナ	② 生年月日	ニ 5. 昭和 7. 平成 9. 令和	又 年 月 日	③ 性別 (候補)	ネ 1.夫 3.夫(未届) 2.妻 4.妻(未届)	
	④ 個人番号 [基礎年金番号]	ノ ハ	⑤ 外国籍	フ	⑥ 外国人 通称名	ヘ ホ		
	⑦ 住所	マ ミ - ム 1. 同居 2. 別居 メ	⑧ 電話番号	モ	⑨ 1.自宅 2.携帯 3.勤務先 4.その他	ヤ (ユ) ヨ		
	⑩ 該当 第3号被保険者 になった日	リ 7. 平成 9. 令和	ル 年 月 日	⑪ 理由	レ 1. 配偶者の就職 4. 収入減少 2. 婚姻 5. その他 3. 離職		⑫ 備考	F
	⑬ 非該当 (変更) 第3号被保険者 でなくなった日	ワ 7. 平成 9. 令和	ア 年 月 日	⑭ 理由	1. 死亡(令和 年 月 日) 2. 離婚 3. 収入増加 6. その他(E)			
右の⑮~⑰の欄は、 海外へ転出した場合や 海外から転入した場合に いずれか○で囲み、記入		⑮ 1.海外特別 要件該当 海外特別要件に 該当した日	9. 令和	年 月 日	⑯ 理由	J 1.留学 4. 海外婚姻 2.同行家族 5. その他(K) 3.特定活動		
		⑰ 2.海外特別 要件非該当 海外特別要件に 非該当となった日	9. 令和	年 月 日	⑱ 理由	N 1.国内転入(令和 年 月 日) 2.その他(O)		

健康保険証の発行元に確認を受けてください。 ※届書記載の配偶者が協会けんぽ加入者の場合は、確認不要です。

医療保険者記入欄	組合(保険者)番号	
	上記のとおり第3号被保険者関係届の届出がありましたので提出します。	
	届出記載の第3号被保険者は、健康保険組合又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。 認定年月日 令和 年 月 日 (「⑩第3号被保険者になった日」と同じ場合は、記載の必要はありません)	
	所在地	〒 -
	名称	
代表者 等氏名	㊞	
電話	()	

- ◎ ㊞ 都道府県コード ㊞ 郡市区符号 ㊞ 事業所記号 ㊞ 届出意思確認済については記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「4300」ではなく「4300700」である。

図4. 11. 1-3 国民年金第3号被保険者関係届 (令和4年10月現在)

4. 1 2 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード

4. 1 2. 1 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード（年金事務所提出）

(1) 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成

年金事務所に提出する産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成は、図4. 1 2. 1 - 1のとおりである。

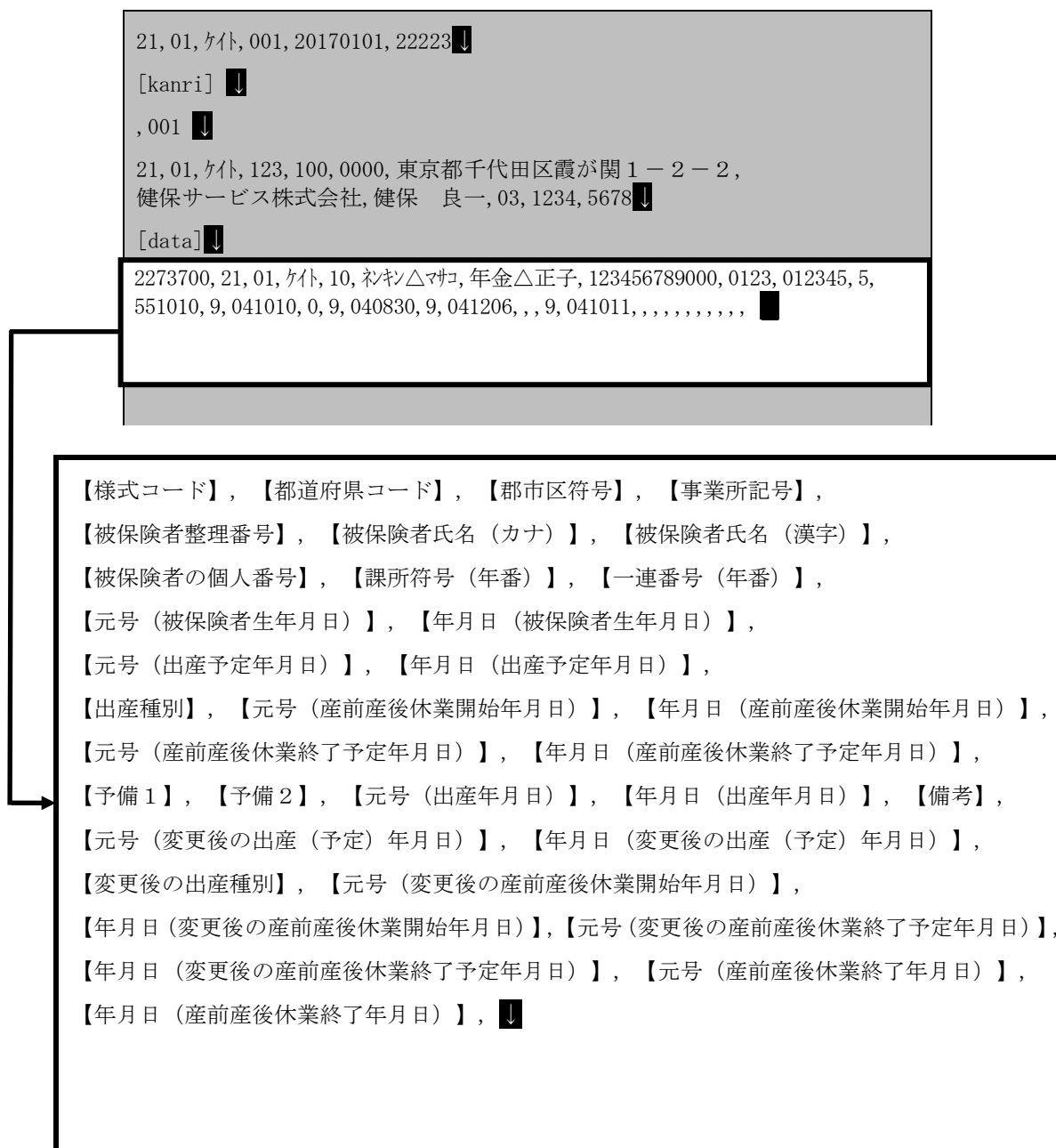


図4. 1 2. 1 - 1 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成

(2) 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの各項目の説明は、表4. 12. 1-1のとおりである。

なお、以下の点に留意すること。

- ・ 出産（予定）日・産前産後休業終了（予定）日を変更する場合は、「変更欄」の項目も設定すること。
- ・ 予定より早く産前産後休業を終了した場合は、「終了欄」の項目も設定すること。

表4. 12. 1-1 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明 (1/6)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2273700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1～4	(例)東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	被保険者整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例)「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「10」の場合「10」と設定する 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	オ	
6	被保険者氏名(カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間には半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例)被保険者氏名が「ネンキン マサコ」の場合、 「ネンキン△マサコ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K マサコ」の場合、 「ネンキン△ケイ△マサコ」と設定する	カ	

表4. 12. 1-1 産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届データレコードの項目説明 (2/6)

7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0~12	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「年金 正子」の場合、 「年金△正子」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 正子」の場合、 「年金△ケイ△正子」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合 	キ	
8	被保険者の個人番号	数字	0, 12	被保険者の個人番号を設定する	ク	
9	被保険者の基礎年金番号	課所符号	数字	0, 4	<p>「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する</p> <p>(例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する</p> <p>個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする</p>	ケ
10		一連番号	数字	0, 6		
11	被保険者生年月日	元号	数字	1	<p>以下の元号に対応する数字を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和：「5」 平成：「7」 令和：「9」 	サ

表4. 12. 1-1 産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届データレコードの項目説明 (3/6)

12		年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和55年10月10日の場合、 「551010」と設定する	シ
13	出産予定年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」	ス
14		年月日	数字	6	出産予定年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	セ
15	出産種別		数字	1	出産予定の子の人数が1人の場合は「0.単胎」、2人(双子)以上の場合は「1.多胎」と設定する	ソ
16	産前産後休業開始年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」	タ
17		年月日	数字	6	産前産後休業開始年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	チ

表4. 12. 1-1 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明 （4/6）

18	産前産後休業終了予定年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊴
19		年月日	数字	6	産前産後休業終了予定年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㊵
20	予備1		カナ	0～25	省略する	㊶
21	予備2		漢字	0～12	省略する	㊷

表4. 12. 1-1 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明 (5/6)

22	出産年月日	元号	数字	0, 1	申出書を出産後に提出する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㉓	
23		年月日	数字	0, 6	申出書を出産後に提出する場合に、出産年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㉔	
24	備考		漢字, 数字 英字 カナ	0～37, 0～75	特記事項がある場合に設定する	㉕	
25	変更	変更後の出産（予定）年月日	元号	数字	0, 1	出産（予定）日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㉖
26			年月日	数字	0, 6	出産（予定）日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㉗
27	変更後の出産種別			0, 1	出産予定の子の人数が1人の場合は「0.単胎」、2人（双子）以上の場合は「1.多胎」と設定する	㉘	

表 4. 1 2. 1 - 1 産前産後休業取得者申出書申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明 （6 / 6）

28	変更	変更後の産前産後休業開始年月日	元号	数字	0, 1	産前産後休業開始年月日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㉟
29		年月日	数字	0, 6	産前産後休業開始年月日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	㊿	
30		変更後の産前産後休業終了予定年月日	元号	数字	0, 1	産前産後休業終了予定年月日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊿
31		年月日	数字	0, 6	産前産後休業終了予定年月日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	㊿	
32	終了	産前産後休業終了年月日	元号	数字	0, 1	予定より早く産前産後休業を終了した場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊿
33		年月日	数字	0, 6	予定より早く産前産後休業を終了した場合に、産前産後休業終了年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	㊿	

(2) 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコード (年金事務所提出) の項目説明

年金事務所に提出する育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの各項目の説明は、表4. 13. 1-1のとおりである。

なお、以下の点に留意すること。

- ・「育児休業等終了(予定)日」を延長する場合は「延長欄」の項目も設定すること。
- ・予定より早く育児休業を終了した場合は「終了欄」の項目も設定すること。
- ・「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、「育休等取得内訳欄」を設定すること。

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (1/10)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例	
1	様式コード	数字	7	「2263700」を設定する	ア	
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	1~4		エ
5	被保険者整理番号	数字	0~6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「10」の場合「10」と設定する 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	オ	

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (2/10)

6	被保険者氏名 (カナ)	カナ	1 ~ 2 5	<p>被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「ネンキン マサコ」の場合、 「ネンキン△マサコ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K マサコ」の場合、 「ネンキン△ケイ△マサコ」と設定する</p>	カ
7	被保険者氏名 (漢字)	漢字	0 ~ 1 2	<p>被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース(半角スペース不可)を1文字設定する</p> <p>(例) 被保険者氏名が「年金 正子」の場合、 「年金△正子」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 正子」の場合、 「年金△ケイ△正子」と設定する</p> <p>なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合</p>	キ
8	被保険者の個人 番号	数字	0, 1 2	被保険者の個人番号を設定する	ク
9	被保険者の基礎 年金番号	課所符 号	数字	0, 4	ケ
10		一連番 号	数字	0, 6	<p>「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する</p> <p>(例) 基礎年金番号が「0123-012345」 の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する</p> <p>個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする</p>

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードの項目説明 (3/10)

11	被保険者生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	サ
12		年月日	数字	6	被保険者生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和55年10月10日の場合、「551010」と設定する	シ
13	被保険者の性別		数字	1	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」	ス
14	養育する子の氏名（カナ）		カナ	1～25	養育する子の氏名をカナで設定する 姓と名の間半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する (例) 養育する子の氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、「ネンキン△マサアキ」と設定する 養育する子の氏名が「ネンキン K マサアキ」の場合、「ネンキン△ケイ△マサアキ」と設定する	セ
15	養育する子の氏名（漢字）		漢字	1～12	養育する子の氏名を漢字で設定する 姓と名の間全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を1文字設定する (例) 養育する子の氏名が「年金 正明」の場合、「年金△正明」と設定する 養育する子の氏名が「年金 K 正明」の場合、「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を越える場合	ソ

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードの項目説明 (4/10)

16	養育する子の生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊴
17		年月日	数字	6	養育する子の生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㊵
18	区分		数字	1	養育する子の区分を設定する ・実子：「1」 ・その他：「2」	㊶
19	養育開始年月日 (実子以外)	元号	数字	0, 1	養育する子の区分が「2.その他」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊷
20		年月日	数字	0, 6	養育する子の区分が「2.その他」の場合に、養育開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㊸
21	育児休業等開始年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊹
22		年月日	数字	6	育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㊺
23	育児休業等終了(予定)年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	㊻
24		年月日	数字	6	育児休業等終了(予定)年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、「041010」と設定する	㊼

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (5 / 10)

25	育児休業等取得 日数	数字	0, 1, 2	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定) 年月日の翌日」が同一月内の場合、育児休業等取得日数 を設定する 設定する場合は、「14~30」の値を設定する	ㄨ	
26	就業予定日数	数字	0, 1, 2	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定) 年月日の翌日」が同一月内の場合、就業予定日数を設定 する 設定する場合は、「0~16」の値を設定する	ㄨ	
27	パパママ育休プ ラス該当区分	数字	0, 1	パパママ育休プラス該当する場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	ㄨ	
28	備考	漢字, 数字英 字カナ	0~3 7, 0~ 75	省略する	ㄨ	
29	延長	元号	数字	0, 1	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合、以下の 元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」	ㄨ
30		年月日	数字	0, 6	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合、育児休 業等終了(予定)年月日(変更後)(和暦)を年、月、 日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	ㄨ
31		育児休業等取得日数 (変更後) ①	数字	0, 1, 2	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合で、「育 児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月 日(変更後)の翌日」が同一月内の場合に、変更後の育 児休業等取得日数を設定する 設定する場合は、「14~30」の値を設定する	ㄨ

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (6 / 10)

32		元号	数字	0, 1	<p>申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」</p>	㊟
33		育児休業等終了年月日	年月日	数字	<p>0, 6</p> <p>申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合、育児休業等終了年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する</p> <p>(例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する</p>	㊟
34	終了	育児休業等取得日数(変更後)②	数字	0, 1, 2	<p>申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合で、「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了年月日の翌日」が同一月内の場合に、変更後の育児休業等取得日数を設定する</p> <p>設定する場合は、「1～30」の値を設定する</p>	㊟

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (7 / 10)

35	育児等取得内訳①	育児休業等開始年月日①	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	モ
36		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、育休等取得内訳①として育児休業等開始年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	ヤ
37		育児休業等終了(予定)年月日①	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ユ
38		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、育休等取得内訳①として育児休業等終了(予定)年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	ヨ
39		育児休業等取得日数①		数字	0, 1, 2	育休等取得内訳①における育児休業等取得日数を設定する	ラ
40		就業予定日数①		数字	0, 1, 2	育休等取得内訳①における就業予定日数を設定する	リ

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (8 / 10)

41	育児等取得内訳②	育児休業等開始年月日②	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ル
42		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳②として育児休業等開始年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	レ
43		育児休業等終了(予定)年月日②	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ロ
44		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳②として育児休業等終了(予定)年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する	ワ
45		育児休業等取得日数②		数字	0, 1, 2	育休等取得内訳②における育児休業等取得日数を設定する	ヲ
46		就業予定日数②		数字	0, 1, 2	育休等取得内訳②における就業予定日数を設定する	ア

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (9 / 10)

47	育休等取得内訳③	育児休業等開始年月日③	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が3回存在しない場合は、省略する	[B]
48		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳③として育児休業等開始年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が3回存在しない場合は、省略する	[C]
49		育児休業等終了(予定)年月日③	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が3回存在しない場合は、省略する	[D]
50		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳③として育児休業等終了(予定)年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が3回存在しない場合は、省略する	[E]
51		育児休業等取得日数③			数字	0, 1, 2	育休等取得内訳③における育児休業等取得日数を設定する 育休等取得内訳が3回存在しない場合は、省略する

表4. 13. 1-1 育児休業等取得者申出書(新規・延長) / 終了届データレコードの項目説明 (10 / 10)

52	育児休業等取得内訳④	育児休業等開始年月日④	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」 育休等取得内訳が4回存在しない場合は、省略する	G
53		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳④として育児休業等開始年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が4回存在しない場合は、省略する	H
54		育児休業等終了(予定)年月日④	元号	数字	0, 1	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和:「9」 育休等取得内訳が4回存在しない場合は、省略する	I
55		年月日		数字	0, 6	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳④として育児休業等終了(予定)年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和4年10月10日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が4回存在しない場合は、省略する	J
56		育児休業等取得日数④			数字	0, 1, 2	育休等取得内訳④における育児休業等取得日数を設定する 育休等取得内訳が4回存在しない場合は、省略する

様式コード
2 2 6 3

健康保険
厚生年金保険

育児休業等取得者
申出書(新規・延長)/終了届

様式バーコード

令和 年 月 日提出

提出者記入欄

事業所整理記号: [ウ] [一] [エ]

事業所所在地: 届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。
〒 -

事業所名称: _____

事業主氏名: _____

電話番号: () _____

社会保険労務士記載欄

氏名等: _____

受付印

新規申出の場合は共通記載欄に必要項目を記入してください。

延長・終了の場合は、共通記載欄に育児休業取得時に提出いただいた内容を記入のうえ、A.延長 B.終了の必要項目を記入してください。

＜「⑩育児休業等開始年月日」と「⑪育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内の場合＞

- ・共通記載欄の⑩育児休業等取得日数欄と⑪就業予定日数欄を必ず記入してください。
- ・同月内に複数回の育児休業を取得した場合は、⑩育児休業等開始年月日欄に、初回の育児休業等開始年月日を、⑪育児休業等終了(予定)年月日欄に最終回の育児休業等終了(予定)年月日を記入のうえ、C.育児等取得内訳を記入してください。

共通記載欄 (新規申出)

① 被保険者整理番号	オ	② 個人番号 [基礎年金番号]	ク ケ コ
③ 被保険者氏名	(フリガナ) カキ (氏)	(名)	④ 被保険者生年月日 5.昭和 7.平成 9.令和
⑤ 被保険者性別	ス	1.男 2.女	⑥ 養育する子の氏名 (フリガナ) セソ (氏)
⑦ 養育する子の生年月日	タ	9.令和	⑧ 区分 1.実子 2.その他 ※「2.その他」の場合は、⑨養育開始年月日(実子以外)も記入してください。
⑨ 養育開始年月日 (実子以外)	テ	9.令和	⑩ 育児休業等開始年月日 ナ 9.令和
⑪ 育児休業等終了(予定)年月日	ヌ	9.令和	⑫ 育児休業等取得日数
⑬ 就業予定日数	ハ	⑭ パパママ育児プラス該当区分	⑮ 備考

終了予定日を延長する場合

※必ず共通記載欄も記入してください。

A. 延長

⑩ 育児休業等終了(予定)年月日 (変更後) ヘ 9.令和

※延長後の「⑩育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が「⑩育児休業開始年月日」と同月内の場合は、⑩変更後の育児休業等取得日数欄も記入してください。

⑭ 変更後の育児休業等取得日数

予定より早く育児休業を終了した場合

※必ず共通記載欄も記入してください。

B. 終了

⑩ 育児休業等終了年月日 ミ 9.令和

※「⑩育児休業等終了年月日の翌日」が「⑩育児休業開始年月日」と同月内の場合は、⑩変更後の育児休業等取得日数欄も記入してください。

⑭ 変更後の育児休業等取得日数

「⑩育児休業等開始年月日」と「⑪育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合

※必ず共通記載欄も記入してください。

C. 育児等取得内訳

1	⑩ 育児休業等開始年月日	モ 9.令和	⑪ 育児休業等終了(予定)年月日	ユ 9.令和	⑫ 育児休業等取得日数	ヲ	⑬ 就業予定日数	リ
2	⑩ 育児休業等開始年月日	ル 9.令和	⑪ 育児休業等終了(予定)年月日	ロ 9.令和	⑫ 育児休業等取得日数	ヲ	⑬ 就業予定日数	A
3	⑩ 育児休業等開始年月日	B 9.令和	⑪ 育児休業等終了(予定)年月日	D 9.令和	⑫ 育児休業等取得日数	F	⑬ 就業予定日数	
4	⑩ 育児休業等開始年月日	G 9.令和	⑪ 育児休業等終了(予定)年月日	I 9.令和	⑫ 育児休業等取得日数	K	⑬ 就業予定日数	

- ◎ 1 都道府県コードについては記載されていない。
- ◎ 媒体に設定する様式コードは「2263」ではなく「2263700」である。

図4.13.1-3 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届

(令和4年10月現在)

第5章 社会保険労務士が ファイルを作成する場合

本書の第1章から第4章では、1事業所分の届出内容を1つの媒体（電子媒体届書CD、電子媒体届書DVD及びCSV形式届書ファイル）に収録、提出する方法を記載している。

適用事業所の届書の作成や提出を代行している社会保険労務士は、CD/DVD提出の場合に限り、1つの媒体（CD/DVD）に複数事業所分の届出内容を混在して収録することが可能である。

しかし、電子申請による申請に限っては、1つのファイル（CSV形式届書ファイル）に1事業所分の届出内容しか収録できないものとする。

社会保険労務士がファイルを作成する場合は、第1章から第4章までの内容と一部相違しているため、本章にて相違点を第1章から第4章に対応づけて説明する。

5. 1 提出形態

本節で記述している内容は、CD/DVD提出を行う場合の内容であり、電子申請を行う際には、「1. 3 電子申請について」を参照すること。

利用可能な媒体（CD/DVD）は、提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）に確認すること。

5. 1. 1 事務センター（年金事務所）提出

第1章との相違点は以下のとおりである。

(1) 媒体（副）の保管について

CD及びDVDの媒体は、媒体（正）を年金事務所へ提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

(2) ラベルの記載内容について

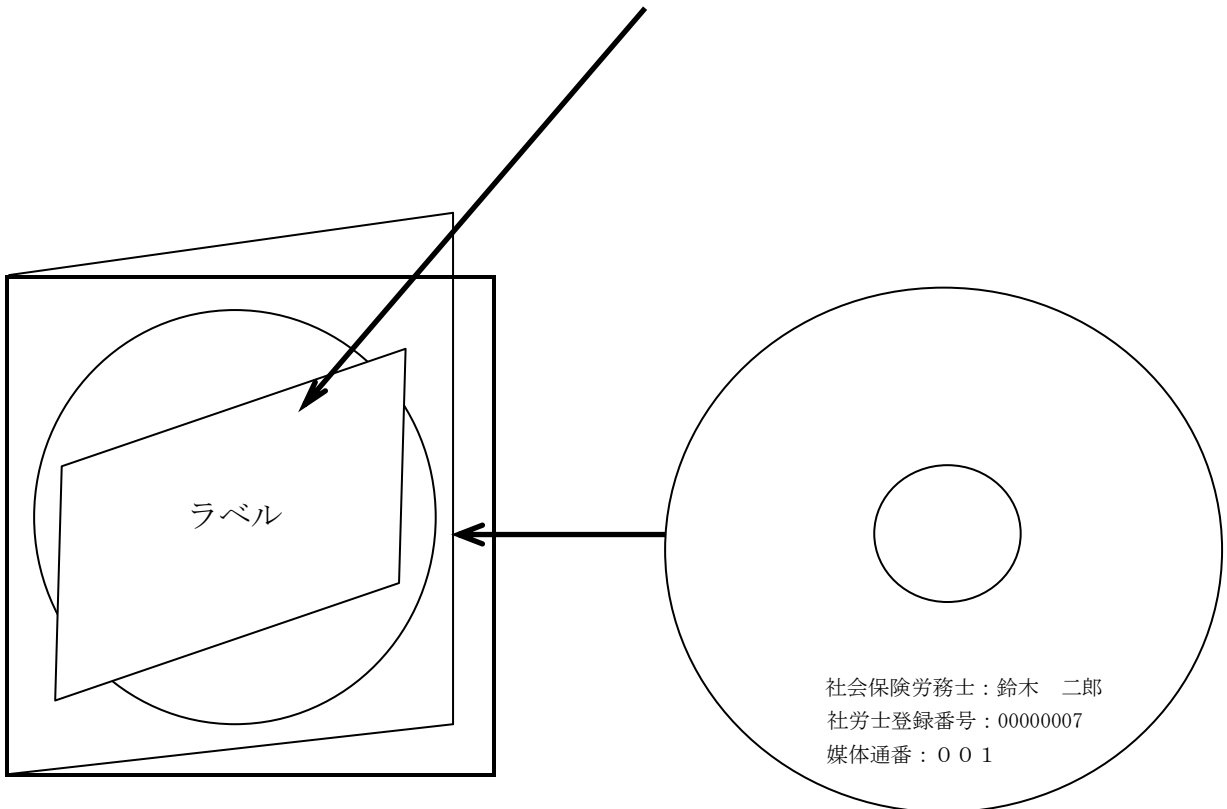
「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、年金事務所に提出する媒体の「提出元ID」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

(社会保険労務士登録番号の設定内容は、表5. 4. 1. 1-1 項番3のとおりである)

CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図5. 1. 1-1のとおりである。

健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）		
年金事務所：新宿		
社会保険労務士名 を記載する	社会保険労務士：鈴木 二郎	
社会保険労務士登録番号 を記載する	識別情報	社労士登録番号
		00000007
		媒体通番
		001
	届書総件数	980件
作成年月日：令和1年5月1日		



CD/DVDの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図5. 1. 1-1 CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例
(社会保険労務士が作成する場合)

5. 1. 2 健康保険組合提出

第1章との相違点は以下のとおりである。

(1) 媒体（副）の保管について

CD及びDVDの媒体は、媒体（正）を健康保険組合へ提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

(2) ラベルの記載内容について

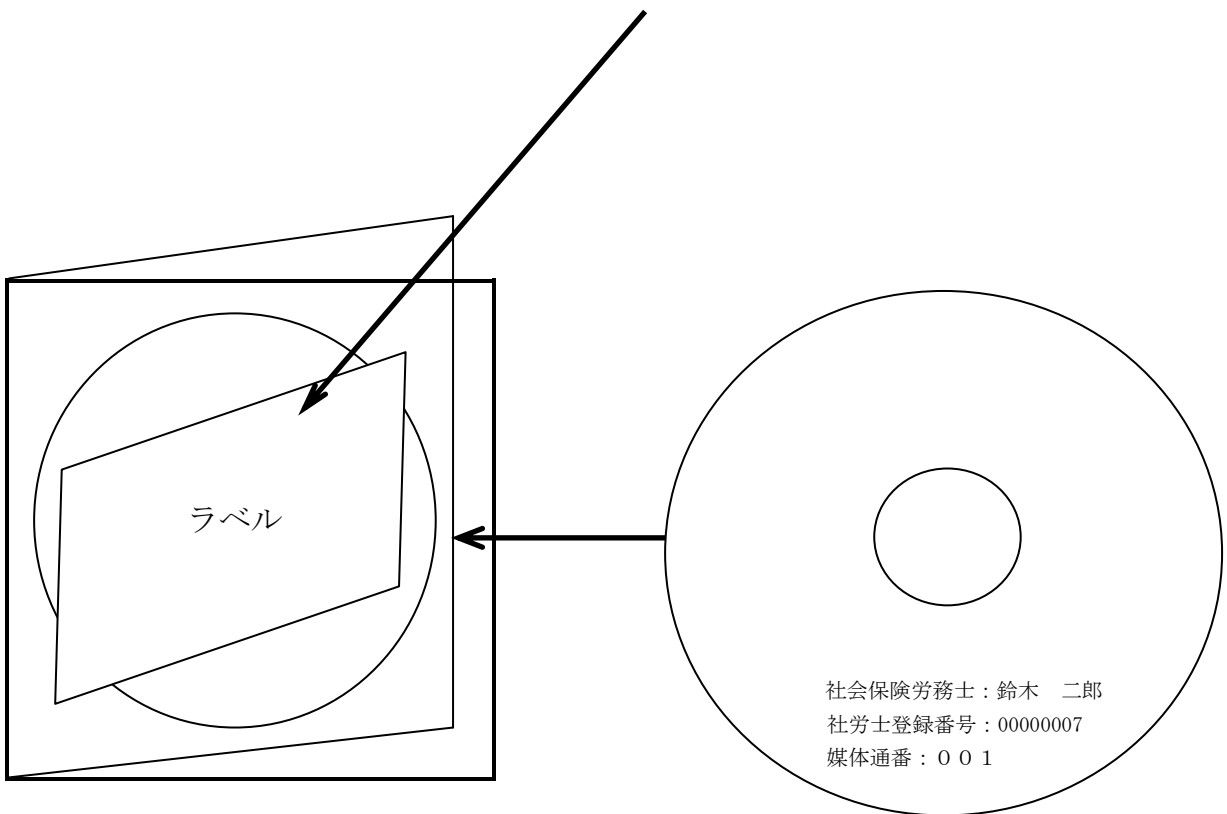
「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、健康保険組合に提出する媒体の「事業所番号」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

（社会保険労務士登録番号の設定内容は、表5. 4. 1. 2-1 項番3のとおりである）

CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図5. 1. 2. 1-1のとおりである。

健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）				
年金事務所：新宿				
社会保険労務士名 を記載する	社会保険労務士：鈴木 二郎			
社会保険労務士登録番号 を記載する	識別情報			
	<table border="1"> <tr> <td>社労士登録番号</td> <td>媒体通番</td> </tr> <tr> <td>00000007</td> <td>001</td> </tr> </table>	社労士登録番号	媒体通番	00000007
社労士登録番号	媒体通番			
00000007	001			
届書総件数	980件			
作成年月日：令和1年5月1日				



CD/DVDの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図5. 1. 2. 1-1 健康保険組合に提出するCDラベル、
DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例
(社会保険労務士が作成する場合)

5. 1. 3 厚生年金基金提出

第1章との相違点は以下のとおりである。

(1) 媒体（副）の保管について

CD及びDVDの媒体は、媒体（正）を厚生年金基金に提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

(2) ラベルの記載内容について

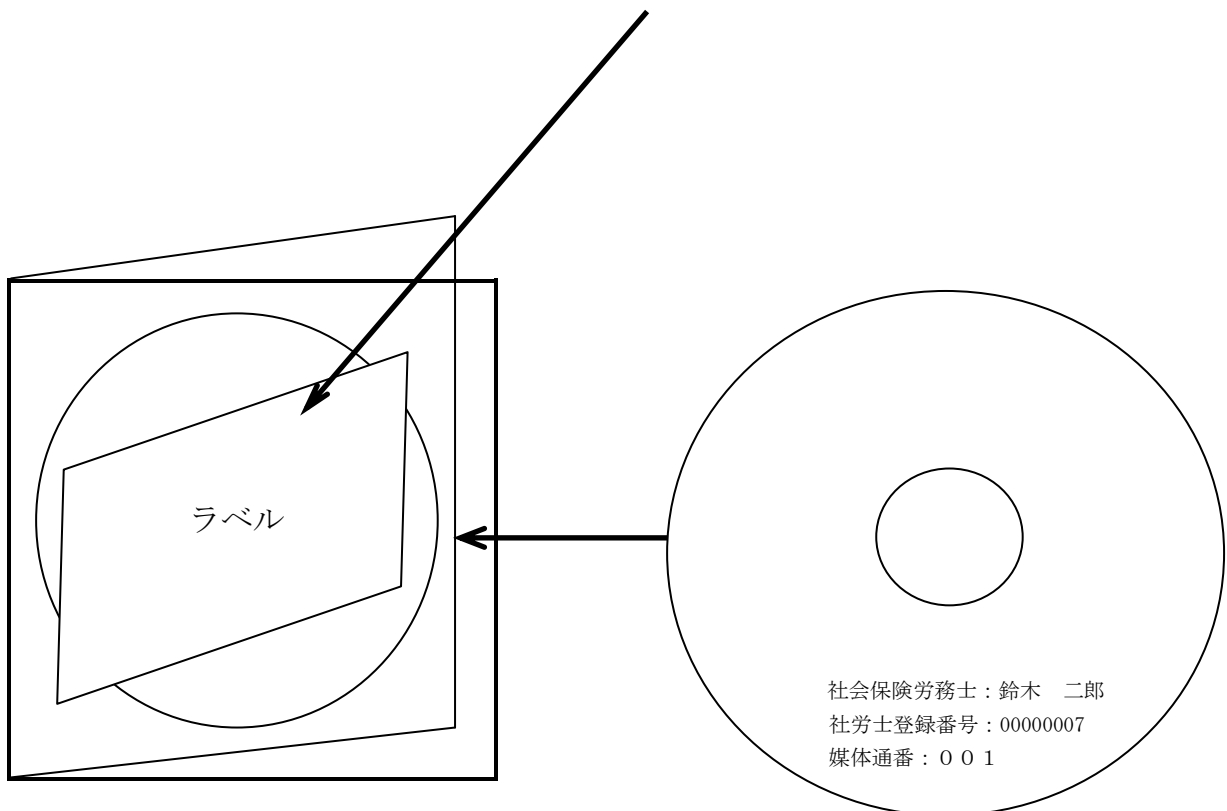
「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、厚生年金基金に提出する媒体の「事業所番号」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

（社会保険労務士登録番号の設定内容は、表5. 4. 1. 3-1 項番1のとおりである）

CDラベル、DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図5. 1. 3. 1-1のとおりである。

健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）				
年金事務所：新宿				
社会保険労務士名 を記載する	社会保険労務士：鈴木 二郎			
社会保険労務士登録番号 を記載する	識別情報			
	<table border="1"> <tr> <td>社労士登録番号</td> <td>媒体通番</td> </tr> <tr> <td>00000007</td> <td>001</td> </tr> </table>	社労士登録番号	媒体通番	00000007
社労士登録番号	媒体通番			
00000007	001			
届書総件数	980件			
作成年月日：令和1年5月1日				



CD/DVDの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図5. 1. 3. 1-1 健康保険組合に提出するCDラベル、
DVDラベルの記載例及びディスク本体の記載例
(社会保険労務士が作成する場合)

5. 2 ハード仕様

第2章のとおりであり、相違点はない。

5. 3 ソフト仕様

CD/DVD提出(年金事務所提出分)における第3章(事業所提出の場合)との相違点は、ファイル形式のみである。

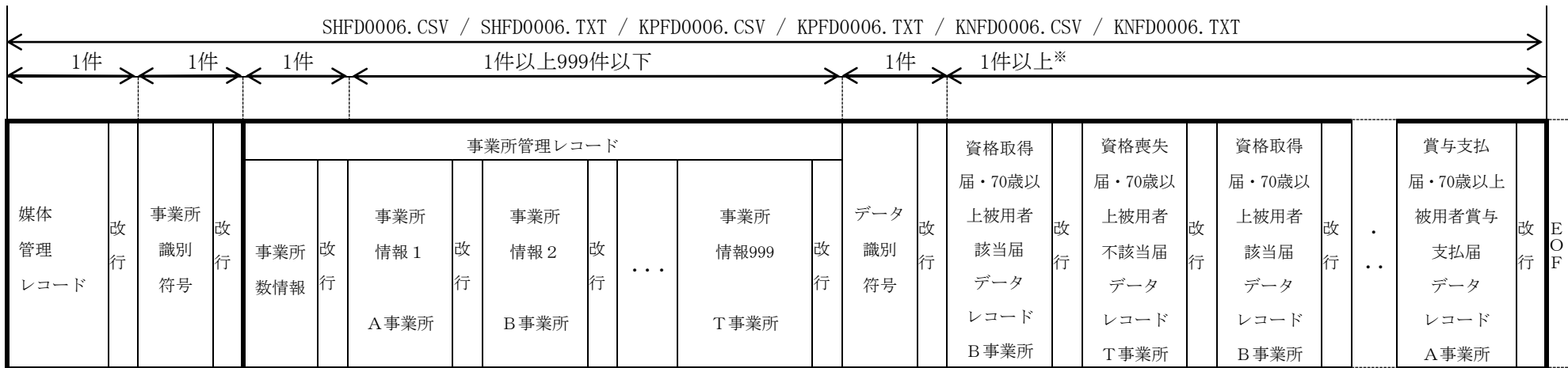
また、電子申請においては、1事業所収録のファイル形式(事業所提出のファイル形式)のため、第3章との相違点はない。

(1) ファイル形式

事業所管理レコードに同一管轄内で最大999の事業所情報を、順不同で収録することが可能である。

- ・ファイルの構成図は、図5. 3-1及び図5. 3-2のとおりである
- ・テキストエディタで作成した場合のファイルのイメージは、図5. 3-3のとおりである

なお、事業所管理レコードに引き続き設定する各データレコードの収録順については、事業所情報の収録順序に関わらず、順不同である。



※ 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード、
 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード、
 算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード、
 月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード、
 賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード、
 被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届データレコード、
 国民年金第3号被保険者関係届データレコード
 産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード
 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードのうち、1件以上収納する
 （ただし、健康保険組合提出媒体、厚生年金基金提出媒体は被扶養者（異動）届・国民年金第3号被保険者関係届、3号関係届は含まれない）

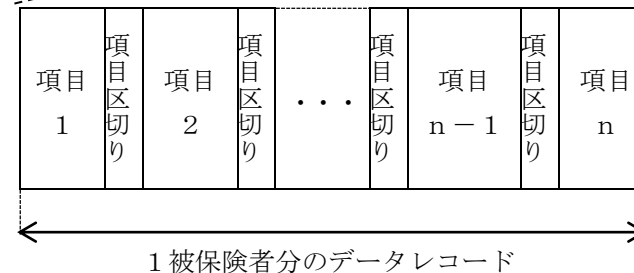


図 5. 3-1 ファイルの構成図（社会保険労務士がCD/DVD提出する場合）

※但し、電子申請の場合は各データレコードに含まれる事業所のデータは、**1事業所分のみの**収録とする。

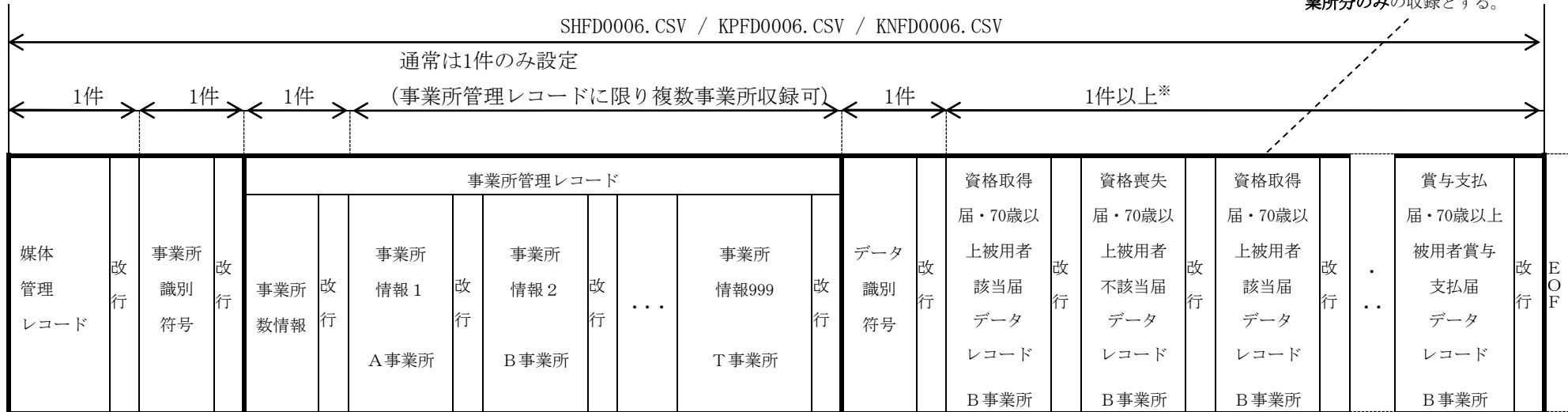


図 5. 3-2 ファイルの構成図 (社会保険労務士が電子申請する場合)

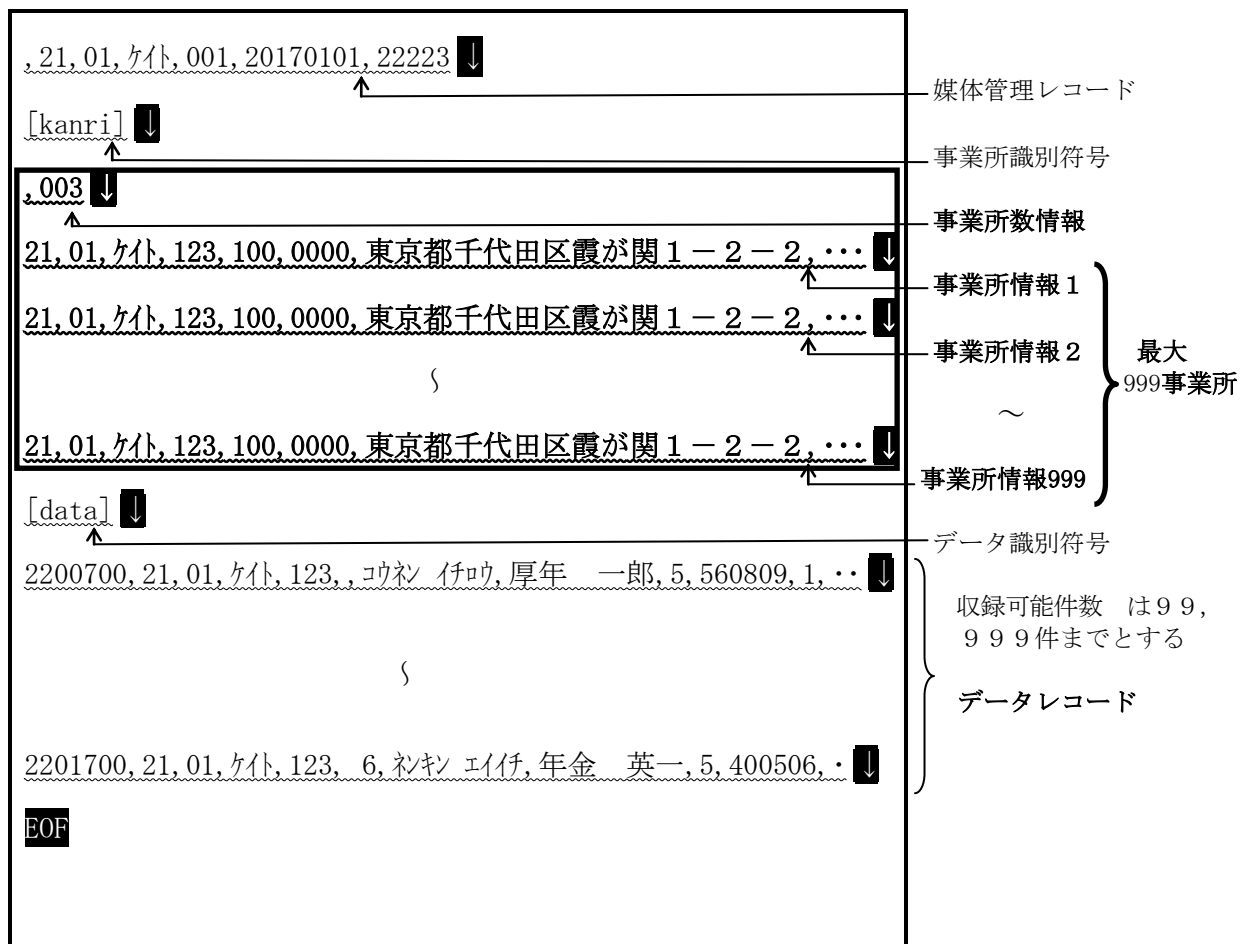


図5. 3-3 ファイルのイメージ (社会保険労務士が作成する場合)

5. 4 項目構成・項目説明・作成例

第4章との項目の相違点は媒体管理レコードおよび事業所管理レコードであり、項目の相違点について本節以降記載する。

各データレコードの各項目については、第4章のとおりであるが、社会保険労務士においては、提出方法によって、データレコードの収録形式が相違する。

(1) 社会保険労務士がCD/DVD提出する場合

- ・複数事業所収録、1事業所収録の双方が可能
- ・届出内容の混在が可能

(2) 社会保険労務士が電子申請する場合

- ・1事業所収録のみ可能
- ・届出内容の混在が可能

よって、社会保険労務士においては、従来通り複数事業所分の届出データを1つの媒体(CD/DVD)にまとめて収録し、提出する運用は今後も可能であるが、電子申請による届出を行う場合は、上記の収録形式の相違(1事業所収録のみ可能)があるため、注意が必要となる。

5. 4. 1 媒体管理レコード

5. 4. 1. 1 媒体管理レコード（年金事務所提出）

提出元IDに社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第4章のとおりである。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 1. 1-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 1. 1-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 1. 1-2のとおりである
- ・表5. 4. 1. 1-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 1. 1-2のとおりである

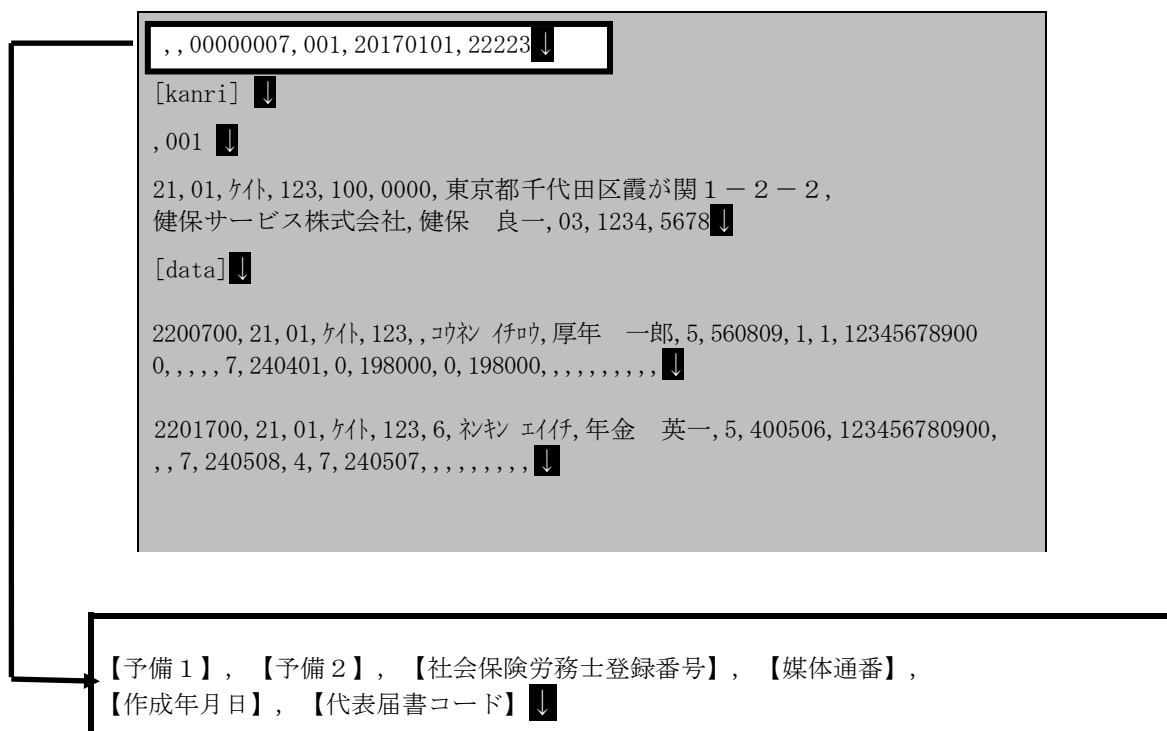


図5. 4. 1. 1-1 媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

表 5. 4. 1. 1-1 媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目説明

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
1	識 別 情 報	予備1	—	0	省略する	ア	
2		予備2	—	0		イ	
3		ID 社会 保険 労務士 登録 番号	数字	8		社会保険労務士登録番号を8文字で設定する (例) 社会保険労務士登録番号が「00000007」の 場合「0000007」と設定する	ウ
4		媒体通番	数字	3		提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章(4.1-2～4.1-3) の設定内容と同様である	エ
5		作成年月日	数字	8			オ
6		代表届書コード	数字	5			カ

表 5. 4. 1. 1 - 2 提出媒体の情報 (例)

項 目 名	設 定 内 容
社会保険労務士登録番号	0 0 0 0 0 0 0 7
媒体通番	0 0 1
媒体の作成年月日	2 0 1 7 年 1 月 1 日

図 5. 4. 1. 1 - 2 媒体管理レコード (年金事務所提出) の作成例

5. 4. 1. 2 媒体管理レコード（健康保険組合提出）

事業所番号に社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第4章のとおりである。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 1. 2-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 1. 2-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 1. 2-2のとおりである
- ・表5. 4. 1. 2-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 1. 2-2のとおりである

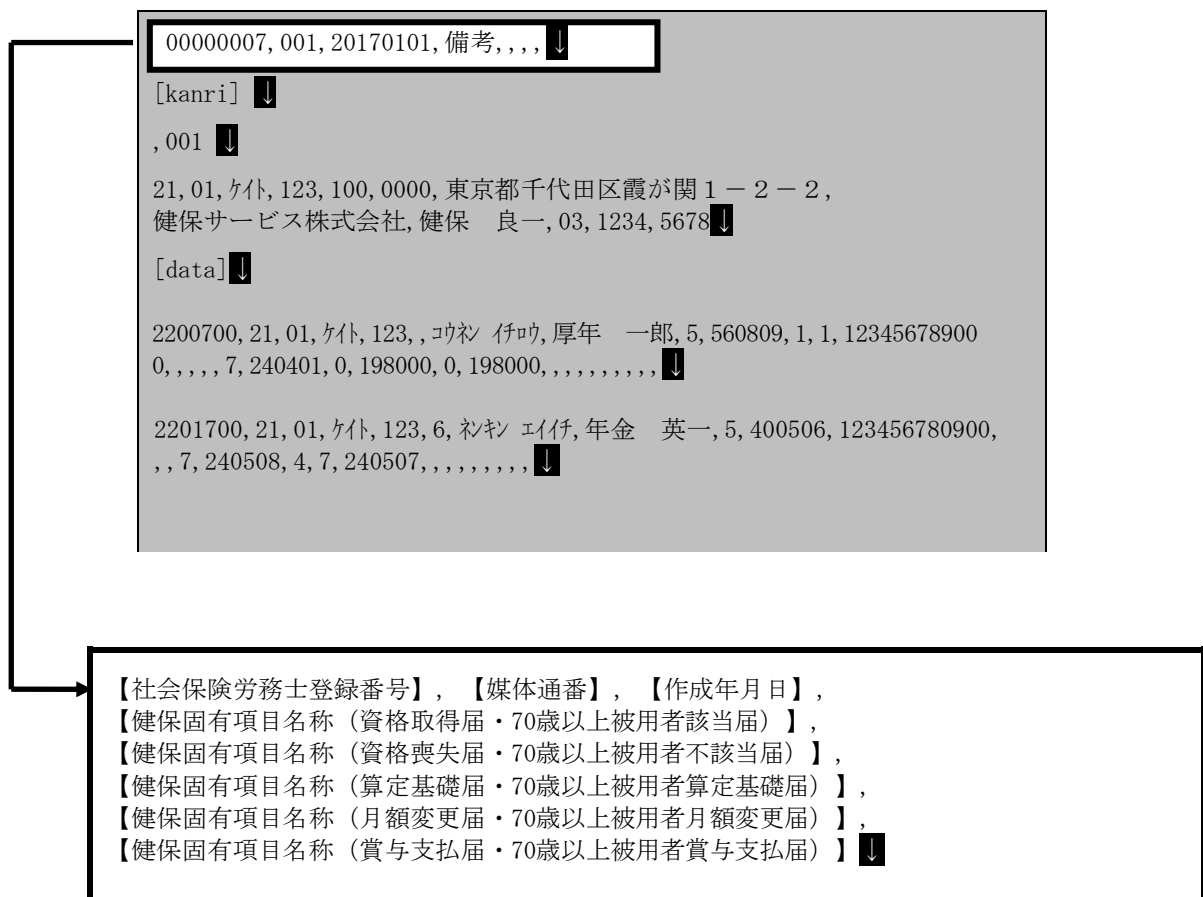


図5. 4. 1. 2-1 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

表 5. 4. 1. 2-1 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目説明（1/2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別 社会保険 労務士 登録番号	数字	8	社会保険労務士登録番号を8文字で設定する (例) 社会保険労務士登録番号が「00000007」の場合「00000007」と設定する	ア
2	情報 媒体通番	数字	3	提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章（P4. 1-6）の設定内容と同様である	イ
3	作成年月日	数字	8		ウ

表5. 4. 1. 2-1 媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目説明（2/2）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
4	健保固有項目名称（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～5	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	㊦
		数字 英字 カナ	0～10		
5	健保固有項目名称（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～5	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	㊧
		数字 英字 カナ	0～10		
6	健保固有項目名称（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～5	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	㊨
		数字 英字 カナ	0～10		
7	健保固有項目名称（月額変更届・70歳以上被用者月額変更届）	漢字	0～5	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	㊩
		数字 英字 カナ	0～10		
8	健保固有項目名称（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	0～5	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	㊪
		数字 英字 カナ	0～10		

表 5. 4. 1. 2 - 2 提出媒体の情報 (例)

項目名	設定内容
社会保険労務士登録番号	00000007
媒体通番	001
ファイルの作成年月日	2017年1月1日
健保固有項目名称 (資格取得届)	備考

00000007, 001, 20170101, 備考, ... ↓

図 5. 4. 1. 2 - 2 媒体管理レコード (健康保険組合提出) の作成例

5. 4. 1. 3 媒体管理レコード (厚生年金基金提出)

事業所番号に社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第4章のとおりである。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 1. 3-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 1. 3-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 1. 3-2のとおりである
- ・表5. 4. 1. 3-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 1. 3-2のとおりである

00000007, 001, 20170101, 備考,,,,,,,,, 退職年月日,,,,,,,,,
従前の標準給与月額,,,,,,,,, 従前の基準給与月額,,,,,,,,,
第3加算標準賞与額,,,,,,,,, ↓

[kanri] ↓

, 001 ↓

21, 01, ケイト, 123, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2,
健保サービス株式会社, 健保 良一, 03, 1234, 5678 ↓

[data] ↓

2200700, 21, 01, ケイト, 123, ,, コウシ イチ, 厚年 一郎, 5, 560809, 1, 1, 12345678900
0, ,, , 7, 240401, 0, 198000, 0, 198000, ,, ,, , ↓

2201700, 21, 01, ケイト, 123, 6, ネキ エイ, 年金 英一, 5, 400506, 123456780900,
, , 7, 240508, 4, 7, 240507, ,, ,, , ↓

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明 (1/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別 社会保険 労務士 登録番号	数字	8	社会保険労務士登録番号を8文字で設定する (例) 社会保険労務士登録番号が「00000007」 の場合「00000007」と設定する	ア
2	情報 媒体 通番	数字	3	提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章（P4. 1-11）の 設定内容と同様である	イ
3	作成年月日	数字	8		ウ
4	基金固有項目名 称1（資格取得 届・70歳以上被用 者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金 基金固有の項目名称を設定する	エ
		数字 英字 カナ	0～20		
5	基金固有項目名 称2（資格取得 届・70歳以上被用 者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金 基金固有の項目名称を設定する	オ
		数字 英字 カナ	0～20		
6	基金固有項目名 称3（資格取得 届・70歳以上被用 者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金 基金固有の項目名称を設定する	カ
		数字 英字 カナ	0～20		
7	基金固有項目名 称4（資格取得 届・70歳以上被用 者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金 基金固有の項目名称を設定する	キ
		数字 英字 カナ	0～20		
8	基金固有項目名 称5（資格取得 届・70歳以上被用 者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金 基金固有の項目名称を設定する	ク
		数字 英字 カナ	0～20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明（2/8）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
9	基金固有項目名称6（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊦
		数字 英字 カナ	0～20		
10	基金固有項目名称7（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊧
		数字 英字 カナ	0～20		
11	基金固有項目名称8（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊨
		数字 英字 カナ	0～20		
12	基金固有項目名称9（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊩
		数字 英字 カナ	0～20		
13	基金固有項目名称10（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	0～10	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊪
		数字 英字 カナ	0～20		
14	基金固有項目名称1（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊫
		数字 英字 カナ	0～20		
15	基金固有項目名称2（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊬
		数字 英字 カナ	0～20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明（3/8）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
16	基金固有項目名称3（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊴
		数字 英字 カナ	0～20		
17	基金固有項目名称4（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊵
		数字 英字 カナ	0～20		
18	基金固有項目名称5（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊶
		数字 英字 カナ	0～20		
19	基金固有項目名称6（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊷
		数字 英字 カナ	0～20		
20	基金固有項目名称7（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊸
		数字 英字 カナ	0～20		
21	基金固有項目名称8（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊹
		数字 英字 カナ	0～20		
22	基金固有項目名称9（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊺
		数字 英字 カナ	0～20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明（4/8）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
23	基金固有項目名称10（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	0～10	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
24	基金固有項目名称1（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
25	基金固有項目名称2（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
26	基金固有項目名称3（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
27	基金固有項目名称4（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
28	基金固有項目名称5（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		
29	基金固有項目名称6（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	0～10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ㄨ
		数字 英字 カナ	0～20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (5/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
30	基金固有項目名称7(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字	0~10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊦
		数字 英字 カナ	0~20		
31	基金固有項目名称8(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字	0~10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊧
		数字 英字 カナ	0~20		
32	基金固有項目名称9(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字	0~10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊨
		数字 英字 カナ	0~20		
33	基金固有項目名称10(算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届)	漢字	0~10	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊩
		数字 英字 カナ	0~20		
34	基金固有項目名称1(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊪
		数字 英字 カナ	0~20		
35	基金固有項目名称2(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊫
		数字 英字 カナ	0~20		
36	基金固有項目名称3(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊬
		数字 英字 カナ	0~20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (6/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
37	基金固有項目名称4(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㉟
		数字 英字 カナ	0~20		
38	基金固有項目名称5(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊿
		数字 英字 カナ	0~20		
39	基金固有項目名称6(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊽
		数字 英字 カナ	0~20		
40	基金固有項目名称7(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊾
		数字 英字 カナ	0~20		
41	基金固有項目名称8(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊼
		数字 英字 カナ	0~20		
42	基金固有項目名称9(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊾
		数字 英字 カナ	0~20		
43	基金固有項目名称10(月額変更届・70歳以上被用者月額変更届)	漢字	0~10	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊿
		数字 英字 カナ	0~20		

表5. 4. 1. 3-1 媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明 (7/8)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
44	基金固有項目名称1(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊦
		数字 英字 カナ	0~20		
45	基金固有項目名称2(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊧
		数字 英字 カナ	0~20		
46	基金固有項目名称3(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊨
		数字 英字 カナ	0~20		
47	基金固有項目名称4(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊩
		数字 英字 カナ	0~20		
48	基金固有項目名称5(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊪
		数字 英字 カナ	0~20		
49	基金固有項目名称6(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊫
		数字 英字 カナ	0~20		
50	基金固有項目名称7(賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届)	漢字	0~10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	㊬
		数字 英字 カナ	0~20		

表 5. 4. 1. 3 - 1 媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明 （8 / 8）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
5 1	基金固有項目名称 8（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	0～10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	F
		数字 英字 カナ	0～20		
5 2	基金固有項目名称 9（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	0～10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	G
		数字 英字 カナ	0～20		
5 3	基金固有項目名称 10（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	0～10	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	H
		数字 英字 カナ	0～20		

5. 4. 2 事業所管理レコード

5. 4. 2. 1 事業所管理レコード（年金事務所提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大999）を設定する。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 2. 1-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 2. 1-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 2. 1-2のとおりである
- ・表5. 4. 2. 1-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 2. 1-2のとおりである

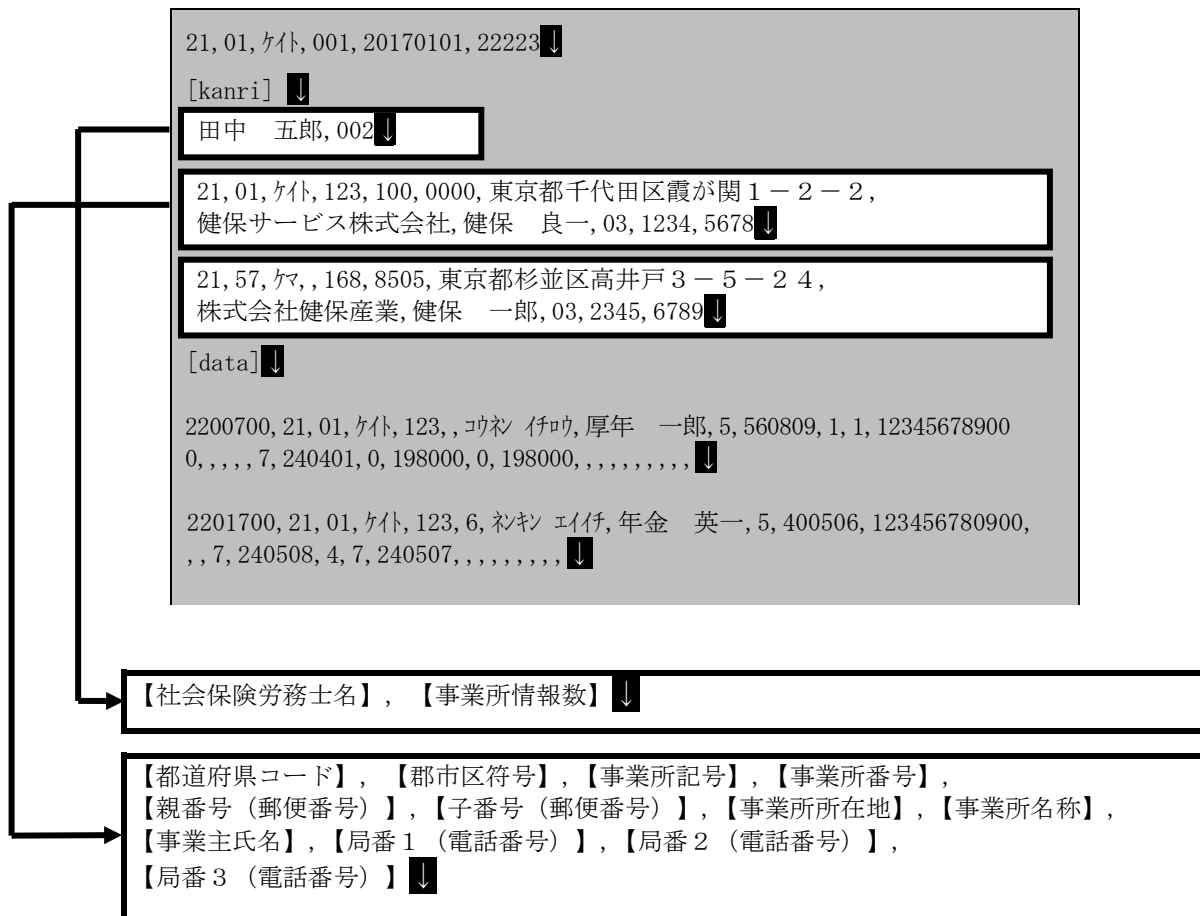


図5. 4. 2. 1-1 事業所管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

表5. 4. 2. 1-1 事業所管理レコード(年金事務所提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	1～12	<p>社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の上に全角スペースを1文字設定する</p> <p>ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する</p> <p>社会保険労務士氏名が「田中 K 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する</p>	ア
		カナ	1～25	<p>なお、氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを25文字以内のカナで設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「高田 六郎」(“高”は使用不可文字)の場合、 「高田△六郎」(代替え文字使用)または、 「タカダ△ロクウ」(カナ使用)と設定する</p>	
2	事業所情報数	数字	1～3	<p>設定した事業所情報の数を1から999の範囲で1文字以上3文字以内で設定する</p> <p>(例) 設定する事業所情報が9事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい</p>	イ

表5. 4. 2. 1-1 事業所管理レコード(年金事務所提出)の項目説明(事業所情報)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例	
1	事業所 整理 記号	都道府県 コード	数字	2	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章（P4. 3-6～P4. 3-7）の設定内容と同様である 設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である年金事務所の管轄区内の事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	㊦, ㊧, ㊨	
2		郡市区 符号	数字	2		㊩, ㊪, ㊫	
3		事業所 記号	数字 英字 カナ	1～4		㊬, ㊭, ㊮	
4		事業所番号		数字		1～5	㊯, ㊰, ㊱
5		郵便 番号	親番号	数字		3	㊲, ㊳, ㊴
6			子番号	数字		4	㊵, ㊶, ㊷
7	事業所所在地		漢字	1～37	㊸, ㊹, ㊺		
			数字 英字 カナ	1～75			
8	事業所名称		漢字	1～25	㊻, ㊼, ㊽		
			カナ	1～50			
9	事業主氏名		漢字	1～12	㊾, ㊿, ㊽		
			カナ	1～25			
10	電 話 番 号	局番1	数字	2～5	㊿, ㊽, ㊾		
11		局番2	数字	1～4	㊿, ㊽, ㊾		
12		局番3	数字	4～5	㊿, ㊽, ㊾		

表 5. 4. 2. 1-2 提出媒体の情報 (例)

項目名	設定内容	
社会保険労務士氏名	田中 五郎	
事業所情報数	2	
事業所情報 1	事業所整理記号	01-ケイト
	事業主番号氏名	123
	事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保 良一
	事業所電話番号	03-1234-5678
事業所情報 2	事業所整理記号	57-ケマ
	事業主番号氏名	
	事業所所在地	〒168-8505 東京都杉並区高井戸3-5-24
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保 一郎
	事業所電話番号	03-2345-6789

田中 五郎, 002
21, 01, ケイト, 123, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2, 健保サービス株式会社, 健保 良一, 03, 1234, 5678
21, 57, ケマ, 168, 8505, 東京都杉並区高井戸2-5-24, 株式会社健保産業, 健保 一郎, 03, 2345, 6789

図 5. 4. 2. 1-2 事業所管理レコード (年金事務所提出) の作成例

5. 4. 2. 2 事業所管理レコード（健康保険組合提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大999）を設定する。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 2. 2-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 2. 2-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 2. 2-2のとおりである
- ・表5. 4. 2. 2-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 2. 2-2のとおりである



図5. 4. 2. 2-1 事業所管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

表5.4.2.2-1 事業所管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	1～12	<p>社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する</p> <p>ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する</p> <p>社会保険労務士氏名が「田中 K 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する</p>	㊦
		カナ	1～25	<p>なお、氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを25文字以内のカナで設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「高田 六郎」(“高”は使用不可文字)の場合、 「高田△六郎」(代替え文字使用)または、 「たかだ△ろくろ」(カナ使用)と設定する</p>	
2	事業所情報数	数字	1～3	<p>設定した事業所情報の数を1から999の範囲で1文字以上3文字以内で設定する</p> <p>(例) 設定する事業所情報が9事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい</p>	㊦

表 5. 4. 2. 2 - 1 事業所管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所番号 (健保組合)		数字 英字	1～4	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章(4. 3-10～4. 3-11)の設定内容と同様である	㉔, ㉕, ㉖
2	郵便番号	親番号	数字	3	設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である健康保険組合に加入している事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	㉗, ㉘, ㉙
3		子番号	数字	4		㉚, ㉛, ㉜
4	事業所所在地		漢字	1～37		㉝, ㉞, ㉟
			数字 英字 カナ	1～75		
5	事業所名称		漢字	1～25	㊱, ㊲, ㊳	
			カナ	1～50		
6	事業主氏名		漢字	1～12	㊴, ㊵, ㊶	
			カナ	1～25		
7	電話番号	局番1	数字	2～5	㊷, ㊸, ㊹	
8		局番2	数字	1～4		
9		局番3	数字	4～5		

表 5. 4. 2. 2-2 提出媒体の情報 (例)

項目名		設定内容
社会保険労務士氏名		田中 五郎
事業所情報数		2
事業所情報 1	事業所番号 (健保組合)	0001
	事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保 良一
	事業所電話番号	03-1234-5678
事業所情報 2	事業所番号 (健保組合)	0002
	事業所所在地	〒168-8505 東京都杉並区高井戸3-5-24
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保 一郎
	事業所電話番号	03-2345-6789

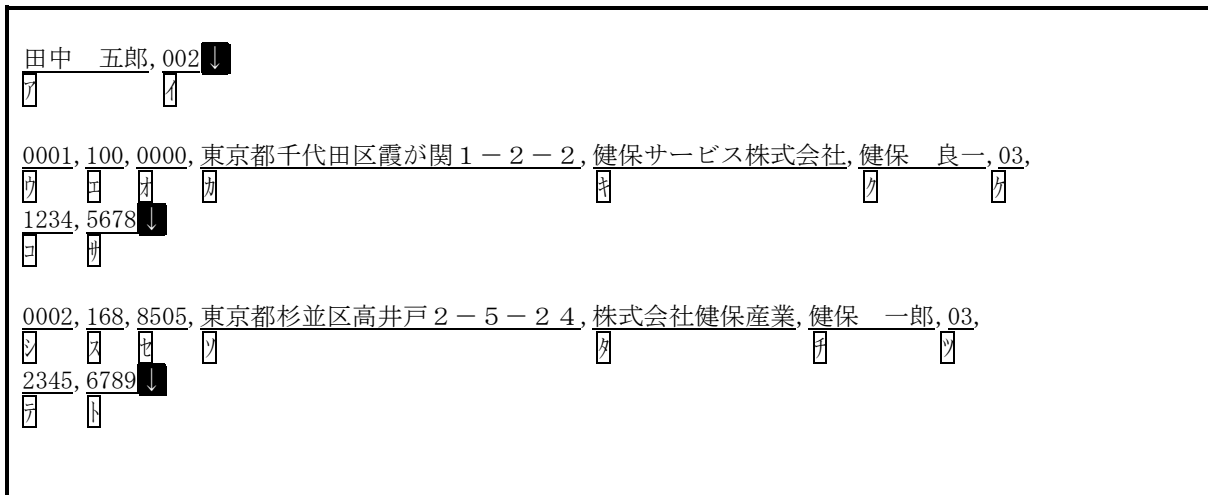


図 5. 4. 2. 2-2 事業所管理レコード (健康保険組合提出) の作成例

5. 4. 2. 3 事業所管理レコード（厚生年金基金提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大999）を設定する。

- ・レコードの項目構成は、図5. 4. 2. 3-1のとおりである
- ・レコードの各項目の説明は、表5. 4. 2. 3-1のとおりである
- ・レコードに設定する内容は、表5. 4. 2. 3-2のとおりである
- ・表5. 4. 2. 3-2に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図5. 4. 2. 3-2のとおりである

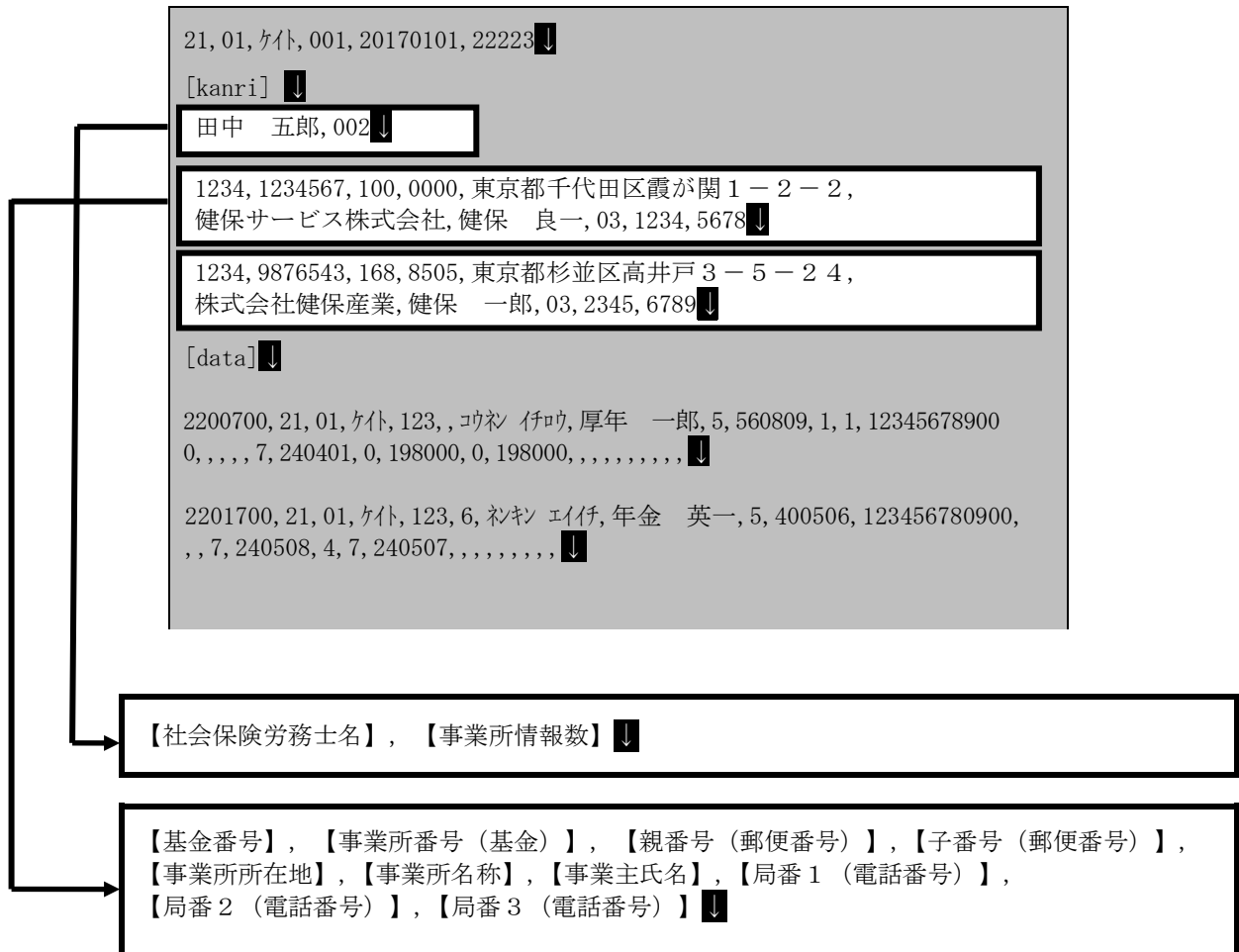


図5. 4. 2. 3-1 事業所管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

表5.4.2.3-1 事業所管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	1～12	<p>社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する</p> <p>ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する</p> <p>社会保険労務士氏名が「田中 K 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する</p>	㊦
		カナ	1～25	<p>なお、氏名に「3.4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを25文字以内のカナで設定する</p> <p>(例) 社会保険労務士氏名が「高田 六郎」(“高”は使用不可文字)の場合、 「高田△六郎」(代替え文字使用)または、 「たかだ△ろくわう」(カナ使用)と設定する</p>	
2	事業所情報数	数字	1～3	<p>設定した事業所情報の数を1から999の範囲で1文字以上3文字以内で設定する</p> <p>(例) 設定する事業所情報が9事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい</p>	㊦

表5.4.2.3-1 事業所管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	基金番号		数字	1～4	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第4章(4.3-14～4.3-15)の設定内容と同様である 設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である厚生年金基金に加入している事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	㉔, ㉕, ㉖
2	事業所番号(基金)		数字 英字	1～7		㉗, ㉘, ㉙
3	郵便番号	親番号	数字	3		㉚, ㉛, ㉜
4	番号	子番号	数字	4		㉝, ㉞, ㉟
5	事業所所在地		漢字	1～37		㊱, ㊲, ㊳
			数字 英字 カナ	1～75		
6	事業所名称		漢字	1～25		㊴, ㊵, ㊶
			カナ	1～50		
7	事業主氏名		漢字	1～12		㊷, ㊸, ㊹
			カナ	1～25		
8	電話番号	局番1	数字	2～5	㊺, ㊻, ㊼	
9		局番2	数字	1～4	㊽, ㊾, ㊿	
10		局番3	数字	4～5	㊿, ㊿, ㊿	

表5. 4. 2. 3-2 提出媒体の情報 (例)

項目名	設定内容	
社会保険労務士氏名	田中 五郎	
事業所情報数	2	
事業所情報 1	基金番号	1 2 3 4
	事業所番号 (基金)	1 2 3 4 5 6 7
	事業所所在地	〒100-0000 東京都千代田区霞が関1-2-2
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保 良一
	事業所電話番号	03-1234-5678
事業所情報 2	基金番号	1 2 3 4
	事業所番号 (基金)	9 8 7 6 5 4 3
	事業所所在地	〒168-8505 東京都杉並区高井戸3-5-24
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保 一郎
	事業所電話番号	03-2345-6789

田中 五郎, 002
1234, 1234567, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関1-2-2, 健保サービス株式会社, 健保 良一, 03, 1234, 5678
1234, 9876543, 168, 8505, 東京都杉並区高井戸2-5-24, 株式会社健保産業, 健保 一郎, 03, 2345, 6789

図5. 4. 2. 3-2 事業所管理レコード (厚生年金基金提出) の作成例

参考資料 1

J I Sコード→シフト J I Sコードシフト方法

今回使用するシフト J I Sコードについて、J I Sコードからのシフト方法は以下のとおりである。

J I Sコードにおける上位バイトをHIGH₁、下位バイトをLOW₁とし、条件に従って以下の計算を(1)～(4)の順番で行う。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| (1) HIGH ₁ が奇数の場合 | LOW ₂ = LOW ₁ + 1 F |
| HIGH ₁ がそれ以外の場合 | LOW ₂ = LOW ₁ + 7 D |
| (2) LOW ₂ が 7 F 以上の場合 | LOW ₃ = LOW ₂ + 1 |
| それ以外の場合 | LOW ₃ = LOW ₂ (計算なし) |
| (3) 無条件 (必ず行う) | HIGH ₂ = (HIGH ₁ - 2 1) / 2 + 8 1 |
| (4) HIGH ₂ が 9 F より大きい場合 | HIGH ₃ = HIGH ₂ + 4 0 |
| それ以外の場合 | HIGH ₃ = HIGH ₂ (計算なし) |

シフト J I Sコードにおける上位バイトはHIGH₃、下位バイトはLOW₃となる

(計算例) 「壘」 (J I Sコード 3 0 2 1) のシフト方法

- HIGH₁ = 3 0 LOW₁ = 2 1
- (1) HIGH₁ = 3 0 は偶数 (1 0 進数に直すと 4 8) であるため
 LOW₂ = 2 1 + 7 D
 = 9 E
- (2) LOW₂ = 9 E ≥ 7 F であるため
 LOW₃ = 9 E + 1
 = 9 F
- (3) HIGH₂ = (3 0 - 2 1) / 2 + 8 1
 = 8 8
- (4) 計算なし (HIGH₂ = 8 8 < 9 F であるため)

→ 「壘」のシフト J I Sコードは 8 8 9 F となる

参考資料 2

使用可能文字一覧(2バイト文字)

注意事項: 下記の文字は出力例であり、健康保険証等に印字される字形とは異なる場合があります。

1. 特殊文字

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140	SP	、	。	、	・	・	∥	全	々	ズ	〇	ー	ー	-	/	\
8150	—	—	、	ゝ	ゞ	∥	全	々	ズ	〇	ー	ー	-	/	\	
8160	~	//		…	..	‘	’	“	”	()	[]	[]	{
8170	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×	
8180	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥
8190	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=			

2. 数字

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8240																0
8250	1	2	3	4	5	6	7	8	9							

3. ローマ字

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8260	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8270	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
8280		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
8290	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					

4. 平仮名

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8290																
82A0	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	あ
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ち	っ	っ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぽ
82D0	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め
82E0	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														

5. 片仮名

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8340	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ピ	ピ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									

6. ギリシア文字

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8390																A
83A0	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P
83B0	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									

7. ロシア文字

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														

8. 漢字(第一水準)

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8890																垂
88A0	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦
88B0	芦	鯪	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	栗	裕
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	菱	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	椅	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	稻	茨
88F0	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	確
8950	臼	渦	噓	唄	蔚	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	嚙	窺	運	雲
8960	荏	餌	叡	嘗	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎
8970	荏	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
8990	艷	苑	菌	遠	鉛	駕	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	押
89A0	旺	橫	欧	毆	王	翁	襖	薦	鷗	黃	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	會
89F0	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拈	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	拈	岳	樂	額	顎	掛	笠	檜	
8A80	櫃	梶	鯁	滂	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
8A90	叶	栳	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歛	汗	漢
8AC0	潤	漣	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
8AD0	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	缶	丸	含	岸	巖	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	焯	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拋	举	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	狹	叫	喬	境	峽	強	疆	怯
8BB0	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蓄	鄉	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	糶	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	劊	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	彙	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薰
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袞	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	徑	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經

ｼﾝｼﾞ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8C70	繼	繫	罨	莖	荊	蛩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	檢
8CA0	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險
8CB0	顛	驗	齷	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	湖	狐
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	訃	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉞	砘	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	又	唆	嗟	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖	娑	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歲	濟
8DD0	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榭	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鯉	筵	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	參	山	慘	撒	散	栈	燦	珊	產	算	纂	蚕	讀	贊	酸
8E60	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	止		
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	試	誌	
8E90	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	時	次	
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	式	識	
8EB0	鳴	竺	軸	穴	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	疾	質	
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	斜	煮	
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	酌	积	
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	腫	趣	
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	曾	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎	柔
8F60	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	尚	庄	
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞞	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常	情	擾
8FF0	条	杖	淨	狀	暈	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	墳	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筭	諷	須	醉	凶	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨
9090	瑞	髓	崇	嵩	數	枢	趨	雛	据	杉	相	萱	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設	窃	節
90E0	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰

ㄉㄤ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
90F0	栓	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糗	噲	塑	岨	措	曾	曾	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	溯	鼠	僧	創	雙
9170	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想	搜	掃	插	搔	
9180	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	綵	綜	聰
9190	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	臟
91A0	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊
91B0	族	統	卒	袖	其	掄	即	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	訖	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	椿	陀	馱	驢	體	堆	對	耐
91D0	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醜	題	鷹	淹	灌	卓	啄	宅	托
91F0	扞	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脫	異	豎	汕	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	單	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筮	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	值	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	牂	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	捆	楓	佃
92D0	漬	柘	辻	薦	綴	鏢	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亨	低	停	偵	荆	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逋			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏘	溺	哲	徹
9350	撒	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軫	顛	点
9360	佗	殿	澗	田	電	兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	鳴	悼	投	搭	束	桃	梲	棟
9390	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闕	働	動	同
93B0	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	鴿	匿	得	德
93C0	澆	特	督	禿	篤	毒	独	読	析	橡	凸	突	椽	届	鳶	苦
93D0	寅	酉	濤	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍	奈	那
93E0	內	乍	凧	薙	謎	灘	捺	鍋	檜	馴	繩	啜	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弑	迹	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	萑	任	妊	忍	認	濡	禰	衿	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	迺	之	楚	囊	惱	濃	納	能	腦	膿	農
9460	覘	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	糜	捋	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	菽	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	拍
94A0	箱	裕	箸	肇	筭	櫨	幡	肌	畑	阜	八	鉢	澆	駁	醜	髮
94B0	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩
94D0	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	費	
94F0	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美			
9540	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彥	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姬	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	冰	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鉅	蒜	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	賦	赴	阜	附	侮	撫	福
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	伏	副	復	幅	服	福	
95A0	腹	複	覆	淵	弗	扌	沸	仏	物	分	吻	噴	墳	憤	扮	

シ卜JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	舖	鋪	圃	捕
95E0	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	邦	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	鈞	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
9690	鱒	榭	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	俚	繭	磨	万	慢	滿	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵠	掠	媚	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	杳	勿	餅	尤	戾
96E0	粃	貰	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	藥	訛	躍	靖	柳	蕪	鏹	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	袖	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	與	譽
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	落	酪	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	寮	料
97C0	梁	涼	胤	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	璫	璫	壘	淚	累	類	令
97E0	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	禮	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	曆
97F0	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	芳	婁	廊	弄	朗	樓
9850	榔	浪	漏	牢	狼	竈	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	亘	鱈	祿	蕨	蕨	碗
9870	灣	碗	腕													

9. 漢字(第2水準)

シ卜JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9890																弋
98A0	丐	丕	个	卩	丶	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	弋
98B0	于	亞	亟	卩	亢	京	亳	亘	从	仍	仄	仆	仿	仗	舒	弋
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	仃	佶	侈	侏	佻	佻	佩	佰
98D0	侑	伴	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	侖	俚	侗	侑	俚	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	倅	倅	倡	倩	倅	倅	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	倭	偈	倅	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂			
9940	僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
9950	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
9960	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
9970	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪
9980	鳳	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪	冪
9990	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
99A0	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
99B0	勿	匈	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸
99C0	卅	卉	卅	準	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
99D0	廠	厶	參	纂	雙	叟	曼	夔	夔	叮	叨	叭	叭	厦	呀	听
99E0	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	咎	咒	呻
99F0	咀	呶	咄	咐	咆	哇	骂	咸	啞	咬	哄	哈	咨			
9A40	呶	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤

シラJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9A50	啞	啣	啞	售	啜	啖	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗
9A60	啞	啣	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9A70	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9A80	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9A90	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9AA0	國	圍	圓	團	圖	畜	園	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	垂
9AB0	垠	坡	坳	坳	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	聖
9AC0	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	坳	墾
9AD0	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墾
9AE0	壘	壯	壺	壹	壺	壺	壽	久	久	久	久	久	久	久	久	本
9AF0	夸	夾	奇	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	
9B40	奸	灼	妝	佞	佞	妣	妣	妣	妣	姜	妍	妊	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	媽
9B60	媽	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	孃
9B70	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	
9B80	它	宦	宸	冤	寇	霍	寔	寐	寔	實	寔	寔	寔	寔	寔	寶
9B90	寶	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅	尸	尹	屮	屮	屮	屮	屮
9BA0	屏	孱	屬	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮
9BB0	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
9BC0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
9BD0	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢
9BE0	厄	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛
9BF0	幣	幫	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵
9C40	廖	廣	廝	廚	廝	廢	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝
9C50	弃	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗
9C60	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗
9C70	排	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
9C80	怙	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂
9C90	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆
9CA0	俊	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖
9CB0	愠	愕	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠
9CC0	愠	愧	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊
9CD0	愠	傷	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊	慊
9CE0	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫
9CF0	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺
9D40	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	扑	抔	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	拋	拉	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖	掖
9D80	振	掾	措	揀	揆	揣	揉	插	擲	揄	搖	擻	擻	擻	擻	擻
9D90	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗
9DA0	擒	擅	擇	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻	撻
9DB0	擴	擲	擺	攀	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪
9DC0	攷	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效	效
9DD0	斷	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
9DE0	杳	昵	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶
9DF0	晰	鼻	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈
9E40	曄	瞭	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖	曖
9E50	霸	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
9E60	杼	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪
9E70	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝
9E80	梳	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
9E90	梵	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
9EA0	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
9EB0	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣
9EC0	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟

シラJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9ED0	榧	榎	榑	榎	榜	榕	榴	榿	榔	樂	穆	槿	權	棹	榭	槩
9EE0	椈	榦	樞	械	櫟	榑	樊	櫛	檣	樣	樓	橄	槓	檣	櫟	槩
9EF0	橈	橢	橙	橙	橈	樸	鳩	檣	檣	檣	檣	檣	檣			
9F40	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	櫻	櫻
9F50	葉	櫛	櫛	櫛	鬱	櫛	欵	欵	盜	欵	飲	歇	歇	歇	歇	歇
9F60	歛	歛	歛	歛	歸	歹	歿	歿	歿	歿	歿	歿	歿	歿	歿	歿
9F70	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫
9F80	磨	氈	氈	氈	氣	氛	氫	氣	汞	汕	汙	沂	互	止	沁	汴
9F90	汾	汨	汨	沒	沐	泄	決	泓	沽	泗	泗	沂	沮	沱	沾	汴
9FA0	泛	泯	泯	泯	洩	衍	洩	洩	洽	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
9FB0	涓	浚	浚	浚	浙	涎	涕	濤	涅	淹	洩	淵	涵	洪	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	洶	淨	淒	淒	淺	淙	淤	涇	淪	淮	渭	湮	涸
9FD0	渙	浚	渙	渙	渣	湫	渫	渫	湫	渫	渫	渫	渫	渫	渫	渫
9FE0	游	澗	溪	澗	混	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷
9FF0	溟	瀕	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑	漑			
E040	漾	瀉	瀉	瀉	滯	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	潘	澎
E050	漚	濂	漚	澳	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	潘	澎
E060	漚	濂	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	潘	澎
E070	瀾	激	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	焦	焦	焦
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煥	煥	煥	煥	焦	焦	焦
E090	煩	熨	熬	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	焦	焦	焦
E0A0	燿	爍	爐	爛	爍	爭	爬	爍	爲	爍	爍	爍	爍	爍	爍	爍
E0B0	牴	牴	犁	犁	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄	犄
E0C0	貉	狼	狡	狹	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽
E0D0	獒	獒	默	獒	獒	獨	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒
E0E0	珥	珥	珥	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠	璠
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓏	瓏			
E140	瓠	瓣	舄	舄	舄	舄	舄	舄	舄	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
E150	甕	甕	菅	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
E160	畫	除	崎	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊	疔	疔	疔	疔	疔	疔
E170	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
E180	痲	瘁	痰	痺	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲
E190	瘰	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭	癭
E1A0	𦉳	癸	發	皂	兒	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳
E1B0	皴	孟	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
E1C0	昵	眞	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚	眚
E1D0	瞎	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋
E1E0	矜	矣	矮	矜	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌
E1F0	碣	碩	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礎			
E240	磧	磚	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	崇	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊
E260	秋	秣	稈	稍	棋	植	稠	稟	稟	稱	稻	稟	稟	稟	稟	稟
E270	穡	穡	穡	穡	穡	穹	穿	竊	窗	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳
E280	窳	窳	窳	窳	窳	竇	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
E290	竊	竭	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
E2A0	竊	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍
E2B0	箍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍
E2C0	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋
E2D0	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋
E2E0	料	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
E2F0	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝			
E340	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
E350	絮	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
E360	總	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
E370	縣	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
E380	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲	縲

シバJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E390	辦	縊	纈	纈	纈	纏	纈	纈	纈	纈	纈	纈	纈	缸	缺	罇
E3A0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
E3B0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
E3C0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
E3D0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
E3E0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
E3F0	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇			
E440	隋	腴	脾	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	膈	膊	膀	臂
E450	膠	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈
E460	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈
E470	舊	舍	舐	舖	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
E480	牆	朦	艘	艘	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
E490	苴	苟	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴
E4A0	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴
E4B0	莢	莢	莫	莎	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴
E4C0	莢	菽	萃	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘
E4D0	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽
E4E0	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽
E4F0	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽			
E540	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽
E550	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽
E560	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽	苽
E570	蚪	蚋	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌	蚌
E580	蛟	蛛	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭
E590	蝮	蜻	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥
E5A0	蛟	蜻	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蝻	蟀	蟀	蟀	蟀	蟀	蟀	蟀
E5B0	蟆	螻	螻	蟲	蟠	懈	蠍	蟾	蝗	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳
E5C0	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹	蠹
E5D0	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿
E5E0	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿	衿
E5F0	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪			
E640	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪	襪
E650	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬
E660	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶	訶
E670	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅
E680	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
E690	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳
E6A0	譬	譚	譚	譽	讀	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
E6B0	腕	豎	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
E6C0	貊	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤
E6D0	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤
E6E0	赴	趁	趙	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂
E6F0	跂	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈	踈			
E740	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
E750	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅
E760	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
E770	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
E780	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
E790	遐	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹	迹
E7A0	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐
E7B0	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
E7C0	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈	酈
E7D0	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪
E7E0	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
E7F0	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜			
E840	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜

参考資料 3

都道府県コード一覧

No	都道府県コード	漢字都道府県名
1	01	北海道
2	02	青森県
3	03	岩手県
4	04	宮城県
5	05	秋田県
6	06	山形県
7	07	福島県
8	08	茨城県
9	09	栃木県
10	10	群馬県
11	11	埼玉県
12	12	千葉県
13	21	東京都
14	31	神奈川県
15	32	新潟県
16	33	富山県
17	34	石川県
18	35	福井県
19	36	山梨県
20	37	長野県
21	38	岐阜県
22	39	静岡県
23	41	大阪府
24	42	兵庫県
25	51	愛知県
26	52	三重県
27	53	滋賀県
28	54	京都府
29	55	奈良県
30	56	和歌山県
31	57	鳥取県
32	58	島根県
33	59	岡山県
34	60	広島県
35	61	山口県
36	71	徳島県
37	72	香川県
38	73	愛媛県
39	74	高知県
40	75	福岡県
41	76	佐賀県
42	77	長崎県
43	78	熊本県
44	79	大分県
45	80	宮崎県
46	81	鹿児島県
47	82	沖縄県